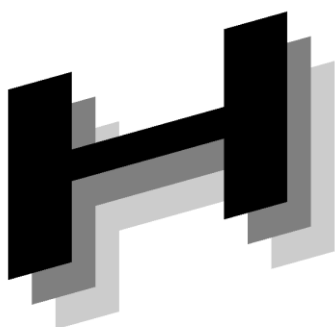




Japanese



Association of



Healthcare



Information



Systems Industry



JAHIS標準 22-004

J A H I S
生理検査データ交換規約
V e r . 3 . 1 C

2022年4月

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会
医療システム部会 相互運用性委員会

JAHIS 生理検査データ交換規約 Ver. 3.1C

まえがき

生理検査とは、血液、尿など被検者から検体を採取し、それを検査機器で分析を行う検体検査とは異なり、生体に装着された電極やセンサーを用いて生体情報を直接検査機器などに取り込み、記録や表示を行う検査のことであり、心電図検査、脳波検査、呼吸機能検査などがある。HL7 では心電図など一部の生理検査に対するガイドはみられるが、多くの生理検査データ交換に関しては具体的な仕様が決まっていない。また、例えば心電図検査結果に関しても、そのメッセージ記述には生理学、機器・信号処理、臨床診断に関する知識、経験を必要とし、それらの情報を交換することは容易でない。そのため、そのほとんどは機器メーカーや専門メーカーによる独自規格で処理されているにすぎなかった。

電子カルテなどの普及が進むにあたり、生理検査結果の相互運用性の要請が高まり、標準化が必須の状況になった。それら市場要求に沿い、一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会（JAHIS）メッセージ交換委員会（当時、現在は改称し相互運用性委員会）において、HL7 V2.5 に基づき、生波形形式として ISO/TS として発行された MFER（Medical waveform Format Encoding Rules）を用い、各種生理検査におけるデータ交換の規約を検討し、2007年8月に Ver.1.0 を発行した。

Ver.2.0(2013年4月発行)では、従来の検査結果の管理・提供だけではなく、検査の業務フロー管理を支援するためのステータス情報の取扱い、レポートや検査結果データの埋込に対応した。

Ver.3.0C(2016年12月発行)では、他のデータ交換規約との共通部分を抽出した JAHIS データ交換規約共通編への対応・分冊化、MFER や HL7CDA 等の検査結果データファイルの埋込仕様の見直し説明等の見直しを行った。“C”という接尾辞は共通編を参照している事を意味している。

今回（Ver.3.1C）の改定では最新の JAHIS データ交換規約共通編への対応を行うとともに、内容を実際に運用されている生理検査情報システムにあわせて絞込み、また実装者の理解を助けるため HIS、LIS、Modality それぞれの立場で使用するメッセージを判りやすくする補足をを行った。

本規約が医療資源の有効利用、保健医療福祉サービスの連携・向上を目指す医療情報標準化とデータ交換の円滑化に多少とも貢献できれば幸いである。

2022年4月

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会
医療システム部会 相互運用性委員会

<< 告知事項 >>

本規約は利用者が本工業会の会員であるか否かに関わらず、規約の引用を明示することで自由に利用することができるものとします。本規約に対する適合性を宣言する際には、部分実装や拡張がある場合を含めその適合範囲を所定のフォーマットに記述した適合性宣言書を作成し、実装したシステムの関係者に提供、公開することを推奨します。

本規約ならびに本規約に基づいたシステムの導入・運用についてのあらゆる障害や損害について、本工業会は何らの責任を負わないものとします。ただし、本工業会の会員は本規約についての疑義を申し入れることができ、担当委員会はこれに誠意をもって対応するものとします。

目 次

1. はじめに.....	1
2. 使用している HL7 について.....	2
2.1. 概要.....	2
2.2. メッセージ.....	2
2.3. フィールド.....	2
2.4. メッセージ区切り文字.....	2
2.5. データ型.....	2
3. 主な用語と参照規格.....	3
3.1. 主な用語.....	3
3.2. 参照する外部の標準規格・マスタ.....	3
4. JAHIS 標準テーブル.....	4
4.1. 本規約で定義する JAHIS 標準テーブル.....	4
5. 本規約の対象範囲.....	5
5.1. 基本方針.....	5
5.2. 生理検査概要.....	5
5.3. 対象範囲.....	8
6. メッセージ構文.....	10
6.1. 生理検査依頼(OMG/ORG).....	11
6.2. 患者情報更新(ADT/ACK).....	13
6.3. 患者情報照会(QBP/RSP).....	13
6.4. 生理検査依頼照会(QBP/RSP).....	13
6.5. 検査ステータス通知(ORU/ACK).....	14
6.6. 生理検査結果通知 (ORU/ACK).....	16
6.7. データ保存確認(QBP/RSP).....	17
6.8. 生理検査結果照会(QRY/ORF).....	18
7. 関連セグメント詳細.....	20
7.1. AL1 - PATIENT ALLERGY INFORMATION SEGMENT 患者アレルギー情報セグメント.....	20
7.2. ERR - ERROR SEGMENT エラーセグメント.....	20
7.3. EVN - EVENT TYPE SEGMENT セグメント.....	20
7.4. MSA - MESSAGE ACKNOWLEDGMENT SEGMENT メッセージ応答セグメント.....	20
7.5. MSH - MESSAGE HEADER SEGMENT メッセージヘッダセグメント.....	20
7.6. NTE - NOTES AND COMMENTS SEGMENT 注釈コメントセグメント.....	20
7.7. OBR - OBSERVATION REQUEST SEGMENT 検査要求セグメント.....	21
7.8. OBX - OBSERVATION/RESULT SEGMENT 検査結果セグメント.....	30
7.9. ORC ORDER COMMON SEGMENT 共通オーダーセグメント.....	42
7.10. PID - PATIENT IDENTIFICATION SEGMENT 患者識別セグメント.....	62
7.11. PV1 - PATIENT VISIT SEGMENT 来院情報セグメント.....	74
7.12. QAK - QUERY ACKNOWLEDGMENT SEGMENT 照会応答セグメント.....	74
7.13. QPD - QUERY PARAMETER DEFINITION 照会パラメータ定義.....	75
7.14. QRD - QUERY DEFINITION SEGMENT 照会定義セグメント.....	78
7.15. QRF - QUERY FILTER SEGMENT 照会フィルタセグメント.....	82
7.16. RCP - RESPONSE CONTROL PARAMETER SEGMENT 応答制御パラメータセグメント.....	85
7.17. TQ1 - TIMING/QUANTITY SEGMENT タイミング/数量セグメント.....	86

付録 - 1. 生理検査データ交換規約メッセージの例.....	91
1. 各ワークフロー	91
2. メッセージ使用例.....	98
3. 心電図等の波形情報と検査結果情報の記述	146
付録 - 2. 本規約で定義される OID	147
付録 - 3. 作成者名簿.....	148

1. はじめに

生理検査では種々の数値、文字あるいはコードなどで記述される測定値や解析結果と共に波形情報が不可欠である。また、生理検査機器の測定結果を院内総合情報システムや地域医療システムと連携して役立てるためには生理検査機器からの情報項目を拡張するだけでは不足で、電子カルテやオーダートリシステムからの検査依頼を患者属性とともに受信・管理し、検査の業務フローにあわせて検査ステータスを関連する情報システム及び生理検査機器に通知するとともに、結果を管理するといった生理検査情報システムを想定した総合的な連携が必要となる。本規約は、その連携に必要なメッセージ、想定する業務フローを定義するものであり、具体的には以下の仕様を規定している。

- 1) 検査を依頼するためのメッセージ（検査付帯情報、患者情報を含む）
- 2) 受け付けた検査依頼を管理・照会するためのメッセージ
- 3) 検査の進行状況を関連部門と共有するためのメッセージ（ステータス）
- 4) 検査結果を通知するためのメッセージ（計測値、波形を含む）
- 5) 検査結果を他部門に渡す、あるいは参照してもらうためのメッセージ

本改定においては旧版（3.0C）から次の見直し、補強を行った。

（データ交換規約共通編関連）

- ・ 日本 HL7 協会が 2020 年 6 月に公開した HL7 V2.5 日本語訳見直し版の表現を基に見直した。
- ・ HL7 V2.5 で CE 型であったデータ項目について CWE 型から元の CE 型に戻した。
- ・ 新たに共通編に記載することとなったセグメントにあわせて本規約の説明範囲を見直した。
- ・ 参照している他規約やマスタを「3.2. 参照する外部の規格やマスタ」にまとめた。
- ・ 外部の規約から本規約で定義したコード表を参照するために採番した OID を記載した。
- ・ 各ベンダが提供する製品の本規約への適合性を示す「適合性宣言書」に対応した。

（本規約固有）

- ・ 本規約に記載するメッセージ類を実際の生理検査で必要な機能を踏まえて整理し、記載順、サンプル電文などを見直した。
- ・ 本規約に関連するシステム（モダリティ含む、以下同じ）について付録 1 に代表的なシナリオとメッセージの利用について記載し、利用者の注目するシステムに関連するメッセージ、利用方法を明確にした。
- ・ 共通編に対して、本規約固有な仕様の説明である「【生理】」の表記を見直した。

なお、本規約は JAHIS データ交換規約 共通編と差異がある部分だけを記載した資料構成になっているため、JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.3 との併読を前提としている事を留意いただきたい。

2. 使用している HL7 について

2.1. 概要

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.3「2. 使用している HL7 について」を参照のこと。

2.2. メッセージ

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.3「2. 使用している HL7 について」を参照のこと。

2.3. フィールド

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.3「2. 使用している HL7 について」を参照のこと。

2.4. メッセージ区切り文字

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.3「2. 使用している HL7 について」を参照のこと。

2.5. データ型

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.3「2. 使用している HL7 について」を参照のこと。

3. 主な用語と参照規格

3.1. 主な用語

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.3「3. 主な用語と参照規格」を参照のこと。

以下は共通編との差異のみを記載する。

Modality

Acquisition Modality：医用画像の撮影や心電図等生体情報の記録機能をサポートする検査装置。本規約では、システムとして扱う。

生理検査情報システム

生理検査部門で扱う生理検査データにおいて、オーダ情報管理、患者到着時の受付管理、検査進捗管理、データファイリング、実施管理、レポートニング等の機能を有する部門システム。本規約では、LIS(Laboratory Information System)と表記する。

機能の詳細は、5.2.3 生理検査情報システムの機能 を参照のこと。

3.2. 参照する外部の標準規格・マスタ

本規約では、以下の外部の標準規格の使用を想定している。

ISO 22077-1:2015 Health informatics — Medical waveform format — Part 1: Encoding rules

標準 12 誘導心電図波形については、MFER 形式でのデータ交換を推奨する。MFER 規格は HELICS（医療情報標準化推進協議会）の HS028 にて採択されている。また、国内の MFER 委員会では、いくつかの心電図計測値について、OID を定めている。本規格を「MFER」と略称、略記する。
(<https://www.iso.org/standard/61871.html>)

臨床検査マスターコード:JLAC10

一般財団法人 医療情報システム開発センターにて開発され、同じく HELICS の HS014 (<http://helics.umin.ac.jp/helicsStdList.html>)にて採択されている JLAC10 コードでは、生理検査に関する検査項目コードの一部が定義されている。2019 年 10 月に日本臨床検査医学会(JSLM)から JLAC の次期バージョンである JLAC11 が公開された。JLAC11 には生理検査に関する検査項目コードは定義されていないため、本規約では JLAC10 を採用する。

LOINC(Logical Observation Identifiers Names and Codes)

LOINC は Regenstrief 研究所によって 1994 年に運用が開始された、診療名や計測値項目を表すコード集。HL7CDA 内の各項目を識別するコードにも利用される。(<https://loinc.org/>)

ISO/HL7 27931:2009 Data Exchange Standards - Health Level Seven Version 2.5 - An application protocol for electronic data exchange in healthcare environments

本規約が参照するオリジナル規格で、2009 年、HL7 version2.5 が ISO IS として承認された。
(<https://www.iso.org/standard/44428.html>)

4. JAHIS 標準テーブル

4.1. 本規約で定義する JAHIS 標準テーブル

本規約で使用する各種コードは、JLAC10、LOINC や HL7 であらかじめ用意されているものを使用するが、存在しない項目については以下のような項目コードを定義して必要なセグメントに記載する。コーディングシステム名は“JHSSnnnn”（nnnn は 4 桁の表番号）とする。

JHSS表 0001 生理検査結果データ
(コーディングシステム名 : JHSS0001、OID : 1.2.392.200270.4.4.5.1)

Value	Description
DUID	DataUID
MIME	MIMEPackage
MFER	MFER ファイル
XML	付帯情報ファイル

※”MFER”および”XML”は下位互換性のためここに残した。

JHSS表 0002 生理検査メッセージイベントタイプ
(コーディングシステム名 : JHSS0002、OID : 1.2.392.200270.4.4.5.2)

Value	Description
ZS1	生理検査依頼照会メッセージ
ZS2	生理検査依頼照会応答メッセージ
ZS3	データ保存確認メッセージ
ZS4	データ保存確認応答メッセージ

5. 本規約の対象範囲

5.1. 基本方針

5.1.1. 文字コード

本規約では、「図 5.3-1 システム間情報伝達イメージ」の構成要素間で使用する文字コードは下記とする。

《HIS⇄LIS》

- ・ JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.3 「5.1.2 文字コード」と同じとする。

《LIS→Modality》

- ・ 原則として、JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.3 「5.1.2 文字コード」と同じとする。

注記: Modality で扱えない文字は、LIS にて Modality が扱える文字に置き換えてもよい。その場合、HIS に検査結果を報告する際には Modality から送られてきた文字ではなく、HIS から依頼時に受け取った情報で報告する。

5.2. 生理検査概要

生理検査は、血液、尿などの検体を検査する検体検査とは異なり、生体から直接電極、センサーを用いて生体情報を取り出す検査である。

本規約で扱う生理検査は、以下に述べるような生理機能検査室、病棟、手術室、心臓カテーテル室などで実施される生理検査、あるいは健診などで実施される生理検査を想定している。一方、心臓カテーテル検査、超音波検査などでの DICOM 通信について、通常それらは JAHIS 他規約に準じる方が適当であるため、本規約の対象範囲としていない。

5.2.1. 生理機能検査室での生理検査データ

生理検査には、循環器系検査（心電図検査、心臓カテーテル検査、超音波検査など）、脳・神経系検査（脳波、筋電図など）、呼吸器系検査（スパイロメトリーなど）、肝臓、消化器、腎臓、産科、婦人科系などの検査（超音波検査など）、サーモグラフィ、眼底検査、(MRI) などの画像検査がある。

生理検査には、予め予約を行い実施する検査と予約をせず行う検査がある。一般的に標準 1 2 誘導心電図以外は予約が必要であることが多い。予約にあたっては部屋や機器の配置、実施者、前処置等の準備が必要である。

各検査の特徴について、以下に記載する。

5.2.1.1. 心電図検査

安静心電図検査（標準 1 2 誘導心電図）ECG 又は EKG：通常両手両足、胸部に 6 個、合計 10 個の電極を用いて検査する。心筋梗塞、狭心症といった虚血心疾患、心房・心室性期外収縮、心房細動などの不整脈、カリウム・カルシウムなどの電解質異常などの診断に用いる。

マスターステップ（マスター 2 階段試験）：年齢、体重などにより設定された条件に応じて昇降台（凸状の階段）を上り下りして運動負荷をかけて検査を行い、心筋虚血の有無を診断する。

トレッドミル運動負荷試験 TMT：負荷量を設定可能なベルトコンベア風のトレッドミルによって運動負荷をかけて検査を行い、心筋虚血の有無を診断する。

エルゴメータ心肺運動負荷試験（運動耐容能検査）CPX：自転車エルゴメータに呼気ガス分析を併用して運動予備能力を測定する。主として心肺疾患の重症度、適切な運動療法の確認を行う。

長時間心電図（ホルター心電図）検査：小型の電子的記録機能を持ったレコーダ（従来はカセットテープを用いた記録装置であったが最近では電子的メモリに記憶する）に主として胸部に貼られた電極から導出された24時間程度の期間の心電図を記録する。これは日常生活中に発生する不整脈や虚血疾患の診断に使用される。

その他の循環器検査：心音・心機図検査、短期間（30秒から数分）の心電図記録、遅延心電図（レートポテンシャル）、体表面電位図（体表面マッピング）検査、末梢循環検査（指尖脈波）などがある。

5.2.1.2. 神経生理検査

脳波検査 EEG：頭皮に電極を貼り導出、増幅（50 μ ボルト程度）、記録する。てんかん、脳腫瘍、脳部障害、脳死などの判定、診断に用いる。脳波検査とは周波数分析あるいはバースペクトル分析などを行い、別に術中の麻酔深度などに用いるものもある。

誘発電位検査：音刺激、視覚刺激などを与えることにより、頭部から脳波を加算平均して記録する。それぞれ聴性脳幹反応、視覚誘発電位という。

筋電図検査 EMG：筋肉に針電極などを挿入し筋の電気現象を記録する。

誘発筋電図検査：運動神経を電気刺激して伝導速度などを検査する。

睡眠脳波検査（ポリソムノグラフィ）PSG：脳波、眼球運動、筋電図、呼吸、心電図、SPO2など睡眠時に測定し、睡眠時無呼吸症候群などの診断を行う。

聴力検査：聴覚測定装置（オーディオメータ）や測定者自身によって測定され、難聴、聴覚の異常などの診断を行う。

平衡機能検査（重心動揺計）：三角形や四角形の荷重検出計台により患者の体重移動を測定する。迷路障害や小脳異常などの診断に用いる。

眼振検査：眼球に帯電した電位を測定し眼球運動を測定する。メニエール症候群や脳・中枢神経系の障害診断に用いる。

5.2.1.3. 肺機能検査

スパイロメトリー（換気機能）検査：呼吸の吸排気により、拘束性障害、閉塞性障害などの診断に用いる。

肺胞機能検査：クロージングボリュームなどにより肺胞の分布、拡散について検査する。

基礎代謝検査：換気量、酸素消費量、炭酸ガス産生量を測定しエネルギー代謝を測定する。バセドー氏病、褐色細胞腫などの診断に用いられる。

5.2.1.4. その他

その他、医用波形を含まないが超音波検査、眼底（写真）検査、内視鏡検査、サーモグラフィ等が生理検査部門で行われる場合がある。

5.2.2. 生理機能検査室以外(病棟等)で発生する生理検査データ

5.2.2.1. 病棟

心電図検査、長時間心電図、脳波・誘発、超音波検査がある。

5.2.2.2. 産科

CTG（胎児心拍陣痛図）、超音波検査がある。

5.2.2.3. 心臓カテーテル検査（含む電気生理検査）

カテーテル手技と並行して、ポリグラフによる電気生理学的検査がある。

5.2.3. 生理検査情報システムの機能

生理検査部門で扱う生理検査データは、通常、生理検査情報システムで管理する。生理検査情報システムには以下の機能があるが、部門システムの規模によって、一部の機能のみを実装している場合もある。

- オーダ情報管理
HISからの生理検査依頼及び患者属性情報を受信し、検査日毎に管理する。さらに、Modalityからのリクエストに応じてそれら情報を配信する。検査実施状況に合わせて検査ステータスをHISへ送ることもできる。
- 患者到着時の受付管理
患者到着時に生理機能検査室で使用する受付票の発行や、部門内での患者待受け表示板に表示する場合もある。
- 検査進捗管理
“検査中”や“検査終了”などの検査進捗を管理して一覧表示する。
- データファイリング
Modalityから検査結果データを受信、ファイリングし、管理する。Modalityからのデータ保存確認に応答し、確実にデータが保存されたことをModalityへ通知することができる。
- 実施情報管理
実施した検査項目や手技、使用薬剤情報を管理し、HISへ送信する。
- レポーティング
検査結果レポートを作成管理し、必要に応じて検査結果としてHISへ送信する。

5.3. 対象範囲

本規約は「図 5.3-1 システム間情報伝達イメージ」の範囲を対象とする（実線矢印部が対象、破線矢印部は対象外）。また、取り扱うメッセージタイプおよびトリガーイベントを「表 5.3-1 メッセージとトリガーイベント」に示す。

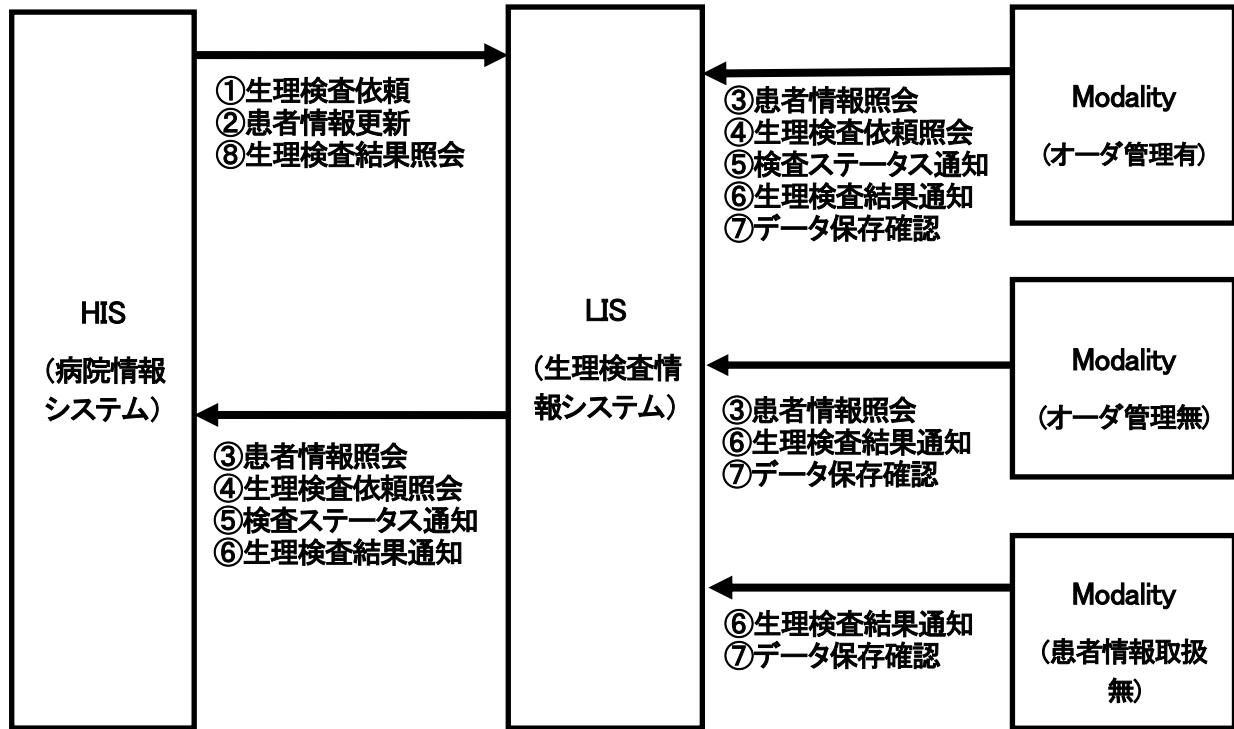


図 5.3-1: システム間情報伝達イメージ

表5.3-1 メッセージとトリガーイベント

NO	メッセージ定義	メッセージタイプ	トリガーイベント	イベントタイプ	R/O (HIS)	R/O (LIS)		R/O (Modality)
						HIS	MOD	
①	生理検査依頼	OMG→ ←ORG	生理検査の依頼	O19/O20 R19/R20	R	R	—	—
②	患者情報更新	ADT→ ←ACK	患者情報の更新	A08	O	O	—	—
③	患者情報照会	QBP→ ←RSP	患者基本情報の照会	Q22/K22	O	O	O	O
			患者基本情報および 所在の照会	ZV1/ZV2	O	O	O	O
④	生理検査依頼照会	QBP→ ←RSP	生理検査依頼の照会	ZS1/ZS2	O	O	O	O
⑤	検査ステータス通知	ORU→ ←ACK	検査ステータスの通知	R01	O	O	O	O
⑥	生理検査結果通知	ORU→ ←ACK	生理検査結果の通知	R01	O	O	O	O
⑦	データ保存確認	QBP→ ←RSP	生理検査結果データの保存確認	ZS3/ZS4	—	—	O	O
⑧	生理検査結果照会	QRY→ ←ORF	生理検査結果の照会	R02/R04	O	O	—	—

本規約では上記のメッセージタイプおよびイベントタイプをサポートする。「メッセージタイプ」欄の矢印（→、←）は、メッセージの応答関係を表す。上側の矢印（→）が最初のメッセージの送信を意味し、下側の矢印（←）が最初のメッセージに対する応答メッセージの送信を意味する。

「図 5.3-1 システム間情報伝達イメージ」の各システムによるメッセージタイプおよびイベントタイプのサポートが、必須なのか、オプションなのかを「R/O」カラムに示す。

R : 必須
O : オプション
— : 非該当

システムが「LIS」の場合、HIS-LIS 間と LIS-Modality 間でサポートするメッセージが異なる。そのため、適合性宣言書には、HIS-LIS 間と LIS-Modality 間の 2 つのメッセージに関するサポート状況を記述する必要がある。

メッセージの概要

- ① 生理検査依頼 (OMG/ORG)
生理検査依頼のオーダ情報を OMG メッセージで通知し、それに対する応答を ORG メッセージで返す。
- ② 患者情報更新 (ADT/ACK)
患者の更新情報を ADT メッセージで通知し、それに対する応答を ACK メッセージで返す。
- ③ 患者情報照会 (QBP/RSP)
患者情報を QBP メッセージで問合せ、それに対する応答を RSP メッセージで返す。
- ④ 生理検査依頼照会 (QBP/RSP)
生理検査依頼のオーダ情報を QBP メッセージで問合せ、それに対する応答を RSP メッセージで返す。
- ⑤ 検査ステータス通知 (ORU/ACK)
モダリティでの検査開始、検査終了等の検査ステータスを ORU メッセージで通知し、それに対する応答を ACK メッセージで返す。従来の“到着確認”も本メッセージに含まれる。
- ⑥ 生理検査結果通知 (ORU/ACK)
生理検査結果を ORU メッセージで通知し、それに対する応答を ACK メッセージで返す。
- ⑦ データ保存確認 (QBP/RSP)
データ保存確認を QBP メッセージで問合せ、それに対する応答を RSP メッセージで返す。
- ⑧ 生理検査結果照会 (QRY/ORF)
生理検査結果を QRY メッセージで問合せ、それに対する応答を ORF メッセージで返す。

6. メッセージ構文

本規約では、HL7 メッセージを構成するセグメントの省略の可否 ([]表記) や繰り返しの可否 ({ }表記) に加え、JAHIS 仕様での要否を明確にするためコメント Usage に要否等を付記した。

メッセージ構文での表記規則：

- Usage (JAHIS仕様での取り扱い)
 - R - 必須。
 - RE - 存在すれば必須（送信側アプリケーションは、該当データがあれば送信しなければならないが、存在しなければ省略する）。
 - O - オプション。
 - C - トリガーイベントまたはメッセージの使用条件による。
 - X - 本規約では使用しない。
 - B - HL7の旧バージョンとの下位互換のために残されている。
 - N - 使用しない（関係者の合意のもとに関係システム内限定で使用可）。
- 注記: [] は省略可能、{ } は繰り返し可能を示す。
- 注記: 特にセグメントグループについては、そのセグメントグループの要否等を記し、さらにそのグループに属する個々セグメントの要否等を記した。

6.1. 生理検査依頼(OMG/ORG)

生理検査の依頼時には、一般オーダーメッセージ(OMG)を用い、その応答には一般オーダー応答メッセージ(ORG)を使用する。その場合のセグメントと構文規則は以下のとおりである。

6.1.1. OMG – 生理検査依頼メッセージイベント(O19)

生理検査依頼は、一般オーダーメッセージ(OMG) イベント (O19) を用いる。

表6.1-1 OMG 生理検査依頼メッセージ

OMG^O19^OMG_O19	General Clinical Order Message	Usage
MSH	Message Header	R
[{ NTE }]	Notes and Comments(for Header)	O
PID	Patient Identification	R
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Patient ID)	O
PV1	Patient Visit	R
[PV2]	Patient Visit 2	N
[{ AL1 }]	Allergy	N
{		
ORC	Order Common	R
{		
TQ1	Timing/Quantity	R
[{ TQ2 }]	Timing/Quantity Order Sequence	N
}		
OBR	Observation Request	R
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Detail))	O
{		
OBX	Observation/Result	O
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Results)	O
}}		
}		

- MSHはオーダーの出力単位(メッセージ)に1つ必須である。
- V2.4以前は、これらオーダーは一般オーダー(ORM/ORR)により実施されていたが、V2.4以降はORMが下位互換として残るのみとなった。また一般検査としてOML/ORLが新しく追加されたが、自動臨床検査オーダーに特化していると解釈され、JAHIS規格では、生理検査は一般オーダーメッセージ(OMG)で行うこととした。
- 【生理】1患者の一連のオーダーにPIDとPV1を必須とする。
- 【生理】基本的に生理検査のアレルギー情報は、患者プロフィールとしてAL1に記載することとする。
- ORC(NW)～OBR、ORC(PA)～OBX、ORC(CH)～OBRの順に繰り返すことで親子オーダーを構成する。ORC(CH)～OBRは検査項目の数だけ繰り返す。(「図6.1-1：親子メッセージの関係」を参照)
- 【生理】OBR-25に“O”をセットする。
- 親レコード (ORC-1: ‘PA’) では、OBR-4 で検査種別を、OBX-3,5 で患者プロフィール情報を記述する。一方、子レコード (ORC-1: ‘CH’) では、OBR-4 で検査部位や検査詳細 (方向) を記述する。部位などが異なる撮影に関しては、それぞれを子レコードで記述する。そして、親レコードと子レコードをORC-8 やOBR-29で紐付ける。子レコードの場合、OBR-29: Parent Number (親レコード) の設定を必須とする。患者プロフィール情報と、検査種別 (X線撮影、CT 撮影など)、検査部位 (胸部、腹部など)、検査詳細 (撮影方向など)、検査材料 (薬剤、フィルムなど) をすべてOBR/OBX セグメントで記述する。新規オーダーを示すORC セ

グメント (ORC-1 : NW) は、親レコードを示すORC セグメント (ORC-1 : PA) の前に記述する。親子メッセージの関係を図6.1-1に示す。

ORC(NW) 新規オーダー
 ORC(PA) 親オーダー
 OBR 親オーダーの記述 (検査種別を指定)
 ORC(CH) 1 番目の子オーダー
 OBR 1 番目の子オーダーの記述 (撮影部位、方向等を指定)
 ORC(CH) 2 番目の子オーダー
 OBR 2 番目の子オーダーの記述 (撮影部位、方向等を指定)

図 6.1-1 : 親子メッセージの関係

6.1.2. ORG – 生理検査依頼応答メッセージ(O20)

生理検査依頼に対する応答は、一般オーダー応答メッセージ (ORG) イベント (O20) を用いる。

表6.1-2 ORG 生理検査依頼応答メッセージ

ORG^O20^ORG_O20	General Clinical Order Acknowledgement Message	Usage
MSH	Message Header	R
MSA	Message Acknowledgment	R
[{ ERR }]	Error	O
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Header)	O
[		
PID	Patient Identification	RE
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Patient ID)	O
{		
ORC	Order Common	O
[{		
TQ1	Timing/Quantity	O
[{ TQ2 }]	Timing/Quantity Order Sequence	N
}]		
[OBR]	Observation Request	O
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Detail)	O
}		
]		

- MSHはオーダーの出力単位(メッセージ)に1つ必須である。
- V2.4以前は、これらオーダーは一般オーダー(ORM/ORR)により実施されていたが、V2.4以降はORMが下位互換として残るのみとなった。また一般検査としてOML/ORLが新しく追加されたが、自動臨床検査オーダーに特化していると解釈され、JAHIS規格では、生理検査は一般検査OMGで行うこととした。
- 【生理】1患者の一連のオーダーにPIDとPV1を必須とする。
- 【生理】基本的に生理検査のアレルギーマ情報は、患者プロフィールとしてAL1に記載することとする。
- ORC(NW)～OBR、ORC(PA)～OBX、ORC(CH)～OBRの順に繰り返すことで親子オーダーを構成する。ORC(CH)～OBRは検査項目の数だけ繰り返す。(「図6.1-1：親子メッセージの関係」を参照)
- 【生理】OBR-25に"O"をセットする。

6.2. 患者情報更新(ADT/ACK)

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.3「6.2. 患者情報通知(ADT/ACK)」を参照のこと。

6.3. 患者情報照会(QBP/RSP)

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.3「6.1. 情報照会(QBP/RSP)」を参照のこと。

6.4. 生理検査依頼照会(QBP/RSP)

生理検査依頼照会は、情報照会（QBP/RSP）で行う。

6.4.1. QBP – 生理検査依頼照会メッセージイベント(ZS1)

生理検査依頼照会は、情報照会(QBP)イベント(ZS1)を用い、そのセグメント構文は以下のとおりである。

表6.4-1 QBP 生理検査依頼照会メッセージ

QBP^ZS1^QBP_Q11	Query for Physical Examination Order	Usage
MSH	Message Header	R
[{ SFT }]	Software Segment	N
QPD	Query Parameter Definition Segment	R
RCP	Response Control Parameters	R
[DSC]	Continuation Pointer	N

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに一つ必須である。
- 照会パラメータ定義(QPD)はメッセージに一つ必須である。
- MSH-9は「QBP^ZS1^QBP_Q11」とする。
- QPD-1は「ZS1^Order Query^JHSS0002」とする。

6.4.2. RSP – 生理検査依頼照会応答メッセージイベント(ZS2)

生理検査依頼照会応答は、情報照会応答メッセージ(RSP)イベント(ZS2)を用い、そのセグメント構文は以下のとおりである。

表6.4-2 RSP 生理検査依頼照会応答メッセージ

RSP^ZS2^RSP_K11	Query Response for Order Status	Usage
MSH	Message Header	R
[{ SFT }]	Software Segment	N
MSA	Message Acknowledgement	R
[ERR]	Error	O
QAK	Query Acknowledgement	R
QPD	Query Parameter Definition Segment	R
[{		
PID	Patient Identification	RE
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Patient ID)	O
PV1	Patient Visit	R
[PV2]	Patient Visit 2	N

RSP^ZS2^RSP_K11	Query Response for Order Status	Usage
[{ AL1 }]	Allergy	N
[{ OBX }]	Observation related to the patient	O
{		
ORC	Common Order	R
{		
TQ1	Timing/Quantity	R
[{ TQ2 }]	Timing/Quantity Order Sequence	N
}		
OBR	Observation Request	R
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Detail))	O
{		
OBX	Observation/Results	O
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Results)	O
}}		
}		
}		

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに一つ必須である。
- メッセージ応答(MSA)セグメントはメッセージに一つ必須である。
- 応答時エラーが発生した場合はエラー(ERR)セグメントは必須である。
- 照会応答(QAK)セグメントはメッセージに一つ必須である。
- 照会パラメータ定義 (QPD) セグメントはメッセージに一つ必須であり、QBPメッセージで記載されたものをそのまま記載する。
- ORC(NW)～OBR、ORC(PA)～OBX、ORC(CH)～OBRの順に繰り返すことで親子オーダを構成する。
ORC(CH)～OBRは検査項目の数だけ繰り返す。(「図6.1-1：親子メッセージの関係」を参照)
- MSH-9は「RSP^ZS 2^RSP_K11」とする。

6.5. 検査ステータス通知(ORU/ACK)

検査ステータス通知には検査結果メッセージ(ORU/R01)を用いる。

検査ステータスは、ORC セグメントの ORC-5(オーダ状態)によって表わす。「HL7 表 0038 - オーダ状態の値と検査ステータスの対応」は以下の通りである。検査ステータス通知で使用する値については、OBR-25 項の「表 7.7-1 OBR-25 と ORC-5 の組合せによる検査ステータス」を参照のこと。

HL7表 0038 - Order Status オーダ状態と検査ステータスの対応

Value	Description	検査ステータス【生理】
A	Some, but not all, results available 部分的完了	-
CA	Order was canceled オーダが取り消された	中止
CM	Order is completed オーダが完了した	検査終了
DC	Order was discontinued オーダが中断した	中断
ER	Error, order not found エラー、オーダが見つからない	-
HD	Order is on hold オーダが保留	-
IP	In process, unspecified 進行中、不定	受付（患者到着）、検査中
RP	Order has been replaced オーダが取替えられた	-
SC	In process, scheduled 進行中、予定	未受付（患者未到着）

6.5.1. ORU – 検査ステータス通知メッセージイベント(R01)

検査ステータス通知は検査結果メッセージ(ORU)イベント(R01)を用い、そのセグメント構文は以下のとおりである。

表6.5-1 ORU 検査ステータス通知メッセージ

ORU^R01^ORU_R01	Unsolicited Transmission of an Observation Message	Usage
MSH	Message Header	R
{		
[		
PID	Patient Identification	RE
[PV1]	Patient Visit	O
]		
{		
[ORC]	Order common	O
OBR	Observation Request	R
{[NTE]}	Notes and comments	O
[{		
TQ1	Timing/Quantity	O
[{ TQ2]}	Timing/Quantity Order Sequence	N
}]		
{[		
OBX	Observation related to OBR	O
{[NTE]}	Notes and comments	O
}]		
}		
}		
[DSC]	Continuation Pointer	N

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに一つ必須である。

6.5.2. ACK – 検査ステータス通知応答メッセージイベント(R01)

検査ステータス通知応答は、応答メッセージ(ACK)イベント(R01)を用い、そのセグメント構文は以下のとおりである。

表6.5-2 ACK 検査ステータス通知応答メッセージ

ACK^R01^ACK	General Acknowledge Message	Usage
MSH	Message Header	R
MSA	Message acknowledgment	R
{[ERR]}	Error	O

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに一つ必須である。
- メッセージ応答(MSA)セグメントはメッセージに一つ必須である。
- 応答時エラーが発生した場合はエラー(ERR)セグメントは必須である。

6.6. 生理検査結果通知 (ORU/ACK)

生理検査結果通知には検査結果メッセージ(ORU/R01)を用いる。

6.6.1. ORU – 生理検査結果通知メッセージイベント(R01)

生理検査結果通知時には検査結果メッセージ(ORU)イベント(R01)を用い、そのセグメント構文は以下のとおりである。

表6.6-1 ORU 生理検査結果通知メッセージ

ORU^R01^ORU_R01	Unsolicited Transmission of an Observation Message	Usage
MSH	Message Header	R
{		
[		
PID	Patient Identification	RE
[PV1]	Patient Visit	O
]		
{		
[ORC]	Order common	O
OBR	Observation Request	R
{ [NTE] }	Notes and comments	O
[{		
TQ1	Timing/Quantity	O
[{ TQ2 }]	Timing/Quantity Order Sequence	N
}]		
{ [		
OBX	Observation related to OBR	O
{ [NTE] }	Notes and comments	O
]]		
}		
}		
[DSC]	Continuation Pointer	N

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに一つ必須である。
- 【生理】OBR-25（結果状態）に“F”をセットする。
- 【生理】生理検査結果通知メッセージ（OBR-25="F"）の場合、TQ1-7（開始日時）、OBX-14（検査日時）を値必須とする。
- 【生理】データを一意に識別できるユニークなID（DataUID）をOBX-5にセットし、データ保存確認の際の問い合わせキーとして使用することができる。その場合、受信側でデータ保存する際はDataUIDにて検索可能なように検査結果と紐付けて保存管理する必要がある。

6.6.2. ACK – 生理検査結果通知応答メッセージイベント(R01)

生理検査結果通知応答時には、応答メッセージ(ACK)イベント(R01)を用い、そのセグメント構文は以下のとおりである。

表6.6-2 ACK 生理検査結果通知応答メッセージ

ACK^R01^ACK	General Acknowledge Message	Usage
MSH	Message Header	R
MSA	Message acknowledgment	R
[{ ERR }]	Error	O

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに一つ必須である。
- メッセージ応答(MSA)セグメントはメッセージに一つ必須である。
- 応答時エラーが発生した場合はエラー(ERR)セグメントは必須である。

6.7. データ保存確認(QBP/RSP)

データ保存確認には、パラメータによる照会(QBP)メッセージを用い、それに対する応答にはセグメントパターン応答(RSP)メッセージを使用する。その場合のセグメントと構文規則は以下の通りである。

6.7.1. QBP – データ保存確認メッセージ イベント(ZS3)

データ保存確認メッセージ(ZS3)は、DataUID を指定し、データ保存確認を送信するメッセージである。

表6.7-1 QBP データ保存確認メッセージ

QBP^ZS3^QBP_Q11	Query of Document Storage Status Message	Usage
MSH	Message Header	R
[{ SFT }]	Software Segment	O
QPD	Query Parameter Definition Segment	R
RCP	Response Control Parameters	R
[DSC]	Continuation Pointer	O

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに一つ必須である。
- 照会パラメータ定義(QPD)はメッセージに一つ必須である。
- MSH-9は「QBP^ZS3^QBP_Q11」となる。
- QPD-1は「ZS3^Storage Commitment^JHSS0002」となる

6.7.2. RSP – データ保存確認応答メッセージ イベント(ZS4)

データ保存確認応答メッセージ(ZS4)は、データ保存確認メッセージ(ZS3)に対する応答メッセージである。

表6.7-2 RSP データ保存確認応答メッセージ

RSP^ZS4^RSP_K11	Query Response of Document Storage Status	Usage
MSH	Message Header	R
[{ SFT }]	Software Segment	O
MSA	Message Acknowledgement	R
[ERR]	Error	O
QAK	Query Acknowledgement	R
QPD	Query Parameter Definition Segment	R
[DSC]	Continuation Pointer	O

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに一つ必須である。
- メッセージ応答(MSA)セグメントはメッセージに一つ必須である。
- 保存済みの場合、MSA-1=AA 未保存の場合 MSA-1=NF で応答する。
- 応答時エラーが発生した場合はエラー(ERR)セグメントは必須である。
- 照会応答(QAK)セグメントはメッセージに一つ必須である。
- 照会パラメータ定義(QPD)セグメントはメッセージに一つ必須であり、QBPメッセージで記載されたものをそのまま記載する。
- MSH-9は「RSP^ZS4^RSP_K11」となる。

6.8. 生理検査結果照会(QRY/ORF)

生理検査結果照会時には問合せ(QRY)メッセージを用い、応答は生理検査結果照会 (ORF) メッセージを使用する。

6.8.1. QRY – 生理検査結果照会メッセージイベント(R02)

生理検査結果照会メッセージ(QRY)イベント(R02)は、生理検査結果の照会をするイベントである。

表6.8-1 QRY 生理検査結果照会メッセージ

QRY^R02^QRY_R02	Query	Usage
MSH	Message Header	R
QRD	Query Definition	R
QRF	Query Filter	R

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに一つ必須である。
- 照会定義(QRD)セグメントはメッセージに一つ必須である。
- 問合せフィルタ (QRF)セグメントはメッセージに一つ必須である。

6.8.2. ORF – 生理検査結果照会応答メッセージイベント (R04)

生理検査結果照会応答メッセージ(ORF)イベント(R04)は、生理検査結果照会に対する応答をするイベントである。

表6.8-2 ORF 生理検査結果照会応答メッセージ

ORF^R04^ORF_R04	Observational Report	Usage
MSH	Message Header	R
MSA	Message Acknowledgment	R
QRD	Query Definition	R
[QRF]	Query Filter	O
{ [		
PID	Patient ID	RE
[{ NTE }]	Notes and Comments	O
]		
{		
[ORC]	Order common	O
OBR	Observation request	R
[{ NTE }]	Notes and comments	O

ORF^R04^ORF_R04	Observational Report	Usage
[{ TQ1 [{ TQ2 }] }]	Timing/Quantity Timing/Quantity Order Sequence	R N
{ [OBX] [{ NTE }] }	Observation/Result Notes and Comments (for OBX)	O O
{[CTI]}	Clinical Trial Identification	N
}		
[{ ERR }]	Error	O
[DSC]	Continuation Pointer	N

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに一つ必須である。
- メッセージ応答(MSA)セグメントはメッセージに一つ必須である。
- 照会定義(QRD)セグメントはメッセージに一つ必須である。
- 応答時エラーが発生した場合はエラー(ERR)セグメントは必須である。
- 【生理】TQ1-7（開始日時）、OBX-14（検査日時）を本メッセージORF^R04の各セグメント内では値必須とする。

7. 関連セグメント詳細

7.1. AL1 - Patient Allergy Information Segment 患者アレルギー情報セグメント

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.3「7. 関連セグメント詳細」を参照のこと。

7.2. ERR - Error Segment エラーセグメント

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.3「7. 関連セグメント詳細」を参照のこと。

7.3. EVN - Event Type Segment セグメント

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.3「7. 関連セグメント詳細」を参照のこと。

7.4. MSA - Message Acknowledgment Segment メッセージ応答セグメント

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.3「7. 関連セグメント詳細」を参照のこと。

7.5. MSH - Message Header Segment メッセージヘッダセグメント

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.3「7. 関連セグメント詳細」を参照のこと。

7.6. NTE - Notes and Comments Segment 注釈コメントセグメント

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.3「7. 関連セグメント詳細」を参照のこと。

7.7. OBR - Observation Request Segment 検査要求セグメント

検査要求(OBR)セグメントは、診断、検査、身体検査あるいは所見などを要求するオーダに特有な情報を伝送する。

検査要求セグメントは、診断要求（例えば生理検査、EKG）あるいは検査要求（例えば生理検査、身体検査）など特定の要求の属性を定義する。依頼者があるまとまった検査を要求する場合、必ずオーダセグメントを指定する。生理検査では通常、個々の検査ごとに1つの独立したオーダセグメントを生成する。

OBR セグメント属性一覧を示す。このセグメント内の(+)項目は依頼者ではなく実施者が作成し、その値は、OBR セグメントが報告書の一部として返信されたとき必要に応じて設定する。したがって、実施者が新規オーダを受理する場合、(+)項目の値を設定することはない。ただし実施者がオーダを開始する場合は例外である。その場合、実施者オーダ番号が設定されるが、依頼者オーダ番号はblankでもよい。

【生理】OBR-7（検査日時）および OBR-8（検査終了日時）は、例えば検体検査の場合、検体採取の開始および終了を表わすが、生理検査では使用しない。検査日時の格納にはそれぞれ TQ1-7（開始日時）、TQ1-8（終了日時）を使用する。

HL7属性表—OBR—Observation Request Segment 検査要求セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME
1	4	SI	O	O			Set ID – Observation Request セットID – 検査要求
2	22	EI	C	RE			Placer Order Number 依頼者オーダ番号
3	22	EI	C	RE			Filler Order Number + 実施者オーダ番号
4	250	CE	R	R			Universal Service ID 検査項目群ID
5	2	ID	B	B			Priority 優先度
6	26	TS	O	O			Requested Date/Time オーダ発行日時
7	26	TS	C	C			Observation Date/Time # 検査日時
8	26	TS	O	O			Observation End Date/Time # 検査終了日時
9	20	CQ	O	O			Collection Volume 採取量
10	250	XCN	O	O	Y		Collector Identifier 採取者ID
11	1	ID	O	O			Specimen Action Code 検体処置コード
12	250	CE	O	O			Danger Code 危険（検体）コード
13	300	ST	O	O			Relevant Clinical Information 関連臨床情報
14	26	TS	B	B			Specimen Received Date/Time 検体受理日時
15	300	SPS	B	B			Specimen Source 検体採取元
16	250	XCN	O	O	Y		Ordering Provider 依頼者
17	250	XTN	O	O	Y/2		Order Callback Phone Number オーダコールバック用電話番号
18	60	ST	O	O			Placer Field 1 依頼者フィールド1
19	60	ST	O	O			Placer Field 2 依頼者フィールド2
20	60	ST	O	O			Filler Field 1 + 実施者フィールド1
21	60	ST	O	O			Filler Field 2 + 実施者フィールド2
22	26	TS	C	C			Results Rpt/Status Chng - Date/Time + 結果報告/状態変更 一日時
23	40	MOC	O	O			Charge to Practice + 課金
24	10	ID	O	O		0074	Diagnostic Serv Sect ID 診断部門ID
25	1	ID	C	C		0123	Result Status + 結果状態
26	400	PRL	O	O			Parent Result + 親結果
27	200	TQ	B	B	Y		Quantity/Timing 数量/タイミング
28	250	XCN	O	O	Y		Result Copies To 結果配布先
29	200	EIP	O	C			Parent Number 親番号
30	20	ID	O	O		0124	Transportation Mode 患者移動モード
31	250	CE	O	O	Y		Reason for Study 検査理由
32	200	NDL	O	O			Principal Result Interpreter + 結果判定責任者
33	200	NDL	O	O	Y		Assistant Result Interpreter + 結果判定アシスタント
34	200	NDL	O	O	Y		Technician + 医療技術者
35	200	NDL	O	O	Y		Transcriptionist + 転記者
36	26	TS	O	O			Scheduled Date/Time + 予定日時
37	4	NM	O	O			Number of Sample Containers 検体容器数
38	250	CE	O	O	Y		Transport Logistics of Collected Sample 採取検体搬送
39	250	CE	O	O	Y		Collector's Comment 採取者コメント
40	250	CE	O	O			Transport Arrangement Responsibility 搬送調整者
41	30	ID	O	O		0224	Transport Arranged 搬送調整結果
42	1	ID	O	O		0225	Escort Required 随行者要否

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME
43	250	CE	O	O	Y		Planned Patient Transport Comment 計画患者搬送コメント
44	250	CE	O	O		0088	Procedure Code 手続きコード
45	250	CE	O	O	Y		Procedure Code Modifier 手続きコード修飾子
46	250	CE	O	O	Y	0411	Placer Supplemental Service Information 依頼者補足サービス情報
47	250	CE	O	O	Y	0411	Filler Supplemental Service Information 実施者補足サービス情報
48	250	CWE	C	C			Medically Necessary Duplicate Procedure Reason. 医学的に必要な重複検査
49	2	IS	O	O		0507	Result Handling 結果操作

+: 検査依頼の場合は使用しない

#: 生理検査では使用しない

注記：これらの項目の完全な説明については、HL7 V2.5 第 4 章を参照のこと。このセグメント定義は利用者のために検査報告メッセージに関する項目を明確にする。

【例】 OBR|1|A4461XA^HIS|81641^RAD|73666^Bilateral Feet|...<CR>

【生理】 OBR-2/3 については値の性質上、値が存在すれば必須とした。

OBR フィールド定義

OBR-1 Set ID – Observation Request セットID—検査要求 (SI) 00237

定義：最初の送信オーダには通し番号 1 が割り当てられ、2 番目のオーダには通し番号 2 が割り当てられるものとする。3 番目以降同様。

上位 ORC に対する通番。初期値 1、増分 1。必要に応じ同一 ORC セグメントに対して 1 から付番される通し番号（オプション）。

OBR-2 Placer Order Number 依頼者オーダ番号 (EI) 00216

成分： <Entity Identifier (ST)> ^ <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID type (ID)>

定義： ORC-2 依頼者オーダ番号に同じ。

第 1 成分の文字列で個々の OBR を識別する。15 文字以内が望ましいが必須要件ではない。これは依頼アプリケーションによって割り当てられ、ある依頼アプリケーションから送信されるすべてのオーダの中から特定のオーダを一意に識別する。第 2 の成分ネームスペース ID は、ユーザによって定義されたコード化された値であり、特定のアプリケーションと一意に結び付けられている。HL7 においては「6 文字以内が望ましいが必須要件ではない。」とされているが、日本における運用では 6 文字以内とする。ORC-2 との関係については ORC-2 の説明を参照のこと。

OBR-3 Filler Order Number 実施者オーダ番号 (EI) 00217

成分： <Entity Identifier (ST)> ^ <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID type (ID)>

定義：このフィールドは、実施アプリケーションと関連したオーダ番号である。オーダおよびその関連する検査に対する永久的な識別子。

第 1 成分は個々のオーダセグメント（例えば OBR）を識別する文字列である。これはオーダ実施（受信）アプリケーションによって割り当てられ、ある実施アプリケーション（例えば LIS）によるすべてのオーダの中から特定のオーダを一意に識別する。第 2 の成分はユーザに定義されたコード化された値であって、ネットワーク上の他のアプリケーションの中から特定のアプリケーションを一意に識別する。この固有性は長期間継続しなければならない。

第 2 から第 4 までの成分は、実施者アプリケーション ID を含むが、これらは HD データ型の形をしている。第 2 の成分はユーザに定義されたコード化された値であって、ネットワーク上の他のアプリケーションの中から特定のアプリケーションを一意に識別する。HL7 においては「6 文字以内が望ましいが必須要件ではない。」とされているが、日本における運用では 6 文字以内とする。

ORC-3 との関係については ORC-3 の説明を参照のこと。

OBR-4 Universal Service ID 検査項目群 ID (CE) 00238

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: 要求された検査/試験/セットの識別子コード。このコードは、ローカル・コードまたは“汎用”コードのいずれか、もしくはその両方を基準に設定できる。“汎用”手順による識別子を使用することが望ましい。

【生理】親オーダの場合は検査分類を指定するコードを設定する。例えば心電図検査、超音波検査、肺機能検査などを指定するコードである。子オーダの場合は検査種別を指定するコードを設定する。例えば安静時 12 誘導検査、心臓超音波検査などを指定するコードである。汎用コードとしては JLAB10 コードを推奨する。また、検査結果照会において、該当検査が無い場合、OBR-4 には「」をセットする。

OBR-5 Priority 優先度 (ID) 00239

定義: このフィールドは下位互換性のためだけに用意されている。

OBR-6 Requested Date/Time 要求日時 (TS) 00240

定義: このフィールドは下位互換性のためだけに用意されている。

OBR-7 Observation Date/Time 検査日時 (TS) 00241

定義: このフィールドは臨床に関連する検査の日時である。

【生理】検査開始日時は、TQ1-7 開始日時を用い指示する。OBR-7 を入力する場合は、TQ1-7 と同じ情報を入力する。

OBR-8 Observation End Date/Time 検査終了日時 (TS) 00242

定義: 検査終了日時。

【生理】OBR-8 を入力する場合は、TQ1-8 終了日時にも同じ情報を入力する。

OBR-9 Collection Volume 採取量 (CQ) 00243

定義: 検体検査の場合、検体量。

OBR-10 Collector Identifier 採取者 ID (XCN) 00244

定義: 検体検査の場合、このフィールドは、検体を採取した個人、部門あるいは施設を識別する。

OBR-11 Specimen Action Code 検体処置コード (ID) 00245

定義: 検体検査の場合、このオーダに伴ってあるいは先行して実施される検体処置。

OBR-12 Danger Code 危険(検体)コード (CE) 00246

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: 危険であることが知られている、あるいは疑われる患者・検体を示すコードかテキスト、あるいはその両方(例えば、陽性結核患者、肝炎患者の血液などの感染情報)。コードとテキストのどちらかあるいはいずれも指定しない場合がある。指定する場合、コードは必ず第1成分に指定し、任意のフリーテキストを第2成分に指定する。したがって、コードだけを省略する場合、成分デリミタをフリーテキストの前に指定しなければならない。

OBR-13 Relevant Clinical Information 関連臨床情報 (ST) 00247

定義: このフィールドには、患者に関する追加臨床情報が記述される。このフィールドは、検査結果の診断が要求された場合、疑われる病状や臨床所見を報告するのに使用する。たとえば、血中ガスの二酸化炭素量、パップ試験時の月経周期、および診断・検査に影響を及ぼすその他の条件を報告する場合など。ただし、オーダセグメントの直後に一連の OBX セグメントを追加することで、より構造化された形式でこの種の情報を送ることが可能である。従って、身体情報(身長・体重やバイタルサインなど)、検査情報、投薬情報などは OBX セグメントを利用することを推奨する。

OBR-14 Specimen Received Date/Time 検体受領日時 (TS) 00248

定義：このフィールドは下位互換性のためだけに用意されている。

OBR-15 Specimen Source 検体材料 (SPS) 00249

定義：このフィールドは下位互換性のためだけに用意されている。

OBR-16 Ordering Provider 依頼者 (XCN) 00226

成分：<ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

定義：検査依頼者の ID。ID コードあるいは名前、またはその両方を指定できる。これは ORC-12—依頼者と同じである。検査依頼医師をセットする。

OBR-17 Order Callback Phone Number オーダ問合せ電話番号 (XTN) 00250

成分：<DEPRECATED-Telephone Number (ST)> ^ <Telecommunication Use Code (ID)> ^ <Telecommunication Equipment Type (ID)> ^ <Email Address (ST)> ^ <Country Code (NM)> ^ <Area/City Code (NM)> ^ <Local Number (NM)> ^ <Extension (NM)> ^ <Any Text (ST)> ^ <Extension Prefix (ST)> ^ <Speed Dial Code (ST)> ^ <Unformatted Telephone number (ST)>

定義：状態あるいは結果を標準フォーマットで報告する際の電話番号。可能であれば、内線または呼出番号(あるいはその両方)も併せて指定する。

OBR-18 Placer Field #1 依頼者フィールド1 (ST) 00251

定義：依頼者フィールド#1。依頼者によって送られたテキストは、結果と共に返される。

OBR-19 Placer Field #2 依頼者フィールド2 (ST) 00252

定義：依頼者フィールド#1 に類似。

OBR-20 Filler Field #1 実施者フィールド1 (ST) 00253

定義：実施者(診断サービス)により任意の使用目的に定義可能。

OBR-21 Filler Field #2 実施者フィールド2 (ST) 00254

定義：実施者フィールド#1 に類似（実施者により任意の使用目的に定義可能）。

OBR-22 Results Rpt/Status Chng Date/Time 結果報告／状態変更一日時 (TS) 00255

成分：<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：結果の報告日時、あるいは状態の変更日時。このフィールドでは、結果を報告書に書込み・発行した日時を示す。あるいはオーダ状態に定義にされたような状態が入力・変更された日時を示す。通常、依頼側は最後に結果を受信した日時(前回更新日)より後で報告された結果だけ入力すべきである。(電文発信日ではない)

OBR-23 Charge To Practice 課金 (MOC) 00256

成分：<Monetary Amount (MO)> ^ <Charge Code (CWE)>

定義：HIS は検査項目から課金情報を生成する。

OBR-24 Diagnostic Serv Sect ID 診断サービス部門 ID (ID) 00257

定義：診断を実施した診断サービス部門。検査が外部サービスによって実施された場合、そのサービスの ID がここに記録される。取りうる値については、「HL7 表 0074—診断サービス部門 ID」を参照のこと。

HL7表 0074 – Diagnostic service section ID 診断サービス部門ID

Value	Description	Value	Description
AU	Audiology 聴力検査	OUS	OB Ultrasound 産婦人科用超音波
BG	Blood gases 血中ガス	OT	Occupational Therapy 作業療法
BLB	Blood bank 血液バンク	OTH	Other その他
CUS	Cardiac Ultrasound 循環器用超音波	OSL	Outside Lab 外部検査
CTH	Cardiac catheterization 心臓カテーテル	PHR	Pharmacy 処方
CT	CAT scan CAT スキャン	PT	Physical Therapy 物理療法
CH	Chemistry 化学	PHY	Physician (Hx, Dx, admission note, etc.) 内科 医 (Hx, Dx, 入院情報メモなど)
CP	Cytopathology 細胞検査	PF	Pulmonary function 肺機能
EC	Electrocardiac (e.g., EKG, EEC, Holter) 心電関 係 (例えば EKG、EEC、ホルター)	RAD	Radiology 放射線学
EN	Electroneuro (EEG, EMG, EP, PSG) 神経筋 電関係 (EEG、EMG)	RX	Radiograph 放射線写真
HM	Hematology 血液検査	RUS	Radiology ultrasound 放射線超音波
ICU	Bedside ICU Monitoring ベッドサイドの ICU モニタ	RC	Respiratory Care (therapy) 呼吸療法 (治療)
IMM	Immunology 免疫検査	RT	Radiation therapy 放射線治療
LAB	Laboratory ラボラトリー	SR	Serology 血清検査
MB	Microbiology 微生物検査	SP	Surgical Pathology 外科病理学
MCB	Mycobacteriology ヒト型結核菌検査	TX	Toxicology 毒物検査
MYC	Mycology (真) 菌検査	VUS	Vascular Ultrasound 血管超音波
NMS	Nuclear medicine scan 核医学スキャン	VR	Virology ウイルス検査
NMR	Nuclear magnetic resonance 核磁気共鳴	XRC	Cineradiograph シネ放射線
NRS	Nursing service measures 看護サービス検査		

OBR-25 Result Status 結果状態 (ID) 00258

定義：このオーダの結果状態。状態は、オーダに関連する結果すべてに適用される。オーダ状態の照会の際、OBX セグメントで実現されるレベルの応答より詳細なレベルの応答が必要でないときに、このフィールドがよく使用される。このフィールドへは、実施者しか値を設定することができない。各結果の状態が必要な場合、OBX-11 検査結果状態を使用することができる。取りうる値については、「HL7 表 0123-結果状態」を参照のこと。

HL7表 0123 – Result Status 結果状態

Value	Description	Comment
O	Order received; specimen not yet received オーダ受信済；検体未受領	
I	No results available; specimen received, procedure incomplete 結果無し；検体受領済、手続き未完了	
S	No results available; procedure scheduled, but not done 結果利用不可；手続き予定済だが未実施	
A	Some, but not all, results available 一部 (すべてではない) の結果利用可	
P	Preliminary: A verified early result is available, final results not yet obtained 予備的；検証された初期結果利用可、最終結果未取得	
C	Correction to results 結果の訂正	
R	Results stored; not yet verified 結果保存済；未検証	
F	Final results; results stored and verified. Can only be changed with a corrected result. 最終結果；結果保存済、検証済。訂正結果とのみ書き替え可能	
X	No results available; Order canceled. 結果利用不可；オーダ取消	
Y	No order on record for this test. (Used only on queries) この検査のオーダレコードなし (照会でのみ使用される)	
Z	No record of this patient. (Used only on queries) この患者のレコードなし (照会でのみ使用される)	

結果状態の送信には、次の 2 つの方法がある。

状態がオーダ全体である場合、ORC-15 オーダ発行日時と ORC-5 オーダ状態を使用する。

状態がオーダ詳細セグメントに関係する場合、OBR-25 結果状態と OBR-22 結果報告書／状態変化一日付／時間を用いる。

両方が存在する場合、OBR 値は ORC 値を無視する。

OBX セグメントがない場合、オーダ状態照会に対する応答として使用される。

各結果の個々の状態が必要な場合、OBX-11 検査結果状態で示す場合がある。

【生理】各メッセージと検査の状態を表す OBR-25 と ORC-5 の組合せを以下に示す。

表7.7-1 OBR-25とORC-5の組合せによる検査ステータス

メッセージ	OBR-25	ORC-5	Comment
生理検査依頼	O	SC	オーダ受信
検査ステータス通知	I	IP	受付（到着確認）
検査ステータス通知	S	IP	検査中
検査ステータス通知	S	DC	検査中断
検査ステータス通知	F	CM	検査終了
生理検査結果通知	F	CM	検査結果の送信（オーダの完了）
生理検査結果通知	P	SC	検査結果の送信（暫定結果あり）
検査ステータス通知	X	CA	検査中止

注記：検査終了は、OBR-25='F'、ORC-5='CM'の組合せで表現ができるが、生理検査結果通知と同じ組合せのため、どちらの意味で使用するのかを関係者間で合意しておくこと。

OBR-26 Parent Result 親結果 (PRL) 00259

成分：<Parent Observation Identifier (CWE)> ^ <Parent Observation Sub-identifier (ST)> ^ <Parent Observation Value Descriptor (TX)>

定義：このフィールドは他のタイプ(たとえば毒物学)との連携を可能にするために定義される。この重要な情報は、OBR-29-親番号の情報と組合せて、このオーダに関する親結果のOBXセグメントを一意に識別する。

OBR-27 Quantity/Timing 数量／タイミング (TQ) 00221

定義：このフィールドは下位互換性のためだけに用意されている。

OBR-28 Result Copies To 結果配布先 (XCN) 00260

成分：<ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

定義：検査報告書を受け取る人。ローカルの取り決めによって、ID番号あるいは名前のいずれかを省略してもよい。報告書送付先として科別や病棟を指示してもよい。

OBR-29 Parent Number 親番号 (EIP) 00261

成分：<Placer Assigned Identifier (EI)> ^ <Filler Assigned Identifier (EI)>

定義：ORC-8-親と同一。但し、ORUメッセージ（到着確認／検査結果）では、OMGメッセージのORC-2(ORC-3)と同一。子オーダの場合に、このフィールドが必要になる。

親フィールドには、成分が2つある。第1成分には親の依頼者オーダ番号が入る。第2成分はオプションであり、ここには親の実施者オーダ番号が入る。このフィールドは、副成分をもつ、依頼者オーダ番号成分と実施者オーダ番号成分の2つの成分で伝達される。

OBR-30 Transportation Mode 患者移動モード (ID) 00262

定義：適用可能な場合、患者を移動するかどうか(あるいは移動方法)。取りうる値に関しては、「HL7表0124-患者移動モード」を参照のこと

HL7表 0124 – Transportation Mode 患者移動モード

Value	Description	Comment
CART	Cart – patient travels on cart or gurney 患者はカートまたは担架で移動する	
PORT	The examining device goes to patient's location 検査装置が患者のもとへ移動する	
WALK	Patient walks to diagnostic service 患者は歩行により移動する	
WHLC	Wheelchair 車いすを使用する	

OBR-31 Reason For Study 検査理由 (CE) 00263

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>
 定義: 適切な回答を得るのにこのフィールドを使用しなければならない検査もある。

OBR-32 Principal Result Interpreter 結果判定責任者 (NDL) 00264

成分: <Name (CNN)> ^ <Start Date/time (TS)> ^ <End Date/time (TS)> ^ <Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Patient Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)>
 定義: 検査を診断し、報告書の内容に責任を負う医師あるいは臨床医の ID。

OBR-33 Assistant Result Interpreter 結果判定アシスタント (NDL) 00265

成分: <Name (CNN)> ^ <Start Date/time (TS)> ^ <End Date/time (TS)> ^ <Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Patient Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)>
 定義: この検査の診断を支援した立会臨床医。

OBR-34 Technician 医療技術者 (NDL) 00266

成分: <Name (CNN)> ^ <Start Date/time (TS)> ^ <End Date/time (TS)> ^ <Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Patient Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)>
 定義: 実施担当臨床技師。

OBR-35 Transcriptionist 転記者 (NDL) 00267

定義: 報告書の口述筆記を担当する人。通常、本フィールドは使用しない。

OBR-36 Scheduled - Date/Time 予定日時 (TS) 00268

成分: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>
 定義: 実施者がスケジュールした検査日時。このフィールドは、ある特定の検査をスケジュールして欲しいという要求に対する結果を表しており、これによりスケジュールされた検査日時を依頼者に通知することができる(結果専用)。

OBR-37 Number Of Sample Containers 検体容器数 (NM) 01028

定義: 検体検査の場合、受領検体容器の数。

OBR-38 Transport Logistics Of Collected Sample 採取検体搬送 (CE) 01029

定義: 検体検査の場合、このフィールドは診断サービス実施者への検体到着で意味がある。

OBR-39 Collector's Comment 採取者コメント (CE) 01030

定義: 検体に関する付加的コメント。

OBR-40 Transport Arrangement Responsibility 搬送調整者 (CE) 01031

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>
 定義: 予約検査などで検体搬送の手配などを行った者。例えば依頼者、実施者、患者など。

OBR-41 Transport Arranged 搬送調整結果 (ID) 01032

定義: 検体搬送手配の結果状態。

HL7表 0224 – Transport Arranged 搬送調整

Value	Description	Comment
A	Arranged 手配済み	
N	Not Arranged 未手配	

Value	Description	Comment
U	Unknown 不明	

OBR-42 Escort Required 随行者要否 (ID) 01033

定義：患者が診断サービス部門へ出向くに必要な随行者の要否。OBR-43 の併用が一般的。

HL7表 0225 – Escort Required 随行者要否

Value	Description	Comment
R	Required 必要	
N	Not Required 不要	
U	Unknown 不明	

OBR-43 Planned Patient Transport Comment 計画患者搬送コメント (CE) 01034

成分：<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：患者が診断サービス部門へ出向く際の搬送や随行に関するコメント。

OBR-44 Procedure Code 手続きコード (CE) 00393

成分：<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、もしあればフィールド 4 において報告された汎用サービス ID と共に関連した手続きに割り当てられた唯一の識別子である。「HL7 表 0088－手続きコード」に定義されたテーブルの値を使用する。このフィールドは、臨床関連のシステムと互換性を取る為 CE タイプである。

OBR-45 Procedure Code Modifier 手続きコード修飾子 (CE) 01316

定義：このフィールドはフィールド 44 において報告された手続きコードに適用できれば手続きコード修飾子を含む。

OBR-46 Placer Supplemental Service Information 依頼者補足サービス情報 (CE) 01474

成分：<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、依頼者システムから OBR-4 汎用サービス ID で報告された手続きコードにより実施者システムまで送られた補給サービス情報を含む。このフィールドは OBR セグメントの他の不明なオーダ詳細情報を解決する為に使われる。複数の補助サービス情報の要素が報告されるかもしれない。「使用者定義表 0411－補助サービス情報値」を参照のこと。

このフィールドは、検査が右、または、左に行われるべきであるかどうかのような詳細について述べるために使われ得る。たとえば、腕の治療およびオーダは右か左かを区別しないし、また、その治療が対比されるかに関わらない（オーダ基本ファイルがそのような区別をしないとき）。

OBR-47 Filler Supplemental Service Information 実施者補足サービス情報 (CE) 01475

成分：<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：

このフィールドは、OBR-4 汎用サービス ID によって報告された処置コードにより依頼者システムから実施者システムに送られる補足サービス情報として使われる。このフィールドは OBR セグメントの他の不明なオーダ詳細情報を解決する為に使われる。典型的に、それは OBR-46 依頼者補足情報により実施者システムに反映される、そのオーダが修正されないかぎり実施者システムは実際にこれを用いて遂行された物のどちらかのケースを報告するのに使われる。多重補足サービス情報要素は報告される。「使用者定義表 0411－補助サービス情報値」を参照のこと。

このフィールドは、検査が右、または、左に行われるべきであるかどうかのような詳細について述べるために使われ得る。たとえば、腕の治療およびオーダは右か左かを区別しないし、その治療が対比されるかに関わらない（オーダ基本ファイルがそのような区別をしないとき）。

使用者定義表 0411 – Supplemental service information values 補助サービス情報値

Value	Description
	推奨値なし 個々の実装においては“SNOMED DICOM Micro-glossary(SDM)”のような語集 または私的な(ローカルな)入力値を使用してもよい。

OBR-48 Medically Necessary Duplicate Procedure Reason 重複検査を要する医学的理由 (CWE) 01646

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: この項目は OBR-44(手続きコード)の理由を文書で証明するために使用される。医学的に必要な事項、患者のために同じ日や以前に行われたサービスなどの複写である。理由はコード化された値、もしくはフリーテキストで入力してもよい。

この項目は、重複検査の課金先に関する会計用情報を提供するものである。

OBR-49 Result Handling 結果の取り扱い (IS) 01647

定義: 結果の取り扱いに関する情報を送信する。たとえば、オーダは、リクエスターへのリターンのための患者に結果(たとえば X 線フィルム)が与えられることを明示する。

特別なことが無ければ使用しない。

HL7表 0507 – Observation Result Handling 検査結果操作

Value	Description	Comment
F	Film-with-patient 患者へのフィルム提供	
N	Notify provider when ready 準備が出来次第通知	

7.8. OBX - Observation/Result Segment 検査結果セグメント

OBX セグメントは単一検査あるいは部分検査を転送するのに使用される。それは分割不可能なレポートの最小単位に相当する。OBX セグメントはまた、CDA ドキュメントや DICOM イメージデータのようなカプセル化したデータも含み得る。

その主な機能はレポートメッセージで検査関連情報を伝達することである。しかし、OBX を検査オーダに含めることもできる (HL7 V2.5 4.4 節オーダメッセージ定義を参照のこと)。この場合、実施者が作成する検査結果を解釈できるように、実施者が必要とする臨床情報を OBX で伝送する。例えば、血液酸素を血液ガス検査室へオーダする場合に吸気酸素を報告するのに OBX は必要であり、あるいはパップ塗抹試験を細胞診検査室へオーダする場合に含まれているべき月経周期情報を報告するためにも OBX は必要である。HL7 V2.5 付録 7.A に記述されているコードは、検査結果を適切に解釈するために、検査実施部門が必要とする個々の情報を識別するためのものである。OBX は、患者の臨床情報を含む必要のある他の HL7 メッセージ中にもある。

HL7属性表—OBX—Observation/Result Segment 検査結果セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME
1	4	SI	O	O			Set ID - OBX セットID
2	3	ID	C	C		0125	Value Type 値型
3	250	CE	R	R			Observation Identifier 検査項目
4	20	ST	C	C			Observation Sub-ID 検査サブID
5	65536	*	C	C	Y		Observation Value 検査結果値
6	250	CE	O	O			Units 単位
7	60	ST	O	O			References Range 標準値
8	5	IS	O	O	Y	0078	Abnormal Flags 異常フラグ
9	5	NM	O	O			Probability 確率
10	2	ID	O	O	Y	0080	Nature of Abnormal Test 異常検査の特性
11	1	ID	R	R		0085	Observ Result Status 検査結果状態
12	26	TS	O	O			Effective Date of Reference Range 標準値有効日付
13	20	ST	O	O			User Defined Access Checks ユーザ定義アクセス点検
14	26	TS	O	RE*			Date/Time of the Observation 検査日時
15	250	CE	O	O			Producer's ID 実施者ID
16	250	XCN	O	O	Y		Responsible Observer 検査責任者
17	250	CE	O	O	Y		Observation Method 検査方法
18	22	EI	O	O	Y		Equipment Instance Identifier 機器インスタンス識別子
19	26	TS	O	O			Date/Time of the Analysis 分析日時

[例] OBX|1|CE|88304&ANT|1|T57000^GALLBLADDER^SNM|...<CR>

【生理】OBX-3 が同一の OBX セグメントに複数存在する場合、OBX-4 (検査サブ ID) は必須とする。また、特に心電図検査では一つの検査日時に対して複数の測定を行うため、OBX-14 (検査日時) は値があれば必須とする。

OBX フィールド定義

OBX-1 Set ID - OBX セットID (SI) 00569

定義：このフィールドは、通し番号を含んでいる。ASTM との互換性を維持するためのもの。

OBX-2 Value Type 値型 (ID) 00570

定義：このフィールドは、OBX 内の検査結果値のフォーマットを含んでいる。「OBX-11 検査結果状態」が「X」でない場合、それは値を持たねばならない。値が CE である場合、結果はコード化入力

値でなければならない。値型が TX または FT である場合、結果はテキスト群である。値型の検査で採りうる値は「HL7 表 0125 - 値型」に列記される。

【共通編】現在は、「HL7 表 0440 - データ型」が使われていると思われる。

検査値は、2.5 節「データ型」で定義されたデータ型のフォーマットに応じて表記されなければならない。例えば、PN は成分デリミタにより分離した 6 つの成分から成る。

NM は有効な型であるが、通常数字として報告される検査では、結果の一部として非数値文字が報告されることが多いので（結果が測定器で計りきれないことを示すために >300 を使う場合など）、文字列（ST）データ型を持つことがある。例えば” >300” では、” >” は記号であり桁” 300” は数値と考えられる。しかしながら、ST タイプのこの使用は推奨されない。なぜなら SN（構造化した数値）データ型は今そのような報告を受入れ、さらに SN データ型によって受信システムが大きさを解釈できるからである。

HL7 データ型はすべて有効であり表 0125 に含まれている。ただし、CM、CQ、SI および ID は除く。CM 定義が意味を持つためには、CM に関する詳細がフィールド定義に含まれていなければならない。「OBX-5 検査結果値」はデータ型 OBX-3 によって影響を及ぼされる一般的なフィールド定義である。したがって、CM はこの文脈中で定義されない。

CQ は無効である。なぜなら「OBX-5 検査結果値」のためのユニットが、「OBX-6 単位」を備えた OBX セグメント中で明示的に常に指定されるからである。

SI は無効である。なぜなら、それは単に HL7 メッセージ・セグメントに適用されるに過ぎないからである。

ID は無効である。なぜなら、それは一定のフィールド定義を必要とするからである。

実際の検査値が OBX では送られていないが、他のどこかに存在する場合、RP 値（参照ポインタ）を使用しなければならない。例えば、検査が画像（ドキュメント関連画像あるいは医学関連画像）から成る場合、画像そのものは OBX で送ることができない。その場合送信システムは、参照ポインタを送信するよう選択することができる。受信システム側は、DICOM などの他の標準インタフェースにより、あるいは適切なデータ・ベース・サーバーにより実際の画像へアクセスする必要がある場合は、いつでもこの参照ポインタを使用することができる。

HL7 表 0125 - Value type 値型

Value	Description
AD	Address 住所
CE	Coded Entry コード化された値
CF	Coded Element With Formatted Values 値整形済コード化要素
CK	Composite ID With Check Digit 点検数字付き複合 ID
CN	Composite ID And Name 複合 ID と名前
CNE	Coded with No Exceptions 例外なしコード化値
CP	Composite Price 複合価格
CWE	Coded with Exceptions 例外を含むコード化値
CX	Extended Composite ID With Check Digit チェックデジット付き拡張複合 ID
DT	Date 日付
ED	Encapsulated Data カプセル化されたデータ
FT	Formatted Text (Display) 整形済みテキストデータ
MO	Money 金額
NM	Numeric 数値
PN	Person Name 人名
RP	Reference Pointer 参照ポインタ
SN	Structured Numeric 構造化数値
ST	String Data. 文字列データ
TM	Time 時間
TN	Telephone Number 電話番号
TS	Time Stamp (Date & Time) タイムスタンプ
TX	Text Data (Display) テキストデータ
XAD	Extended Address 拡張住所
XCN	Extended Composite Name And Number For Persons 拡張複合 ID 番号および人の名前
XON	Extended Composite Name And Number For Organizations 拡張複合組織名称および識別子番号
XPN	Extended Person Number 拡張人名
XTN	Extended Telecommunications Number 拡張遠距離通信番号

【共通編】CNE、CWE を追加。

これらのデータ型の完全な定義は2.5節「データ型」の中で与えられる。構造化した数値 (SN) データ型は、HL7 V2.3 で初めて扱われ、それが提供するものは、報告範囲 (例えば3-5 あるいは10-20)、力価 (例えば1:10) および範囲外の指示 (例えば>50) であって、構造化されコンピュータが解釈できる方法で提供される。

我々は、OBX セグメント中の FT データ型を許可する。しかし、その使用は推奨しない。フォーマティングされたテキストは意味のある構造を通常意味する。例えば異なるライン上で報告された独立している3つの診断のリストを意味する。しかし、理想的には、独立している診断の3つの文中の構造は3つの個別の OBX セグメントとして報告される。

大量のテキストを送るとき以外、TX は使用してはならない。TX データ型では、反復デリミタは段落の区切りを識別するためだけに使用できる。短い、そして恐らくコード化できるテキスト文字列を送るため ST を使用すること。

CDA ドキュメントは、ドキュメント(MDM または ORU のような)を置き換えることができる任意のメッセージ中で、OBX セグメントで置き換えられる。OBX セグメント内では、MIME パッケージはカプセル化された(ED)データ型としてコード化される。

OBX-3 Observation Identifier 検査項目 ID (CE) 00571

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義: このフィールドは検査を表す一意な識別子を含んでいる。形式は「コード化要素」(CE)の形式と同じ。

例: 8625-6^P-R interval^LN

ほとんどのシステム構成では、識別子によって示されるのは、受信システムが受信した検査を処理するのに使用できる他の検査属性を列記したマスタ検査表だろう。そのようなマスタ検査表を送信するためのメッセージ・セグメントのセットについては HV7 V2.5 8 章に記述される。検査 ID とマスタ検査表との関係は、請求コード (請求レコード内の) と料金表の関係に類似している。

【生理】では、下記の通りとする。

DataUID を記述する場合: 「DUID^DataUID^JHSS0001」

MIME パッケージを記述する場合: 「MIME^MIMEPackage^JHSS0001」

MFER 形式ファイルを記述する場合: 「MFER^MFER ファイル^JHSS0001」

付帯情報ファイルを記述する場合: 「XML^付帯情報ファイル^JHSS0001」

検査結果情報は Base64 で内包して送信する:

OBX|1|ED|MIME^MIMEPackage^JHSS0001||^multipart^x-hl7-cda-level-one ^A^<CR><LF>

MIME-Version: 1.0<CR><LF>

Content-Type: multipart/mixed; boundary="HL7-CDA-boundary"<CR><LF>

Content-Transfer-Encoding: Base64<CR><LF>

--HL7-CDA-boundary<CR><LF>

Content-Type: application/x-hl7-cda-level-one+xml<CR><LF>

(ここに Base64 エンコードされた CDA 文書) <CR><LF>

--HL7-CDA-boundary<CR><LF>

Content-Type: application/mwf<CR><LF>

(ここに Base64 エンコードされた MFER ファイル) <CR><LF>

--HL7-CDA-boundary<CR><LF>

||||R||20210201100000<CR>

※<CR><LF>コードはエスケープ処理したコード¥X0D0A¥を記述すること。

※「MFER^MFER ファイル^JHSS0001」および「XML^付帯情報ファイル^JHSS0001」は下位互換性のためだけに用意されている。

※検査項目コードとしては、JLAC10 コードを用いることを推奨する。

OBX-4 Observation Sub ID 検査サブ ID (ST) 00572

定義：このフィールドは1つのOBRの下で編成された複数のOBXセグメントが同じ観察IDを持つ場合、それぞれのOBXセグメントを識別するのに使う。例えば、胸部X線レポートには独立した3つの診断が含まれることがある。標準では、3つのOBXセグメント（1つの診断所見に1つのOBXセグメント）が必要である。これらのOBXセグメントの1番目のサブIDに1、2番目のサブIDに2、および3番目のサブIDに3を入れることにより、HL7は、編集あるいは交換に際し各OBXセグメントを一意に識別することができる。

検査サブID使用の例は付録1参照

OBX-5 Observation Value 検査結果値 (*) 00573

定義：このフィールドは検査実施者により検査された値を含んでいる。検査結果値はこのフィールドのデータ型に応じてフォーマットされるが、そのデータ型は「OBX-2 値型」に含まれる。それは必須ではない。なぜなら一部のシステムは、特に市販後調査を報告する際に、正常／異常（OBX-8）だけを報告するからである。

検査結果項目の長さは「OBX-2 値型」により可変である。このフィールドは、適切なデータ型、例えば、CE、TX、およびFT データ型を有するマルチパートを構成する単一の結果を繰り返すことができる。

表記

このフィールドには、同じセグメントの「OBX-3 検査項目」の値が含まれる。検査に依存するが、データ型は数値（例えば呼吸数）、具体的なコード（SNOMED で記述された病理所見など）あるいは日時（1単位の血液が病棟に送られる日時）のどれかである。検査結果値は、同じセグメントの「OBX-2 値型」で指定されたデータ型として表記される。数値なのかあるいは短いテキストなのかどうかにかかわらず、結果はASCII テキストで記録されるものとする。

論理上独立している検査の報告

放射線検査や「病歴・身体計測」などの書き取りレポートの主要箇所は、個別のOBXセグメントとして報告される。また、論理上独立している個々の検査は、個別のOBXセグメントで報告すべきである。つまり、1つのOBXセグメントには、論理上独立している複数検査の“結果”を含んではならない。この要求事項により、「OBX-6 単位」および「OBX-8 異常フラグ」、および「OBX-9 確率」の内容が明白に解釈できるようになる。例えば電解質およびバイタルサイン・セットは、4つの個別のOBXセグメントとして報告されるだろう。2つの診断（うっ血性心不全と肺炎など）は、それが退院時サマリーの一部として報告されたのかあるいは胸部X線レポートの一部として報告されたのかにかかわらず、さらに2つの個別のOBXセグメントとして報告されるだろう。同様に、単一の細菌培養内で分離された2つの細菌性生物は、2つの個別のOBXセグメントとして報告されるだろう。

1つのOBXセグメントで、独立した2つの診断“記述文”を報告することはできないが、2つの診断“記述文”がそれぞれ一部（修飾子）として一緒になって1つの診断記述文を構築するのであれば、定性値として複数回応答することができる（通常、反復デリミタにより分離されたCEデータ型として）。例えば、右上葉（1つのコードとして記録される）と肺炎（別のコードとして記録される）の両方を1つのOBXセグメントで報告できるだろう。そのような複数の“値”は反復デリミタにより分離されるだろう。

共通の検査IDとサブIDを持つ複数のOBXセグメント

いくつかのシステムでは、単一の検査に複数データ型の“一部”が含まれることがある。よくある例は、数値結果の後にコード化注記（CE）が続くことである。この場合、検査結果情報は複数のOBXセグメントで送ることができる。例えば、あるセグメントは、数値結果を表すための数値データ型あるいは文字列データ型であるが、もう1つのセグメントはコード化注記を表すCEデータ型である場合など。実施者が複数のコード化注記を報告しているとすると、その複数のコード化注記はすべて単一の論理検査情報を修正してしまうので、反復デリミタで分離された1つのOBXセグメントで送信されるだろう。同じ検査IDとサブIDを持つ複数のOBXセグメントは、最も重要なOBXセグメント（正常なフラグ／単位、および／あるいは、基準値および状態フラグを持つOBXセグメント）を最初に指定して、常に連続し

て送信すべきである。OBX6~12 の値は、同じ「OBX-3 検査項目」と「OBX-4 検査サブ ID」を持つ後続の OBX セグメントでは null とすべきである。置換または削除をする場合、同じ検査 ID とサブ ID を持つ複数の OBX セグメントは 1 単位として扱われる。どれか 1 つが置換または削除されると、すべてが置換される。

コード価値

OBX セグメントに CE データ型の値が含まれる場合、検査はコードおよび（または）テキストの組合せとして保管される。HL7 V2.5 7.8.3 節の「CSS-臨床試験スケジュールセグメント」に CE データ型として表した結果の例を示す（「OBR-1」の 1 番目と 2 番目の OBX セグメント、「OBR-2」の 1 番目と 2 番目の OBX セグメントに記述されている結果）。検査は、（推奨検査を表す）検査 ID、（診断を表す）診断コードか所見、または病理学レポートで使う部位、あるいは他の任意の種類のコード化結果などである。

コード化検査に保管された情報は必ずしもコード化する必要はない。例えば、胸部 X 線診断が CE データ型であったとしても、純粋テキストとして転送することができるだろう。この場合は、例えば以下のように記述して、“結果コード”の第 2 成分として検査を記録しなければならない。

```
OBX|1|CE|71020&IMP|1|^CONGESTIVE HEART FAILURE. |...<cr>
```

しかし、個別の診断、指導などは、純粋テキストとして記録するとしても、個別の結果セグメントに記録すべきである。すなわち、うっ血性心不全と肺炎は、

```
OBX|1|CE|71020&IMP|1|^CONGESTIVE HEART FAILURE AND PNEUMONIA|...<cr>
```

ように送信するのではなく、以下のように送信すること。

```
OBX|1|CE|71020&IMP|1|^CONGESTIVE HEART FAILURE| ...<cr>
OBX|2|CE|71020&IMP|2|^PNEUMONIA|...<cr>
```

これよりさらによいのは、コンピュータの理解しうるコード（成分 1）を含んでいる完全にコード化された結果である。これはテキスト記述（成分 2）の代わりにまたはそれに追加して必要である。CE 値の中に複数の値を含むようにしてもよい。これらはコードとテキストの混合物でありうる。しかしそれらが 1 つの診断、所見あるいは概念を構築するため必要な場合に限る。テキストが独立している値としてコードの後に来る場合、それはコードの修飾子あるいは追加として解釈される。例えば、

```
OBX|1|CE|710120&IMP^CXR|1|428.0^CONGESTIVE HEART FAILURE^I9C~^MASSIVE
HEART...<cr>
```

成分 2 のテキストは成分 1 のコードの正確な記述とすべきである。同様に、もし使用されれば、成分 5 のテキストは成分 4 のコードの正確な記述とすべきである。

OBX への CDA の挿入

CDA ドキュメントは OBX セグメントで交換される。「OBX-2 値型」の値は ED である。OBX-5 検査結果値にカプセル化されたデータ型としてエンコードされた MIME パッケージを含む。その成分は以下に通りである。

- ・ 「OBX-5.2 データ型値」を 'multipart' に設定
- ・ 「OBX-5.3 データサブタイプ値」を 'x-hl7-cda-level-one' に設定
- ・ 「OBX-5.4 エンコード値」を 'A' に設定

（注記： MIME パッケージそれ自身は Base64 でエンコードされているわけではない。

MIME パッケージの実体が Base64 でエンコードされる。MIME パッケージ自身は ASCII テキストで送信される。したがって正しい値の内容は 'A' であり 'Base64' ではない。）

- ・ 「OBX-5.5 データ値」は MIME パッケージと等しいものが配置される。MIME パッケージ内のすべての実体は Base64 でエンコードされている必要がある。2 章にあるように、“データ要素は HL7 のデリミタで分離されなければならない（および 改行のような非印字 ASCII 文字か非 ASCII 文字）、そして 2.4 節でエスケープ文字を定義しているように受信アプリケーションはそのデータをディエスケープする必要がある。その結果、は MIME パ

パッケージで必要とされる CR/LF シーケンス送信前にエスケープされる (すなわち '¥X0D0A¥' に変換される)。最初の MIME コンテンツタイプは 'application/x-hl7-cda-level-one+xml' に設定されており、CDA ドキュメント自体を含める必要がある。送信される CDA ドキュメントから参照されるマルチメディアオブジェクトは MIME パッケージの連続する実体に配置される。

OBX-6 Units 単位 (CE) 00574

成分: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)>

背景: 検査の値が連続的な尺度で測定される場合、OBX セグメントの単位項目内で測定単位を報告しなければならない。HL7 V2.2 以降の仕様では、単位を報告する項目はすべてデータ型 CE である。

単位コードのためのデフォルトのコーディングシステムは、単一ケースの単位の ISO の略語 (ISO 2955-83)、および ISO の省略形と衝突しない拡張子から構成される。我々は ISO+ としてこのコーディングシステムを指定する。

ISO 単位の省略形および拡張子の両方が、HL7 7.4.2.6.2 節「ISO および ANSI の慣習的な単位省略形」の中で定義される、ISO+省略形はデフォルトのコーディングシステムのためのコードである。したがって、ISO+単位が使用される場合、ISO+省略形だけを送る必要がある。また、単位項目の内容は、HL7 V2.1 と下位互換性を持つ。

報告する単位の識別

我々は、ISO+省略単位を排他的に使用するように検査担当者に強く奨励するが、必要な場合米国の慣習的な単位 (ANSIX3.50) およびローカルに定義されたコードを含む他のコードシステムの使用を許す。ローカルな単位は L または 99zzz と呼ばれる。ここで z は英数字である (図 7.8.2 および 7.8.3 を参照のこと)。ANSIX3.50-1986 は、これらの規格を丁寧に説明し、またフィートまたはガロンのような米国の慣習的な単位のための、単一ケース省略形の表を提供している。

我々は当初 ANSIX3.50-1986 の米国の慣習的な単位をデフォルト値 ISO+コーディングシステムの中に含める意図があった。しかしながら、ISO の省略形と米国の慣習的な単位の省略形の間に重複がある。例えば、ft は米国の慣習的な単位でフィートの省略形であり、ISO 中の femtotesla の省略形である；

pt は米国の慣習的な単位で pint(パイント)の省略形であり、ISO 中の picotesla の省略形である (ANSI 文書は、一部の ISO 単位の省略形に関する ISO の文書とさらに異なることに留意すること)。潜在的な曖昧さを回避するために、我々はもう 1 つのコーディングシステムすなわち ANS+を定義した。(図 7.8.6 参照のこと) それに含まれるのは、米国の慣習的な単位 (例えばフィート、ポンド)、ANSIX3.50-1986 に定義された ISO の省略形、図 7.8.6 に列挙された非メートル系の単位、およびこれらの単位の ISO の組合せである。一部の ANSI ISO 単位省略形は ISO 中のそれらの省略形と異なることに留意すること (図 7.8.6 の下の注記を参照のこと)。

ANS+仕様は、ISO および米国の慣習的な単位の両方、およびさまざまな非メートル系の単位を含んでいるので、省略形のうちのいくつかは曖昧である。特別の検査の文脈では混同はほとんどないけれども、この曖昧さがあるので ANS+単位コードはできるだけ避けた方がよい。

ANS+単位コード (省略形) が送信される場合、ANS+は、項目の第 3 の (第 6 の) 成分に含まれていなければならない。もし距離の単位がメートル (ISO+) として送信されれば、ISO+が単位のデフォルト値コーディングシステムなので、それは m として送信される。しかしながら、もし米国の慣習的な単位のフィートで送信されれば、単位は ft ^ ANS+として送信される。要求されたとき、単位の全文は第 2 の成分として送ることができる。これは CE データ型の規則に従った形である。

ISO および ANSI の両方とも大文字と小文字が混合した省略形のセットを提供する。しかし、これらの省略形は意味の損失なしで単一のケースに変換できない。それゆえこの仕様書内では使用すべきでない。この仕様書の内容は、ケースの如何を問わず (大文字か小文字かに関係なく) 解釈できるよう要求されているからである。

ISO および ANSI の慣習的な単位省略形

ISO は 7 つの基本次元からその単位を構築している。すなわち、メートル、キログラム、秒、アンペア、ケルビン、モルおよびカンデラである (図 7.8-1 を参照のこと)。他の単位は、基本単位に接頭辞を付けて誘導する。これによってスケールを変え、および/または 2 つ以上の基本単位または組み

立て単位を代数的に組合せたものを作る。しかしながら、いくつかの組み立て単位はそれ自身の省略形を持っている（図 7.8-1 を参照のこと）。米国の慣習的な単位の省略形は図 7.8-1 に与えられる。ISO の規則は、ANSI X3.50 の中でよく説明されており、倍数接頭辞を加えることにより、異なる目盛の単位を作成する方法を提供する。これらの接頭辞は単語または省略形として表現できる。この規格では、省略形だけを扱う。

単位	省略形	単位	省略形	単位	省略形
基本単位コード／省略形					
アンペア	a	ケルビン	k	メートル	m
カンデラ	Cd	キログラム	kg	モル	mol
				秒	s
指定された名前および省略形を持つ組み立て単位					
クーロン	c	時間	Hr	パスカル	pal
日	d	ジュール	J	ボルト	v
セルシウス度	cel	分（時間の）	Min	ワット	w
ファラド	f	ニュートン	N	ウェーバー	wb
ヘルツ	hz	オーム	Ohm	年	ann
他の単位					
原子質量単位	u	グレイ	gy	角度の分	mnt
ベル	b	ヘンリー	h	ラジアン	rad
デシベル	db	リットル	l	ジーメンズ	sie
度	deg	ルーメン	Lm	ステラジアン	sr
グラム	g	ルクス	Lx	テスラ	t
完全なセットに関しては、ISO2955-1983 を参照すること。					

図 7.8-1 ISO の単一ケース単位の省略形

倍数接頭辞の ISO の省略形は図 7.8-1 に与えられる。 10^{24} (1 兆分の 1 のさらに 1 兆分の 1) から 10^{24} (1 兆×1 兆) の範囲の接頭辞がある。キロ (×1000) の単一ケース省略形は k である。1000 秒から成る単位の省略形は ks であり、1000 グラムは kg であり、1000 メートルは km であり、以下同様である。いくつかの接頭辞は基本単位の省略形を共有する。例えばファラドとフェムト (10^{-18}) は両方とも省略形は f である。混乱を回避するために、ISO は接頭辞だけの単独使用を禁止する。また 1 つの複合単位に 2 つの接頭辞を使用することを推奨しない。したがって f は常にファラドを意味し、ff は、1 ファラドの 100 万分の 1 のさらに 1 兆分の 1 を意味する。複合した接頭辞は許されない。

単位は指数関数的に何乗または何乗分の 1 で表現できる。正の指数はその数を単位の省略形の直後に付ける。つまり平方メートルは m^2 によって表示される。負の指数は基礎単位の直後に負数を付ける。例えば、1 平方メートル当りは m^2 で表される。分数の指数は分数を括弧の中に入れて表す：メートルの平方根は $m(1/2)$ として表現される。単位の掛け算は単位間の終止符 (.) によって示される。例えば、メートル掛ける秒は ms で表す。スペースが許されないことに留意すること。割り算は 2 つの単位間の斜線 (/) によって示される。例えば毎秒メートルは m/s として表示される。ISO 単位省略形の代数的な組合せであって、基本 ISO 単位の割り算、掛け算または累乗によって作ったものも有効な ISO 省略形単位である。累乗は掛け算または割り算に優先する。例えば、1 ヘルツ当たりのマイクロボルトの 2 乗 (スペクトルのパワーの単位) は $\mu v^2/hz$ と表され、マイクロボルトの 2 乗割る 1 ヘルツとして評価される。一方、1 ヘルツの平方根当たりのマイクロボルト (スペクトルの振幅の単位) は $\mu v/hz(1/2)$ と表され、マイクロボルト割る 1 ヘルツの平方根として評価される。もし 2 つ以上の割り算演算子が表現中に含まれるならば、結合は括弧内に入れて曖昧さを避ける。しかし最良のアプローチは、 $a/(b/c)$ を変換して $a.c/b$ あるいは、 $a.c.b-1$ として表現を単純化することである。

ISO コードは、単位を構築するための文法である。これらの単位の構造の規則は図 7.8-1 と図 7.8-3 に基づいている。図 7.8-2 は、英語圏諸国単位だけにつかわれるべきで、それは図 7.8-3 と一緒に使うべきではない。ISO+表はこの文法から構成された最も一般的な単位 (及び重要な非 ISO 単位) が含まれている。文法から派生した他の ISO 単位も有効である。

単位	省略形	単位	省略形	単位	省略形
長さ		体積		時間	
インチ	in	立方フィート	cft	年	yr
フィート	ft	立方インチ	cin	月	mo
マイル (法定)	mi	立方ヤード	cyd	週	wk

単位	省略形	単位	省略形	単位	省略形
海里	nmi	大さじ	tbs	日	d
ロッド	rod	小さじ	tsp	時間	hr
ヤード	yd	パイント	pt	分	min
		クォート	qt	秒	sec
		ガロン	gal		
		オンス (流体)	foz		
面積		質量			
平方フィート	sqf	ドラム	dr		
平方インチ	sin	グレーン	gr (常衡)		
平方ヤード	syd	オンス (重量)	oz		
		ポンド	lb		
他の ANSI 単位、誘導単位、およびその他					
**英国の熱単位 btu		**華氏の温度 degf		**ミリラド mrad	
立方フィート/分 cft/min		**フィート/分 ft/min		**ラド RAD	
注記: 時間の慣習的な米国の単位の省略形は、年を除いて ISO と同じである。年の場合は ISO=ANN, AMSI=yr である。X3.50 の中のメートル単位は、次のものを除いて ISO と同じである: パスカル (「pa」は ANSI, 「pal」は ISO) ; ANSI は「min」を時間と角度の両方に使用し、一方 ISO は「mnt」を角度に使用している ; そして秒は ISO では「s」と略され、ANSI では「sec」と略される。					
注記: ANSI+ の仕様には米、ISO 両方の慣習的な単位、およびその他の非メートル方の単位が含まれているため、一部の省略形はあいまいである。混乱はほとんどないはずだが、特定の検査に照らして、可能であれば ANSI+ コードを無効にする良い理由になる。					
この一覧表は全部を網羅したものではない。他のメートル系および米国の標準単位については、ANSIX3.50-1986、テーブル 1 を参照すること。					
**ANSI で明示的に列挙されていない非メートル系単位					

図 7.8-2 一部の米国の慣習的な単位の ANSI+ 単位コード

接頭辞		コード	接頭辞		コード
ヨタ	10^{24}	ya	ヨクト	10^{-24}	y
ゼタ	10^{21}	za	zepto	10^{-21}	z
エクサ	10^{18}	ex	アト	10^{-18}	a
ペタ	10^{15}	pe	フェムト	10^{-15}	f
テラ	10^{12}	t	ピコ	10^{-12}	p
ギガ	10^9	g	ナノ	10^{-9}	n
メガ	10^6	ma	マイクロ	10^{-6}	u
キロ	10^3	k	ミリ	10^{-3}	m
ヘクト	10^2	h	センチ	10^{-2}	c
デカ	10^1	da	デシ	10^{-1}	d
*これらの省略形は、単一ケース省略形の ISO 仕様の中では定義されていない。					

図 7.8-3 倍数接頭辞のための単一ケース ISO 省略形

HL7 7.18.4 節に、一般的な ISO 組み立て単位の省略形を列挙する。それに含まれるものは、一般的な単位、例えばミリ当量、国際単位、mm (Hg) についての標準単位の省略形、および分割記号、分母によって表わされるが分子のないもの、例えば /c を含む。上記に引用した ISO 規格の一部でないものである。我々は、薬ルートおよび生理学的な対策に合わせて、またそれ以外の場合はバージョン 2.2 のギャップを埋めるために単位テーブルを拡張した。

我々は、単位の定義において IUPAC1995 のシルバーブック 2 に一般に従った。しかしながら、IUPAC は、単位を報告し表示するための基準を指定し、それらを識別するために 8 ビット・データセットを使用する。この規格は、患者情報の送信に関係がある。したがって、我々は、大文字、小文字に無関係な英字、および少数の特殊文字 (例えば、「|」、「/」、「(|」、「|)」、「*」、および「_」) に限定して、送信中に起こりうる混乱を回避した。したがって、我々は ISO 2955-1983 (情報処理—制限のある文字セットを持ったシステム中の、SI および他の単位の表現)、および ANSI X3.50-1986 (制限のある文字セットを持ったシステム中の、米国の慣習的な単位、SI および他の単位の表現) の、大文字、小文字に無関係の単位省略形を、それらが定義されている場合、使用する。これは、場合によっては IUPAC 省略形が ISO+ と異なる省略形を持つことを意味する。例えば IUPAC 省略形が標準の英字だけを使用していたとしても同様である。例えば、パスカルは IUPAC の中では Pa と略される。しかし ISO+ (ISO 2955 に従う) の中では PAL である。なぜなら Pa は大文字、小文字に無関係な表示として (Pa と) 見るとピコアンペアを意味するからである。しかしながら、送信用の要件は、エンドユーザに紙

またはビデオディスプレイで報告するプレゼンテーションのため IUPAC 基準を使用することを妨げない。

すべての単位省略形は大文字、小文字に無関係である。ミリリットルは、ML、ml あるいは mL と書くことができる。このテーブルでは、我々はすべての省略形に対して小文字を使用した。ただし L は大文字にした。数字の 1 (1) と混同しないようにした。これは表示方法の変更であって規則の変更ではない。システムとしては通常どおり大文字または小文字で引き続き送信すべきである。

HL7 V2.5 7.18.4 節「一般的な ISO 誘導単位および ISO 拡張子」を参照のこと。

ローカルの単位コード

ローカル・コードは、第 3 の成分の中で 99zzz のコード・ソースを示すことによって単位に使用できる。ここで 99zzz は英数字の文字列である。ローカル・コードの場合には、コードのテキスト名あるいは単位の記述も（第 2 の成分中で）送信されるべきである。その結果を受信システムが、別のサービスによって送られた同じ測定の結果と比較できるようにするためである（2.5 節「データ型」を参照のこと）。「L」はコードがローカルに定義されることを示すために第 3 の成分に保存されるべきである。さらに特定化されたローカル・コード指示も、CE データ型定義中で指定されたように、使用できる。

OBX-7 References Range 標準値 (ST) 00575

成分:フォーマットが数値の場合:

- a) 下限 - 上限(下限と上限の両方が定義された場合。例えば、カリウム3.5—4.5の場合)
- b) >下限(下限のみが定義された場合。例えば、>10)
- c) <上限(上限のみが定義された場合。例えば、<15)

アルファベットの値:正常値はこの場所で報告される可能性がある。

定義: 有毒物質の量を計測する場合、範囲の上限により毒性限界を表す。

薬剤の量を計測する場合、下限により治療の期待できる最小量を表し、上限によりそれ以上の薬剤投与により通常副作用が発生しうることを表す。

OBX-8 Abnormal Flags 異常フラグ (IS) 00576

定義: このフィールドは結果の正常状態を示すテーブルルックアップを含んでいる。適用できる場合は、この値を送ることを強く推奨する。検査が抗菌物質感受性の場合、解釈コードは次のとおりである: S=敏感; R=耐性; I=中間; MS=少し敏感; VS=過敏。(詳細については、ASTM 1238-調査-を参照のこと)。採りうる値については、「使用者定義表 0078 - 異常フラグ」を参照のこと。

検査室で、胸部 X 線あるいは微生物培養などのテキスト・レポートの正常状態を識別できる場合、正常な場合は N、異常な場合は A として報告すべきである。複数のコード（例えば異常と悪化）を報告する場合は、反復デリミタ（例えば A~W）により分離されるだろう。

使用者定義表 0078 - Abnormal flags 異常フラグ

Value	Description
L	基準値下限以下
H	基準値上限以上
LL	パニック下限以下
HH	パニック上限以上
<	測定限界下限未満
>	測定限界上限超
N	正常 (非数値結果に適用)
A	異常 (非数値結果に適用)
AA	非常に異常 (数値単位のパニック値に対応するが、これは非数値単位に適用される)
null	範囲未定義、もしくは正常が適用されない
U	大幅な上昇変化
D	大幅な下降変化
B	改善—方向が適用されない場合使用
W	悪化—方向が適用されない場合使用
微生物感受性の場合のみ	
S	敏感
R	耐性
I	中間

Value	Description
MS	少し敏感
VS	過敏

結果は、結果の正確な数値を指定せずに正常状態を報告することによってメモ書きによって報告されることがある。そのようなメモは、臨床医のノートはありふれたことで、その場合医師は「グルコース結果は正常であった」と書くだけである。そのようなメモ報告は薬品の症例報告にも見られる。そのような場合、結果は、「OBX-5 検査結果値」の中でなにかの値を指定せずに、「OBX-8 異常フラグ」中に正常コードを報告することによって、OBX の中で報告できる。

OBX-9 Probability 確率 (NM) 00577

定義：このフィールドは、定性値を持つ結果の場合、結果が真である確率（結果が特定のコードとなる確率）を含んでいる。主として離散的コード化結果に適用される。0～1（0 と 1 を含む）の ASCII 文字列で表した 10 進数である。

OBX-10 Nature Of Abnormal Test 異常検査の特質 (ID) 00578

定義：このフィールドは、異常な検査の性質を含んでいる。有効な値については「HL7 表 0080 - 異常検査の特質」を参照すること。適用できるコードはできるだけ多く含むことができる。コードは反復区切記号で分離される。例えば、年齢、性別および人種に基づいた正常値は、A～S～Rとしてコードになる。

この表のコードの使用上の制約は、PID セグメントで定義されているもの、具体的には PID-35-種コード、PID-36-品種コード、および PID-37-血統情報と一致している必要がある。

HL7表 0080 - Nature of Abnormal Testing 異常検査の特質

値	内容
A	年齢別分布
N	なし — 一般正常範囲
R	人種別分布
S	性別分布
SP	種
B	品種
ST	血統

OBX-11 Observ Result Status 検査結果状態 (ID) 00579

定義：このフィールドは検査結果状態を含んでいる。採りうるコードについては、「HL7 表 0085-検査結果状態コード解釈」を参照のこと。このフィールドは、1つの検査項目について、現在の結果完了状態を反映する。

HL7表 0085 - Observation Result Status Codes Interpretation 検査結果状態コード解釈

Value	Description
C	Record coming over is a correction and thus replaces a final result 到着レコードは修正であり結果を書き換え
D	Deletes the OBX record OBX レコードを削除する
F	Final results; Can only be changed with a corrected result. 最終結果： 修正結果でのみ変更可能
I	Specimen in lab; results pending 臨床検査室の検体；結果保留
N	Not asked; used to affirmatively document that the observation identified in the OBX was not sought when the universal service ID in OBR-4 implies that it would be sought. 未確認、OBX-4 で探せない OBX 検査 ID を確定するために使用する
O	Order detail description only (no result) 検査依頼項目の詳細を示す
P	Preliminary results 事前結果
R	Results entered -- not verified 結果を入力 — 検証されない
S	Partial results 部分結果
X	Results cannot be obtained for this observation この検査では、結果は得られない
U	Results status change to Final. Without retransmitting results already sent as 'preliminary. 結果状態を最終へ変更。結果状態が「最終」になる。「予備」としてすでに送られた結果は再送信しない。例えば、放射線科により状態が事前から最終へ変更される。
W	Post original as wrong, e.g., transmitted for wrong patient オリジナルを間違っているものとしてポストする。例えば、間違っている患者のために送信された。

OBX-12 Effective Date of Reference Range 標準値有効日付 (TS) 00580

成分:<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義:このフィールドには、「OBX-7 標準値」が有効になった日付(およびオプションで時刻)が含まれる。

使用規則:このフィールドは、「OBX-7 標準値」が設定されている場合にのみ設定できる。

このフィールドが存在するとき、それは異なる参照範囲を有する同一の結果間の比較を容易にする。基準範囲の値は、検査室での実務の変化により変わる場合がある。そのような差異は、臨床検査医学における最新の実践、または最新の機器の使用を反映する可能性がある。

OBX-13 User Defined Access Checks ユーザ定義アクセス点検 (ST) 00581

定義:このフィールドはこれにより実施者は、受信システムで検査を分類するのに使用する結果依存コードを記録できるようになる。

ほとんどの分類は固定の検査 ID 属性であり、関連検査マスタファイルで定義することができるので、このフィールドはめったに必要とされない (HL7 第 8 章の説明を参照のこと)。

OBX-14 Date Time Of the Observation 検査日時 (TS) 00582

成分:<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義:このフィールドは次の 2 つの状態が必要になる。まず、1 つのレポートヘッダ (OBR) の下で報告された複数の検査が互いに異なる日付を持つ場合である。これが起こりえるのは、同じセットのある測定と別の測定が異なる時間を持つ可能性がある、照会、負荷試験・シーケンス、あるいはクリアランス検査の場合である。

次に、OBX セグメントを依頼者から実施者へ送る場合にも検査日時は必要である。この場合には、転送中の検査の日付は要求検査の日付とはなんの関係もないだろう。

どのような場合でも、検査日時は生理学的日時あるいは生理学的日時に最も近い日時である。検体に対して行われる検査の場合は、該当日時は検体採取日時である。患者に対して直接行われる測定(例えば X 線画像、病歴、身体測定)の場合には、検査日時は測定が行われた日時である。

【生理】生理検査結果通知メッセージ (OBR-25="F") の場合、OBX-14 (検査日時) を値必須とする。

OBX-15 Producer's ID 実施者 ID (CE) 00583

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義:このフィールドは、検査実施責任者の一意な識別子を含んでいる。

OBX-16 Responsible Observer 検査責任者 (XCN) 00584

成分: <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Name Context (CE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

副成分 for DEPRECATED-Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：要求された場合、このフィールドは検査に直接責任を負う個人（つまり検査を実行、もしくは検証した人）の識別子を含んでいる。

OBX-17 Observation Method 検査方法 (CE) 00936

成分:<identifier <Identifier (ST)> ^ <textText (ST)> ^ <nameName of coding system (IS)> ^ <alternate identifierCoding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <alternate textAlternate Text (ST)> ^ <nameName of alternate coding system (ISAlternate Coding System (ID)>

定義：このオプションのフィールドは、次の場合に検査が得られた方法あるいは処置を送信するために使用できる。送信システムが異なる方法によって得られた1つの測定中で識別を希望し、その区別が検査IDで暗示されない場合である。化学検査室は、検査名の一部として与えられた血清成分（例えば血清カリウム）を測定するために使用される、異なる2つの方法を通常識別しない。これらの区別の完全な議論に関しては、LOINC ユーザマニュアル4を参照すること。もし検査実施サービスが、特定検査を得るため使用された方法を報告し、方法が検査名に埋め込まれて「いない」ならば、それらはこのフィールドを使用できる。

（米国）疾病予防管理センター（CDC）方法コード（CDCM）は、方法／機器を報告するためのコードシステム1つの候補である。EUCLIDES 方法コードは別のものである。使用者定義表は代替手段である。

OBX-18 Equipment Instance Identifier 機器インスタンス識別子 (EI) 01479

成分: <Entity Identifier (ST)> ^ <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義：このフィールドは、検査結果の作成を担当する機器インスタンス（たとえば、アナライザ、アナライザモジュール、アナライザのグループなど）を識別する。これは、組織が名前空間IDまたは空白の場合は「実施者ID」（OBX-15）で指定される施設の設備のマスターリストによる識別子である。このマスターリストから機器タイプ、シリアル番号などを取得することは可能であるが、すべてのOBXでこの情報を転送することは計画されていない。このフィールドを繰り返すことにより、機器の階層表現（最下位レベルが最初）、例えば機器のモジュール、モジュールからなる機器、複数の機器のクラスタなどが可能になる。

OBX-19 Date/time of the Analysis 分析日付 (TS) 01480

成分:<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは、機器インスタンス識別子（上記参照のこと）で指定された機器による分析結果の生成に関連するタイムスタンプを転送するために使用される。

7.9. ORC Order Common Segment 共通オーダーセグメント

共通オーダーセグメント(ORC)は、(要求される全てのタイプのサービスである)全てのオーダーに共通するフィールドの転送に使用される。ORCセグメントは、オーダーメッセージ(ORM)に必須である。ORCは、オーダー詳細セグメントがある場合はオーダー応答(ORR)メッセージにおいて必須であるが、それ以外では必要ない。

(例えば、薬剤、食事のような)特定のタイプのオーダーセグメントに詳細が必要なら、任意のオーダー詳細セグメント(例えば、RXO,ODSのような)の前にORCがなければならない。場合によってはORCは、ORC|OK|<placer order number>|<filler order number>|<cr>の文字列のように簡単になりうる。

そのオーダーに詳細が必要でないなら、オーダー詳細セグメントは省略してもよい。例えば、あるオーダーを保留にするには、ORCを以下のフィールドを埋めて転送する: HD型の値を持つ「ORC-1 オーダー制御」と「ORC-2 依頼者オーダー番号」、そして「ORC-3 実施者オーダー番号」。

ORCのフィールドとオーダー詳細セグメントのそれらには多少の重複がある。この点については、後続の節で記述する。

HL7属性表—ORC—Order Common Segment 共通オーダーセグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHS	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME
1	2	ID	R	R		0119	Order Control オーダー制御
2	22	EI	C	R			Placer Order Number 依頼者オーダー番号
3	22	EI	C	O			Filler Order Number 実施者オーダー番号
4	22	EI	O	O*			Placer Group Number 依頼者グループ番号
5	2	ID	O	O		0038	Order Status オーダー状態
6	1	ID	O	O		0121	Response Flag 応答フラグ
7	200	TQ	B	X*	Y		Quantity/Timing 数量/タイミング
8	200	EIP	O	C*			Parent 親
9	26	TS	O	R*			Date/Time of Transaction トランザクション日時
10	250	XCN	O	O	Y		Entered By 入力者
11	250	XCN	O	O	Y		Verified By 検証者
12	250	XCN	O	R*	Y		Ordering Provider オーダー発行者
13	80	PL	O	O			Enterer's Location 入力場所
14	250	XTN	O	O	Y/2		Call Back Phone Number コールバック用電話番号
15	26	TS	O	O			Order Effective Date/Time オーダー有効日時
16	250	CE	O	O			Order Control Code Reason オーダー制御コード理由
17	250	CE	O	R			Entering Organization 入力組織
18	250	CE	O	O			Entering Device 入力装置
19	250	XCN	O	O	Y		Action By 発動者
20	250	CE	O	O		0339	Advanced Beneficiary Notice Code 予告受益者通知コード
21	250	XON	O	O	Y		Ordering Facility Name オーダー施設名
22	250	XAD	O	O	Y		Ordering Facility Address オーダー施設住所
23	250	XTN	O	O	Y		Ordering Facility Phone Number オーダー施設電話番号
24	250	XAD	O	O	Y		Ordering Provider Address オーダー依頼者住所
25	250	CWE	O	O			Order Status Modifier オーダー状態修飾子
26	60	CWE	C	C			Advanced Beneficiary Notice Override Reason 予告 受益者通知上書き理由
27	26	TS	O	O			Filler's Expected Availability Date/Time 実施者サービス 可能日時
28	250	CWE	O	O		0177	Confidentiality Code 守秘コード
29	250	CWE	O	O*		0482	Order Type オーダータイプ
30	250	CNE	O	O		0483	Enterer Authorization Mode 入力者承認モード

ORC 使用上の注意

a) 依頼者オーダーグループ

本標準規格では、複数のオーダーを1つのグループに集めるメカニズムをサポートする。大抵の場合、これは1人の患者に対して「オーダーリング・セッション」を表すために使用される。

オーダーグループは、「ORC-4 依頼者グループ番号-placer group number」に関連するオーダー(ORCs)のリストである。グループは、依頼者が最初のオーダーに依頼者グループ番号を付けたときに確立する。オーダーグループは、同じ依頼者グループ番号を有するすべてのORCsおよびすべての詳細セグメント

からなる。オーダーは、グループから取消を使用して除去したり、取替えや親子メカニズムを使用して追加したりできる。新規オーダーは、その他の方法でのグループへの追加はできない。

b) 重複フィールド

ORC は、すべてのオーダー（すなわち要求されたサービス）に共通なフィールドを一律に定義するよう意図されている。ただし、ORC の一部のフィールドは、一部のオーダー詳細セグメント（例えば OBR、RXO）と重複する。例えば、「ORC-2 依頼者オーダー番号」は、「OBR-2 依頼者オーダー番号」フィールドと同じ意味および目的を持つ。これによって過去のバージョンおよび ASTM との上位互換性が保たれる。

これらのフィールドを使用する規則は、ORC に現れない値はオーダー詳細セグメントに現れねばならない、というものである。しかし、両方の箇所に値を入れて混乱を避けることが望ましい。

c) 親／子 — 取消、保留、中断

親オーダーの取消、保留、または中断の要求の伝達は、その要求は親オーダーおよびすべての関連の子オーダーに対して再帰的に適用されるよう意図されている。

例えば、

- 1) EKG アプリケーションが 3 回の EKG を毎朝連続して行うオーダーを受けるとする。
- 2) EKG アプリケーションは 3 つの子オーダーを、各々の要求された EKG に対して 1 つずつ作成する。
- 3) 元の親オーダーを取消する要求が受け取られたときに 1 日目の EKG はすでに実施されていた（親は取り消せなかった）。
- 4) 残りの未実施の子は要求の結果として取消される。

ORC フィールド定義

ORC-1 Order Control オーダー制御 (ID) 00215

定義：オーダーセグメントの機能を決定する。有効なエントリについては「HL7 表 0119-オーダー制御コードとその意味」を参照のこと。メッセージによって、制御コードの振る舞いはオーダーまたは個別サービスに適用される。例えば、OMP メッセージの CA コードはそのオーダーを取消する。RDS メッセージの同じコードはその調剤を取消する。かなり詳しい説明の注記が、この節の最後に設けられている。

このフィールドは、オーダーのための「トリガーイベント」識別子と考えてよい。コードは、次の 3 つのカテゴリーに大別される。

a) イベント要求

イベントを生成するために、「NW」（新規オーダー）や「CA」（オーダー取消要求）のようなコードが使用される。

b) イベント肯定応答承認

イベント要求に返答するために、「OK」（オーダーの受理）や「CR」（要求通り取消された）のようなコードが使用される。

c) イベント通知

イベントが発生したことを他のアプリケーションに知らせるために、「OC」（オーダー取消）や「OD」（オーダー中断）のようなコードが使用される。いかなるアプリケーション応答も必要ない。

イベント要求コードは、イベントを開始することを意図する。イベント応答コードは、イベントを要求したアプリケーションに応答することを意図する。イベント通知コードは、他のアプリケーションに例えば次のようなことを知らせることを意図する。すなわち実施者がオーダーに対し何かアクションをとり、それを他のアプリケーション（例えば依頼者）が知る必要がある場合などである。

実施者、依頼者、および他のアプリケーションは、イベント要求、イベント応答、およびイベント通知型トリガーイベントについて互換性をもって使用できる。しかし、オーダー制御コードは実施者の

みから生成することができる（例えば CR）ものや、依頼者のみから生成することができる（例えば CA）ものもある。

HL7表 0119 - Order Control Code オーダ制御コードとその意味

Value	Description	Comments
AF	Order/service refill request approval 補充オーダー要求許可	Placer Applications. AF は補充品や補充量を許可する依頼者からの返答である
CA	Cancel order/service request オーダー取消依頼	Placer Applications. オーダー取消依頼は、以前にオーダーしたサービスを実施者に行わせないようにする依頼者からの要求である。取消要求の確認は、実施者によって行われる、例えば、CR の ORC-1 オーダ制御値) を持つメッセージである。 一般的な応答は、これらに限定されないが、以下のようなものが挙げられる、CR-要求通りオーダー取消完了、UC-オーダー取消不能。
CH	Child order/service 子オーダー	Placer or Filler Applications. PA とあわせて使用一親オーダーコントロールコード。詳細は PA オーダコントロールコードを参照のこと。
CN	Combined result 統合検査結果	Filler Applications. 統合検査結果コードは、複数のオーダーに関連する結果を送るためのメカニズムを提供する。この状態は、通常、放射線科医が複数のオーダーで表される複数の検査に対して単一のレポートを口述するときの放射線科レポートに見られる。例えば、リウマチ性関節炎患者のひざと手のフィルムは、放射線科医の側で1つの口述レポートを生成することがある。 そのような結果が報告されるとき、CN コードが最後の ORC 以外のすべての RE を置き替える。結果は最後の ORC とその OBR に続く。3つの ORC に続く単一のレポートの例は下記のとおりで ある。 MSH ...<cr> PID ...<cr> ORC CN ...<cr> OBR 1 A4461XA^HIS 81641^RAD 73666^Bilateral Feet ...<cr> ORC CN ...<cr> OBR 2 A4461XB^HIS 81642^RAD 73642^Bilateral Hand PA ...<cr> ORC RE ...<cr> OBR 3 A4461XC^HIS 81643^RAD 73916^Bilateral Knees ...<cr> OBX 1 CE 73916&IMP 1 Radiologist's Impression ...<cr> OBX 2 CE 73642&IMP 1 Radiologist's Impression ...<cr> OBX 3 FT 73642&GDT 1 Description ...<cr>
CR	Canceled as requested 要求通りオーダー取消完了	Filler Applications. 取消（依頼者アプリケーションからの CA）の要求が成功したことを示す実施者アプリケーションからの応答
DC	Discontinue order/service request オーダー中断要求	Placer Applications. 実施者アプリケーションに前もって要求したサービスを中断するための依頼者アプリケーションからの要求。中断と取消の違いとして、中断はオーダー/サービスおよび今後起こるすべての動作に影響、取消は現在のアクションだけに影響する。 一般的な応答は、これらに限定されないが、以下のようなものが挙げられる、CR-要求通りオーダー取消完了、UC-オーダー取消不能
DE	Data errors データエラー	Placer or Filler Applications.
DF	Order/service refill request denied 補充オーダー要求拒否	Placer Applications. 補充要求(RF)に対する実施者アプリケーションの応答、DF は依頼者がオーダーの補充を許可しないことを示す。オーダー制御コード理由を使用して要求拒否の理由を示してもよい。下記の値が推奨されている。 AA Patient unknown to the provider 提供者が患者を知らない AB Patient never under provider care 患者は提供者から医療を受けたことがない AC Patient no longer under provider care 患者はもはや提供者の医療を受けていない AD Patient has requested refill too soon 患者は補充を要求したがそれが早過ぎる AE Medication never prescribed for the patient 薬品が患者に処方されたことがない。 AF Patient should contact provider first 患者は最初に提供者にコンタクトするべきである AG Refill not appropriate 補充が適切でない。

Value	Description	Comments												
		注記：これらの値は、「NCPDP SCRIPT 応答セグメント・コードリスト修飾子」に由来することに留意すること。 資料の複製は©National Council for Prescription Drug Programs, Inc.（米国規格協会認定の機関）1988, 1992, 2002 NCPDP の承諾を得てください。												
DR	Discontinued as requested 要求通りオーダー中断	Filler Applications. 実施者は、中断（依頼者アプリケーションからの DC）の要求に応じて、オーダー／サービスを中断する。												
FU	Order/service refilled, unsolicited 補充オーダー済、未承諾	Filler Applications. FU は依頼者に実施者が患者要求のオーダーに対して補充を発行したことを通知する。												
HD	Hold order request オーダー保留要求	Placer Applications. 一般的な応答は、これらに限定されないが、以下のようなものが挙げられる、CR－要求通りオーダー取消完了、UC－オーダー取消不能。												
HR	On hold as requested 要求通りオーダー保留	Filler Applications.												
LI	Link order/service to patient care problem or goal オーダー／サービスの患者 看護プロブレムまたはゴ ールへの紐付	Placer or Filler Applications. 本規約では取り扱わない。 詳細は HL7 V2.5 第 12 章：患者看護を参照のこと。												
NA	Number assigned 番号が割り当て済み	Placer Applications. オーダー番号(ORC-2 依頼者オーダー番号 または ORC-3-実施者オーダー番号)の要求に関与する 3 つの状況がある。 1) 実施者アプリケーションが、集中アプリケーション（例えば HIS）へ ORC-3－実施者オーダー番号を要求する必要があるとき。 2) 実施者アプリケーションが、他のアプリケーション（例えばオーダーエントリ）へ ORC-2－依頼者オーダー番号を要求する必要があるとき。 3) アプリケーション（実施者アプリケーションでない）が新規オーダーのために ORC-3－実施者オーダー番号を割り当てたいとき。 1) 実施者アプリケーションが集中管理された実施者オーダー番号を必要とする場合 SN -このオーダー番号送信コードは、実施者が HIS のような中央集中アプリケーション（以下の表では“other”と呼ぶ）に、ORC－3－実施者オーダー番号を要求するメカニズムを提供する。これは SN の ORC-1-オーダー制御値を含んでいる ORM メッセージを送ることによって行う。この ORC は null の ORC-3-実施者オーダー番号 と ORC-2 依頼者オーダー番号を持つ。これらは実施者がオーダーを開始するとき、実施者アプリケーションによって作成されたものである。 ORM (SN タイプ) メッセージは、以下の 2 つの方法によって確認応答される。 i) ORC-1 オーダー制御 の値が OK である ORR メッセージによる。非要求の ORM メッセージは、ORC-1-オーダー制御 の値が NA である ORC を含んでいて、後で送信される。 ii) 以下で述べる ORC-1 オーダー制御 の値が NA である ORR メッセージによる。 NA -この番号割り当て済コードは、その他のアプリケーションが実施者アプリケーションに、新しく割り当てられた実施者オーダー番号を知らせることを許す。ORC-1－オーダー制御値、ORC-2－依頼者オーダー番号 (SN 値を持つ ORC から) は NA の値を持ち、新しく割り当てられた実施者オーダー番号を含む												
<table><tr><th>Code</th><th>From</th><th>ORC-2-Placer Order Number</th><th>ORC-3-Filler Order Number</th></tr><tr><td>SN</td><td>filler application</td><td>placer order number^filler application ID</td><td>Null</td></tr><tr><td>NA</td><td>other application</td><td>placer order number^filler application ID</td><td>filler order number^filler application ID</td></tr></table> Note: Both the placer order number and the filler order number have the filler's application ID 注記：依頼者オーダー番号と実施者オーダー番号の両方が、実施者のアプリケーション ID を持つ。			Code	From	ORC-2-Placer Order Number	ORC-3-Filler Order Number	SN	filler application	placer order number^filler application ID	Null	NA	other application	placer order number^filler application ID	filler order number^filler application ID
Code	From	ORC-2-Placer Order Number	ORC-3-Filler Order Number											
SN	filler application	placer order number^filler application ID	Null											
NA	other application	placer order number^filler application ID	filler order number^filler application ID											
2) 実施者アプリケーションが依頼者オーダー番号を必要とする場合 SN -このオーダー番号送信コードは、実施者アプリケーションが ORC-2－依頼者オーダー番号をその他のアプリケーションに要求するためのメカニズムを提供する。（以下の表では“other”と呼ぶ）これは SN の ORC-1－オーダー制御値を含んでいる ORM メッセージを送ることによって行う。この ORC は、null の ORC-2－依頼者オーダー番号と、実施者がオーダーを生成するときに実施者アプリケーションによって作成された ORC-3－実施者オーダー番号を持つ。 ORM (SN 型) メッセージは、2 つの方法によって確認応答される。 i) ORC-1－オーダー制御の値が OK である ORR メッセージによる。非要求 ORM メッセージは、ORC-1－オーダー制御の値が NA である ORC を含んでいて、後で送信が可能である。														

Value	Description	Comments																																		
		ii) 以下で述べる、ORC-1ーオーダー制御の値が NA である ORR メッセージによる。 NA -この番号割り当て済コードは、「その他」アプリケーションが実施者アプリケーションに、新しく割り当てられた ORC-2ー依頼者オーダー番号を知らせることを許す。ORC は、NA の ORC-1ーオーダー制御値、新しく割り当てられた ORC-2ー依頼者オーダー番号、および ORC-3ー実施者オーダー番号 (SN 値を持つ ORC から) を含む。 <table><tr><th>Code</th><th>From</th><th>ORC-2-Placer Order Number</th><th>ORC-3-Filler Order Number</th></tr><tr><td>SN</td><td>filler application</td><td>null</td><td>filler order number^filler application ID</td></tr><tr><td>NA</td><td>other application</td><td>placer or filler number^placer application ID</td><td>filler order number^filler application ID</td></tr></table> Note: The new ORC-2-placer order number has the placer's application ID 注記：新しい ORC-2 依頼者のオーダー番号は、依頼者のアプリケーション ID を持っている。 3) アプリケーションが実施者オーダー番号を割り当てたい場合 NW - オーダーを作成するアプリケーション (実施者アプリケーションではない) が、新規オーダーの実施者オーダー番号を割り当てたいとき。 または RO - (RP に続く RO)。この場合は、「other」のアプリケーションが ORC-3ー実施者オーダー番号を完成させる。この際、実施者オーダー番号の第2成分として実施者アプリケーション ID を使用する。 <table><tr><th>Code</th><th>From</th><th>ORC-2-Placer Order Number</th><th>ORC-3-Filler Order Number</th></tr><tr><td>NW or RO</td><td>Other application to filler application</td><td>placer order number^placer application ID</td><td>filler order number^filler application ID</td></tr></table> NW New order/service 新規オーダー Placer Applications. NA のコメントを参照のこと ー番号は割り当て 【生理】ORC(PA)を記述する前に ORC(NW)を記述する。 <table><tr><td>ORC(NW)</td><td>新規オーダー</td></tr><tr><td>ORC(PA)</td><td>親オーダー</td></tr><tr><td>OBR</td><td>親オーダーの記述</td></tr><tr><td>ORC(CH)</td><td>1 番目の子オーダー</td></tr><tr><td>OBR</td><td>1 番目の子オーダーの記述</td></tr><tr><td>ORC(CH)</td><td>2 番目の子オーダー</td></tr><tr><td>OBR</td><td>2 番目の子オーダーの記述</td></tr></table> OC Order/service canceled オーダー取消完了 OD Order/service discontinued オーダー中断 OE Order/service released オーダー開放 OF Order/service refilled as requested 要求通り補充オーダー済 OH Order/service held オーダー保留 OK Order/service accepted & OK オーダー受付&OK OP Notification of order for outside dispense 外部調剤へのオーダー通知 OR Released as requested 要求通りオーダー開放 Filler Applications. Filler Applications. Filler Applications. Filler Applications. OF は補充に対する依頼者システムからの要求に直接応答する。 Filler Applications. Filler Applications. NA のコメントを参照のこと ー番号割り当て。 Placer Applications. これらオーダー制御コードは、システム間でオーダーを通信するために使用される。それらシステムでは、オーダーは情報提供の目的とみなされる。たとえば、通信を行うシステムの組織外のベンダによって実行されるオーダーである。そのシステムでは、臨床的な継続性のためにそのオーダーに関連した情報を維持する必要があるが、オーダーされたサービスを実行するアクションを何ら意図したものではない。 OP は、NW の情報提供バージョンを、PY は RO の情報提供バージョンといえる。NW と RO の表注記は、各々OP と PY にも適用できる。 Filler Applications.	Code	From	ORC-2-Placer Order Number	ORC-3-Filler Order Number	SN	filler application	null	filler order number^filler application ID	NA	other application	placer or filler number^placer application ID	filler order number^filler application ID	Code	From	ORC-2-Placer Order Number	ORC-3-Filler Order Number	NW or RO	Other application to filler application	placer order number^placer application ID	filler order number^filler application ID	ORC(NW)	新規オーダー	ORC(PA)	親オーダー	OBR	親オーダーの記述	ORC(CH)	1 番目の子オーダー	OBR	1 番目の子オーダーの記述	ORC(CH)	2 番目の子オーダー	OBR	2 番目の子オーダーの記述
Code	From	ORC-2-Placer Order Number	ORC-3-Filler Order Number																																	
SN	filler application	null	filler order number^filler application ID																																	
NA	other application	placer or filler number^placer application ID	filler order number^filler application ID																																	
Code	From	ORC-2-Placer Order Number	ORC-3-Filler Order Number																																	
NW or RO	Other application to filler application	placer order number^placer application ID	filler order number^filler application ID																																	
ORC(NW)	新規オーダー																																			
ORC(PA)	親オーダー																																			
OBR	親オーダーの記述																																			
ORC(CH)	1 番目の子オーダー																																			
OBR	1 番目の子オーダーの記述																																			
ORC(CH)	2 番目の子オーダー																																			
OBR	2 番目の子オーダーの記述																																			

Value	Description	Comments																					
PA	Parent order/service 親オーダー	Filler Applications. 親(PA)と子(CH)のオーダー制御コードにより、親（オリジナルオーダー）を変えることなく「親オーダー」から「子オーダー」を生み出すことが可能になる。PA の ORC-1-オーダー制御値を持つ 1 個以上の ORC セグメントは CH の ORC-1-オーダー制御値を持つ 1 個以上の ORC セグメントが後に続く。ORC-6-応答フラグの値によって OBR セグメントが存在しなければならないかどうか決定される。 例えば、細菌培養で 2 つの細菌を生成しそれに対応する感受性試験の結果がでたと仮定して、そのときセグメントのシーケンスは、次の通りである <table border="1"> <thead> <tr> <th>Segment</th><th>Order Control</th><th>Comments</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ORC</td><td>PA</td><td>1st parent ORC</td></tr> <tr> <td>ORC</td><td>CH</td><td>1st child ORC</td></tr> <tr> <td>OBR</td><td></td><td>1st child order</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>ORC</td><td>CH</td><td>2nd child ORC</td></tr> <tr> <td>OBR</td><td></td><td>2nd child order</td></tr> </tbody> </table> 親子パターンでの依頼者オーダー番号の割り当ては、依頼者または実施者が子オーダーを生成するかどうか、また後者の場合、依頼者が SN/NA トランザクションをサポートするかどうかによって依存する。依頼者が子オーダーを生成するならば、それはその通常の手続きに従ってそれらの依頼者オーダー番号を割り当てる。実施者が子オーダーを生成するならば、そこで 2 つの可能性がある。各々の子はその親の依頼者オーダー番号を受け継ぐか、あるいは依頼者が依頼者オーダー番号を割り当てるよう要求するために実施者が SN/NA トランザクションを使用する。どちらのケースでも、実施者アプリケーションは、その通常の手続きに従って子の実施者オーダー番号を生成する。 子オーダーがメッセージで送られるときは、常に ORC セグメントの ORC-8-親に親の実施者オーダー番号（実施者から開始する場合）および親の依頼者オーダー番号（実施者から開始する場合、あるいは依頼者から開始する場合）がセットされる。 親子メカニズムは、（例えば、毎朝、連続して 3 回の EKG のオーダーを発行するといったように）、親オーダーを拡張することのために使用される。 【生理】 生理検査の場合、親オーダーはそのオーダー全体に関連する情報を記述する。例えば、患者のプロファイル情報などは親オーダー記述の中に記述する。子オーダーはこの撮影に関する情報を記述する。例えば、撮影部位や使用材料などである。部位などが異なる撮影に関しては、それぞれに子オーダー記述を使用する。さらに、後述する ORC(NW)は新規オーダーを表す意味で、ORC(PA)の前に記述する。 ORC(NW) 新規オーダー ORC(PA) 親オーダー OBR 親オーダーの記述 ORC(CH) 1 番目の子オーダー OBR 1 番目の子オーダーの記述 ORC(CH) 2 番目の子オーダー OBR 2 番目の子オーダーの記述	Segment	Order Control	Comments	ORC	PA	1st parent ORC	ORC	CH	1st child ORC	OBR		1st child order				ORC	CH	2nd child ORC	OBR		2nd child order
Segment	Order Control	Comments																					
ORC	PA	1st parent ORC																					
ORC	CH	1st child ORC																					
OBR		1st child order																					
ORC	CH	2nd child ORC																					
OBR		2nd child order																					
PR	Previous Results with new order/service 以前の結果	Placer Applications. PR は、この ORC が（オーダーにうめこまれている）以前の検査を含む ORU 構造の一部であることを示す。少なくとも、主に 2 つのユースケースが、以前の検査の完全な結果がそのオーダーとともに転送されることを要求する。 ・臨床検査室は、結果（HIV 等）の確認や試験（遺伝的試験等）を行える設備がないため、他の検査機関に検査を委託する。 ・臨床検査室は、検査報告に含める診断コメントの自動生成のための知識ベースに検査結果を送る。																					
PY	Notification of replacement order for outside dispense 外部調剤へのオーダー修正通知	Placer Applications. OP（外部調剤へのオーダー通知）のコメントを参照のこと。																					
RE	Observations/Performed Service to follow 検査付帯情報	Placer or Filler Applications. 検査付帯情報コードはオーダーと共に患者固有情報を送るのに使用される。オーダー詳細セグメント（例えば、OBR）の後には 1 個またはそれ以上の検査セグメント(OBX)を続けることができる。ORU メッセージとして伝えることができるいかなる検査情報も、このメカニズムで伝えることができる。結果がオーダーとともに送られるときは、結果はその結果が対応するオーダーの直後に続けられるべきである。 次の例は、3 個の処方オーダーのためのセグメントのシーケンスを、RE コードの使用例で示す。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Segment</th><th>Order Control</th><th>Comments</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MSH</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>PID</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	Segment	Order Control	Comments	MSH			PID														
Segment	Order Control	Comments																					
MSH																							
PID																							

Value	Description	Comments																																													
RF	Refill order/service request 補充オーダー要求	ORC NW First new order																																													
		RXO First order segment																																													
		ORC NW 2nd new order																																													
		RXO 2nd order segment																																													
		[ORC RE Patient-specific observation, optional in V 2.2																																													
		OBR] Observation OBR, optional in V 2.2																																													
		OBX An observation segment																																													
		OBX Another observation segment																																													
		OBX Another observation segment																																													
		OBX Another observation segment																																													
		ORC NW 3rd order																																													
		RXO 3rd order segment																																													
	HL7 のこのバージョンにおいて、結果は 1 個あるいはそれ以上の OBX セグメントとしてオーダーと共に送ることができる。ただし ORC と OBR セグメントを必ずしも含む必要はない。 検査情報は ORC を使用せずに ORU メッセージを用いて伝えることができる。 ORU メッセージの OBR セグメントに含まれない情報を伝える必要が生じるときがある。この場合、ORC が ORU メッセージに含まれていることを推奨する。 オーダー制御の値に RE をもつことは、ORM メッセージにおいてオーダーの後に検査結果 (OBX) が続くことを示す場合にのみ要求される。RE コードは ORU メッセージでは必要ではない。なぜなら OBR セグメントの後に検査結果 (OBX) を続けることができるからである。 Placer or Filler Applications. RF は実施者または依頼者の両方による要求を受け入れる。実施者は依頼者からの補充許可を要求していることもある。依頼者システムは、補充が実施者システムによって行われるよう要求していることもある。 標準的な応答は、これらに限定されないが、以下のようなものが挙げられる。実施者要求に関しては AF—補充オーダー要求許可、DF—補充オーダー要求拒否; 依頼者要求には、RE—検査付帯情報、UF—補充不能																																														
RL	Release previous hold 前回保留オーダー開放	Placer Applications.																																													
RO	Replacement order 置換後オーダー	Placer or Filler Applications. オーダー置換依頼は以前に依頼された 1 個以上のオーダーの代替えである。 取替えられたオーダーはあたかも取り消されたオーダーのように扱われる。依頼されたサービスが取替えられるかどうか、いつ修正されるかは、現場独自で決定する。 オリジナルのオーダーが元の状態を保つことをサイトが要求するならば、親／子オーダー制御コードを使用する。以下の場合には、オーダー置換コードを使用しない。 取替えられる各オーダーには RP (実施者に対するオーダー置換依頼) の ORC-1—オーダー制御値または RU (実施者によって作成された非要求置換) を使用すること。RU は実施者によって使用され、依頼者および、または他のシステムに通知するためのものである。現場での取り決め(local agreement) によって、ORC セグメント (RP または RU と) の後には、そのオリジナルのオーダー詳細セグメントが続いてもよい。ORC セグメント (RP または RU を含む) の後には、RO (置換後オーダーを示す) の ORC-1—オーダー制御値を持つ、ORC セグメントが続かなければならない。現場での取り決めによっては、RO 値を持つ ORC は、オーダー詳細セグメントが後に続いてよい。 例えば、部門のアプリケーションが 2 個の OBR オーダーを 3 つの異なったオーダーで修正されていたと仮定して、セグメントの順序は、次の通りになる。																																													
<table><tr><th>Seg</th><th>Order Control</th><th>Comments</th></tr><tr><td>ORC</td><td>RU</td><td>1st replaced ORC</td></tr><tr><td>OBR</td><td></td><td>1st replaced order's detail segment</td></tr><tr><td> </td><td></td><td></td></tr><tr><td>ORC</td><td>RU</td><td>2nd replaced ORC</td></tr><tr><td>OBR</td><td></td><td>2nd replaced order's detail segment</td></tr><tr><td> </td><td></td><td></td></tr><tr><td>ORC</td><td>RO</td><td>1st replacement ORC</td></tr><tr><td>OBR</td><td></td><td>1st replacement order's detail segment</td></tr><tr><td> </td><td></td><td></td></tr><tr><td>ORC</td><td>RO</td><td>2nd replacement ORC</td></tr><tr><td>OBR</td><td></td><td>2nd replacement order's detail segment</td></tr><tr><td> </td><td></td><td></td></tr><tr><td>ORC</td><td>RO</td><td>3rd replacement ORC</td></tr><tr><td>OBR</td><td></td><td>3rd replacement order's detail segment</td></tr></table>			Seg	Order Control	Comments	ORC	RU	1st replaced ORC	OBR		1st replaced order's detail segment				ORC	RU	2nd replaced ORC	OBR		2nd replaced order's detail segment				ORC	RO	1st replacement ORC	OBR		1st replacement order's detail segment				ORC	RO	2nd replacement ORC	OBR		2nd replacement order's detail segment				ORC	RO	3rd replacement ORC	OBR		3rd replacement order's detail segment
Seg	Order Control	Comments																																													
ORC	RU	1st replaced ORC																																													
OBR		1st replaced order's detail segment																																													
ORC	RU	2nd replaced ORC																																													
OBR		2nd replaced order's detail segment																																													
ORC	RO	1st replacement ORC																																													
OBR		1st replacement order's detail segment																																													
ORC	RO	2nd replacement ORC																																													
OBR		2nd replacement order's detail segment																																													
ORC	RO	3rd replacement ORC																																													
OBR		3rd replacement order's detail segment																																													
ORC-6—応答フラグの値によって OBR セグメントが存在しなければならないかどうか決定される。																																															

Value	Description	Comments																																	
		この取替え方法は、すべての取替え可能なケースを扱う： 1 個から 1 個へ、複数から 1 個へ、1 個から複数へ、および複数から複数へ。もし依頼者が実施者に 2 つの RP 付き要求を送り実施者から依頼者への応答があるとする、2 つの RU（非要求で置換された）は 2 つの RQ（要求通り置換された）となる。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Seg</th><th>Order Control</th><th>Comments</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ORC</td><td>RQ</td><td>1st replaced ORC</td></tr> <tr> <td>OBR</td><td></td><td>1st replaced order's detail segment</td></tr> <tr> <td>ORC</td><td>RQ</td><td>2nd replaced ORC</td></tr> <tr> <td>OBR</td><td></td><td>2nd replaced order's detail segment</td></tr> <tr> <td>ORC</td><td>RO</td><td>1st replacement ORC</td></tr> <tr> <td>OBR</td><td></td><td>1st replacement order's detail segment</td></tr> <tr> <td>ORC</td><td>RO</td><td>2nd replacement ORC</td></tr> <tr> <td>OBR</td><td></td><td>2nd replacement order's detail segment</td></tr> <tr> <td>ORC</td><td>RO</td><td>3rd replacement ORC</td></tr> <tr> <td>OBR</td><td></td><td>3rd replacement order's detail segment</td></tr> </tbody> </table> 置換オーダコードは、実施者アプリケーションによって別のアプリケーションに送れて、置換された正確なオーダサービスを示す。それは上記の RP と RU のオーダ制御コードによって使用される。RO の制御値を持つ ORC セグメントのオーダ番号の規則は置換型（RP または RU）によって決定される。 RU 型（すなわち実施者からの非要求置換）のときには、実施者オーダ番号は、実施者アプリケーションによって通常生成される。依頼者オーダ番号は、最初に送られた、オーダ制御の値が RU である ORC の依頼者オーダ番号と全く同一である。 RP 型（すなわち別のアプリケーションから実施者へのオーダ置換要求）のときには、依頼者オーダ番号は、新規オーダのための手続きを使用して、依頼者アプリケーションによって生成される。実施者オーダ番号は、新規オーダと同一の手順を使用して、実施者アプリケーションによって生成される。 置換シーケンスが ORU メッセージ（すなわち検査結果報告の時に）において使用されるときに推奨セグメントを以下に述べる。 1) RO のオーダ制御値付きの ORC 2) 任意の OBR セグメント（任意のオーダ詳細セグメントによって置換可能） 3) オプションで検査結果セグメント（OBX）が後に続く。 4) NTE セグメントは、通常の ORU メッセージにおけるのと同様に OBR（あるいは任意のオーダ詳細セグメント）または OBX セグメントの後に続けられる。 Placer Applications. オーダ置換依頼は、以前に依頼された、1 個あるいはそれ以上のオーダの代替えである。今後の議論のためには、RO-置換後オーダのコメントを参照のこと オーダ置換要求コードは依頼者アプリケーションの要求に応じて、実施者が 1 個あるいはそれ以上の新規オーダを 1 個あるいはそれ以上の新規オーダと取替えることを許可する。 RO の制御値を持つ ORC セグメントのオーダ番号の規則は置換型（RP または RU）によって決定される。 RU 型（すなわち実施者からの非要求置換）のときには、実施者オーダ番号は、実施者アプリケーションによって通常生成される。依頼者オーダ番号は、最初に送られた、オーダ制御の値が RU である ORC の依頼者オーダ番号と全く同一である。 RP 型（すなわち別のアプリケーションから実施者へのオーダ置換要求）のときには、依頼者オーダ番号は、新規オーダのための手続きを使用して、依頼者アプリケーションによって生成される。実施者オーダ番号は、新規オーダと同一の手順を使用して、実施者アプリケーションによって生成される。 置換シーケンスが ORU メッセージ（すなわち検査結果報告の時に）において使用されるときに推奨セグメントを以下に述べる。 1) RO のオーダ制御値付きの ORC 2) 任意の OBR セグメント（任意のオーダ詳細セグメントによって置換可能） 3) オプションで検査結果セグメント（OBX）が後に続く。 4) NTE セグメントは、通常の ORU メッセージにおけるのと同様に OBR（あるいは任意のオーダ詳細セグメント）または OBX セグメントの後に続けられる。 Filler Applications. オーダ置換依頼は、以前に依頼された、1 個あるいはそれ以上のオーダの代替えである。今後の議論のためには、RO-置換後オーダのコメントを参照のこと オーダ置換要求コードは依頼者アプリケーションの要求に応じて、実施者が 1 個あるいはそれ以上の新規オーダを 1 個あるいはそれ以上の新規オーダと取替えることを許可する。 置換オーダコードは、実施者アプリケーションによって別のアプリケーションに送れて、置換され	Seg	Order Control	Comments	ORC	RQ	1st replaced ORC	OBR		1st replaced order's detail segment	ORC	RQ	2nd replaced ORC	OBR		2nd replaced order's detail segment	ORC	RO	1st replacement ORC	OBR		1st replacement order's detail segment	ORC	RO	2nd replacement ORC	OBR		2nd replacement order's detail segment	ORC	RO	3rd replacement ORC	OBR		3rd replacement order's detail segment
Seg	Order Control	Comments																																	
ORC	RQ	1st replaced ORC																																	
OBR		1st replaced order's detail segment																																	
ORC	RQ	2nd replaced ORC																																	
OBR		2nd replaced order's detail segment																																	
ORC	RO	1st replacement ORC																																	
OBR		1st replacement order's detail segment																																	
ORC	RO	2nd replacement ORC																																	
OBR		2nd replacement order's detail segment																																	
ORC	RO	3rd replacement ORC																																	
OBR		3rd replacement order's detail segment																																	
RP	Order/service replace request オーダ置換要求																																		
RQ	Replaced as requested 要求通りオーダ置換																																		

Value	Description	Comments
RR	Request received 要求受付	た正確なオーダーサービスを示す。それは上記の RP と RU のオーダー制御コードによって使用される。RO の制御値を持つ ORC セグメントのオーダー番号の規則は置換型 (RP または RU) によって決定される。 RU 型 (すなわち実施者からの非要求置換) のときには、実施者オーダー番号は、実施者アプリケーションによって通常生成される。依頼者オーダー番号は、最初に送られた、オーダー制御の値が RU である ORC の依頼者オーダー番号と全く同一である。 RP 型 (すなわち別のアプリケーションから実施者へのオーダー置換要求) のときには、依頼者オーダー番号は、新規オーダーのための手続きを使用して、依頼者アプリケーションによって生成される。実施者オーダー番号は、新規オーダーと同一の手順を使用して、実施者アプリケーションによって生成される。 置換シーケンスが ORU メッセージ (すなわち検査結果報告の時に) において使用されるときに推奨セグメントを以下に述べる。 1) RO のオーダー制御値付きの ORC 2) 任意の OBR セグメント (任意のオーダー詳細セグメントによって置換可能) 3) オプションで検査結果セグメント (OBX) が後に続く。 4) NTE セグメントは、通常の ORU メッセージにおけるのと同様に OBR (あるいは任意のオーダー詳細セグメント) または OBX セグメントの後に続けられる。 Placer or Filler Applications. 下位互換性のためだけに保持されている。
RU	Replaced unsolicited 非要求オーダー置換	
		Filler Applications. オーダー置換依頼は、以前に依頼された、1 個あるいはそれ以上のオーダーの代替えである。今後の議論のためには、RO-置換後オーダーのコメントを参照のこと オーダー非要求置換通知コードは依頼者アプリケーションから要求されることなしに実施者アプリケーションが別なアプリケーションに知らせることを許可する。 RO の制御値を持つ ORC セグメントのオーダー番号の規則は置換型 (RP または RU) によって決定される。 RU 型 (すなわち実施者からの非要求置換) のときには、実施者オーダー番号は、実施者アプリケーションによって通常生成される。依頼者オーダー番号は、最初に送られた、オーダー制御の値が RU である ORC の依頼者オーダー番号と全く同一である。 RP 型 (すなわち別のアプリケーションから実施者へのオーダー置換要求) のときには、依頼者オーダー番号は、新規オーダーのための手続きを使用して、依頼者アプリケーションによって生成される。実施者オーダー番号は、新規オーダーと同一の手順を使用して、実施者アプリケーションによって生成される。 置換シーケンスが ORU メッセージ (すなわち検査結果報告の時に) において使用されるときに推奨セグメントを以下に述べる。 1) RO のオーダー制御値付きの ORC 2) 任意の OBR セグメント (任意のオーダー詳細セグメントによって置換可能) 3) オプションで検査結果セグメント (OBX) が後に続く。 4) NTE セグメントは、通常の ORU メッセージにおけるのと同様に OBR (あるいは任意のオーダー詳細セグメント) または OBX セグメントの後に続けられる。 Placer or Filler Applications.
SC	Status changed 状態変更	
SN	Send order/service number 送信オーダー番号	Placer Applications. NA に関してはコメントを参照のこと 一番号割り当て
SR	Response to send order/service status request 送信オーダー状態要求応答	Filler Applications.
SS	Send order/service status request 送信オーダー状態要求	Placer Applications.
UA	Unable to accept order/service オーダー受付不可	Filler Applications. オーダー受付不可コードが使用されるのは、新しいオーダーを実施者が受付できないときである。受付できない理由としては、患者がアレルギーを起こす薬剤の処方要求したこと、またはそのオーダーを実施するための機器が利用できないこと (例えば、オーダーが記入できないなど) が考えられる。これは MSA セグメント内で定義される通信レベルでの受付とは異なることに留意すること。
UC	Unable to cancel オーダー取消不能	Filler Applications. オーダー取消不能コードは依頼されたサービスが実施者によって取り消せないポイントにあるとき、あるいは現場の取り決めで実施者による取消を禁止するとき使用される。このコードの使用は ORC-6 応答フラグに従う。
UD	Unable to discontinue オーダー中断不能	Filler Applications.
UF	Unable to refill 補充不能	Filler Applications. UF は実施者システムが許可された補充要求に対してアプリケーションレベル拒否をしたことを示す。
UH	Unable to put on hold オーダー保留不能	Filler Applications.
UM	Unable to replace	Filler Applications.

Value	Description	Comments
UN	オーダー修正不能 Unlink order/service from patient care problem or goal 患者看護プロブレムまたはゴールからのリンクオーダー解除	Placer or Filler Applications. 詳細は、HL7 V2.5 第12章：患者看護を参照のこと。
UR	Unable to release オーダー開放不能	Filler Applications.
UX	Unable to change オーダー変更不能	Filler Applications.
XO	Change order/service request オーダー変更要求	Placer Applications. 【生理】検査内容変更の際に、ORC-1にXOを入れ、1メッセージで送信する。XOの使用は、XO-PA-CHの構造のみで、上書きの情報として送付する。受け取り側はオーダー情報を完全に入れ替える。ORC(PA)を記述する前にORC(XO)を記述する。 ORC(XO) 修正オーダー ORC(PA) 親オーダー OBR 親オーダーの記述 ORC(CH) 1番目の子オーダー OBR 1番目の子オーダーの記述 ORC(CH) 2番目の子オーダー OBR 2番目の子オーダーの記述
XR	Changed as requested 要求通りオーダー変更	Filler Applications.
XX	Order/service changed unsolicited. オーダー変更（未承諾）	Filler Applications.
MC	Miscellaneous Charge – not associated with an order 雑費—オーダーとは関連なし	applies to DFT^P03^DFT_P03 and DFT^P11^DFT_P11 DFT^P03^DFT_P03 と DFT^P11^DFT_P11 を適用。

注記: HL7 V2.5の当該表は、オーダー制御コードに対応するメッセージの記述が不十分であるため、HL7 V2.7の当該表を採用した。

ORC-2 Placer Order Number 依頼者オーダー番号 (EI) 00216

成分: <Entity Identifier (ST)> ^ <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義: 依頼者アプリケーションのオーダー番号。

第1成分は個々のオーダー（例えばOBR）を識別する文字列である。15文字の上限が推奨されるが、必須ではない。依頼者オーダー番号に対してより多くの文字数を要求するアプリケーションに適用するためにこのフィールドの文字数が増える場合、その実装はHL7に準拠している。それは依頼者（オーダーアプリケーション）によって割り当てられる。それは、特定のオーダーリングアプリケーションからのすべてのオーダーの中で、1つのオーダーを一意に識別する。第2から第4までの成分は、HDデータ型と同じ形式で依頼者アプリケーションのアプリケーションIDを含んでいる。第2成分、ネームスペースIDは、アプリケーションに一意に関連している使用者定義のコード化された値である。6文字の上限が推奨されるが、必須ではない。1つの施設または相互に通信する施設のグループは、依頼者や実施者になる可能性のあるアプリケーションの一意的なリストを構築し、一意なアプリケーションIDを割り当てるべきである。各成分は、成分デリミタによって分離される。

真の依頼者がややあいまいな（それゆえ一意でない）状況が3つある。

- RU置換に続くROの「ORC-1 オーダー制御値」の場合
- CH（子オーダー）の「ORC-1 オーダー制御値」の場合
- SN（番号送信）の「ORC-1 オーダー制御値」の場合

アプリケーションIDリストは、HL7 V2.5 第8章で文書化されている施設のマスタ辞書の1つになる。第三者アプリケーション（オーダーの依頼者および実施者以外）がORMとORRのメッセージの送受信ができるので、このフィールドの依頼者アプリケーションIDは、(MSHセグメントで識別される) ネットワーク上の送信および受信アプリケーションと同じでなくともよい。

「ORC-2 依頼者オーダー番号」は、「OBR-2 依頼者オーダー番号」と同じである。依頼者オーダー番号がORCの中に存在していないならば、それは関連したOBR内に存在しなければならない。逆も同様

である。もし両方のフィールド、すなわち「ORC-2 依頼者オーダ番号」および「OBR-2 依頼者オーダ番号」が設定されるならば、それらは同じ値でなければならない。結果が ORU メッセージで送られる場合、ORC は必須ではないが、依頼者オーダ番号が OBR セグメント内に存在せねばならない。

これらの規則は、上位互換性のため ORC と OBR の両方の中に存在している他のフィールドにも適用される。(例えば、数量/タイミング、親番号、オーダ依頼者、および依頼コールバック用電話番号)。

ORC-3 Filler Order Number 実施者オーダ番号 (EI) 00217

定義：このフィールドは実施者アプリケーションに関連したオーダ番号である。それは実体識別子データ型 (HL7 V2.5 第 2.A.28 節) の実例である。その第 1 成分は、オーダ詳細セグメント (例えば OBR) を識別する文字列である。15 文字の上限が推奨されるが、必須ではない。実施者オーダ番号に対してより多くの文字数を要求するアプリケーションに適用するためにこのフィールドの文字数が増える場合、その実装は HL7 に準拠している。それはオーダ実施者 (受信) アプリケーションによって割り当てられる。この文字列は、オーダ (オーダ詳細セグメントで指定された) を、特定の実施者アプリケーション (例えば臨床検査室) における他のオーダから一意的に識別しなければならない。この一意性は時間が経過しても維持されなければならない。

第 2 から第 4 までの成分は実施者アプリケーション ID を含んでいるが、その形は HD データ型である (HL7 V2.5 2.A.36 節「HD 階層的指定子」を参照のこと)。第 2 成分は使用者定義のコード化された値であって、そのアプリケーションをネットワーク上の他のアプリケーションから一意的に定義する。6 文字の上限が推奨されるが、必須ではない。実施者オーダ番号の第 2 成分は、オーダの実際の実施者を常に識別する。

施設または相互通信する施設のグループは、オーダの依頼者や実施者となりうるアプリケーションのリストを作成し、一意のアプリケーション ID を割り当てるべきである。アプリケーション ID リストは、HL7 V2.5 第 8 章で文書化される施設のマスタ辞書リストのうちの 1 つになる。第三者アプリケーション (オーダの依頼者および実施者以外のもの) は、ORM および ORR メッセージを送信し受信することができるため、このフィールドの実施者アプリケーション ID は (MSH セグメントで定義される) ネットワーク上の任意の送信および受信アプリケーションと同じでなくともよい。

「ORC-3 実施者オーダ番号」は「OBR-3 実施者オーダ番号」と同じである。実施者オーダ番号が ORC の中にない場合、それは関連する OBR の中になければならない。(この規則は、ORC および OBR の他の同一のフィールドに対して同じであり、上位および ASTM 互換性を促進する。) 結果が ORU メッセージ中で送信される場合、これは特に重要である。この場合、ORC は必須ではないため、識別する実施者オーダ番号は OBR セグメントの中になければならない。

実施者オーダ番号 (OBR-3 または ORC-3) は、さらにオーダおよびその関連する観察を一意に識別する。例えば、施設がいくつかの付随的なアプリケーションからの検査 (広義) を共通のデータベースへ集め、この共通のデータベースが検査 (広義) のための別のアプリケーションから照会を受ける場合を想定する。この場合、共通のデータベース・アプリケーションによって送信された実施者オーダ番号および依頼者オーダ番号は、それぞれ元の実施者および依頼者の番号になり、共通のデータベース・アプリケーションによって割り当てられた新しい番号ではない。

同様に、オーダの第三者アプリケーション (実施者または依頼者ではない) がオーダ状態を修正する (例えばそれを取り消す) 権限を持つならば、第三者アプリケーションは実施者に次のような ORM メッセージを送るであろう、すなわち、「ORC-1 オーダ制御」の値が「CA」に等しく、それ自体割り当ててのではなく元の依頼者オーダ番号および実施者オーダ番号を含む ORC セグメントを含んでいる。

ORC-4 Placer Group Number 依頼者グループ番号 (EI) 00218

成分： <Entity Identifier (ST)> ^ <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義：このフィールドによって、オーダ依頼者アプリケーションは何組かのオーダをグループ化した後にそれらを識別できる。それは実体識別子データ型 (HL7 V2.5 2.A.28 節) の実例である。

第 1 成分は、与えられた依頼者アプリケーションからのオーダグループをすべて一意に識別する文字列である。15 文字の上限が推奨されるが、必須ではない。それは依頼者アプリケーションによって割り当てられ、ORC の依頼者オーダ番号と同じシリーズからくるかもしれないが、そうである必要はない。

第2から第4までの成分は、依頼者アプリケーションIDを構成するが、これは「ORC-2 依頼者オーダー番号」の同様の成分と同一である。

ORC-5 Order Status オーダ状態 (ID) 00219

定義：このフィールドはオーダの状態を定義する。とりうる値については「HL7表 0038-オーダ状態」を参照すること。このフィールドの目的は、要求された場合または状態が変更になった場合にオーダの状態を報告することであり、行為を開始することではない。オーダ状態は、メッセージが送られる時点で送信アプリケーションに知られていた状態を反映させることを想定している。実施者だけがこのフィールドに値を付けることができる。

「HL7表 0038-オーダ状態」は「HL7表 0119-オーダ制御コードとその意味」と同じ値の多くを含んでいるが、目的は異なる。オーダ状態は、「ORC-1 オーダ制御値」がSRまたはSCのメッセージにおいて典型的に使用される。これは、要求により、あるいは任意の時点で任意の当事者にオーダの状態を報告するためである。

【生理】ORUメッセージの検査ステータス通知で使用する値については、OBR-25項の「表7.7-1 OBR-25とORC-5の組合せによる検査ステータス」を参照のこと。

HL7表 0038 - Order status オーダ状態

Value	Description
A	Some, but not all, results available 一部（全部ではない）の結果が利用できる。
CA	Order was canceled オーダが取り消された
CM	Order is completed オーダが完了した
DC	Order was discontinued オーダが中断した
ER	Error, order not found エラー、オーダが見つからない
HD	Order is on hold オーダが保留
IP	In process, unspecified 進行中、不定
RP	Order has been replaced オーダ変更された
SC	In process, scheduled 進行中、予定された

ORC-6 Response Flag 応答フラグ (ID) 00220

定義：このフィールドによって依頼者（送信）アプリケーションは、実施者から返されるべき情報の量を決定できる。要求されたレベルの応答は、即時には可能ではないかもしれない。しかし、それが可能なとき、実施者（受信）アプリケーションは、その情報を送らなければならない。フィールドがnullであるとき、フィールドのデフォルト値はDである。とりうる値については「HL7表 0121-応答フラグ」を参照のこと。

HL7表 0121 - Response flag 応答フラグ

Value	Description
E	Report exceptions only 例外のみを報告
R	Same as E, also Replacement and Parent-Child Eと同じ、および変更と親子
D	Same as R, also other associated segments Rと同じ、および他の関連セグメント
F	Same as D, plus confirmations explicitly Dと同じ、プラス明確な確認
N	Only the MSA segment is returned MSAセグメントのみが返却される

ORC-7 Quantity/Timing 数量/タイミング (TQ) 00221

定義：（このフィールドは下位互換を保つ目的のためだけに残されている）

ORC-8 Parent 親 (EIP) 00222

成分：<Placer Assigned Identifier (EI)> ^ <Filler Assigned Identifier (EI)>

副成分 for Placer Assigned Identifier (EI): <Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Filler Assigned Identifier (EI): <Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義：このフィールドは、親子の関係が存在するときに、子をその親に関係付ける。親子のメカニズムは、「ORC-1 オーダ制御」の注記のところで述べられる。

第1成分は、「ORC-2 依頼者オーダ番号」と同じフォーマットである。第2成分は、「ORC-3 実施者オーダ番号」と同じフォーマットである。依頼者オーダ番号と実施者オーダ番号の成分は、このフィールドの2つの成分の副成分として送られる。

「ORC-8 親」は、「OBR-29 親」と同じである。ORCに親が記載されていない場合、関連づけられたOBRに記述されるべきである。(この規定は、ORCとOBRの他の同一フィールドと同じであり、上位互換とASTM互換を促進する。)これは、結果がORUメッセージにおくられた場合に特に重要である。この場合、そのORCは要求されず、識別する実施者オーダ番号がOBRセグメントの中に記述されなければならない。

ORC-9 Date/Time Of Transaction トランザクション日時 (TS) 00223

成分: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義: このフィールドは、「ORC-1 オーダ制御コード」に反映される現在のトランザクションを開始したイベントの日時を含む。このフィールドは、「MSH-7 メッセージ日時 (物理的なメッセージの日時を反映する)」と等価ではない。

ORC-10 Entered By 入力者 (XCN) 00224

成分: <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Name Context (CE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

副成分 for DEPRECATED-Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義: このフィールドは要求をアプリケーションに実際に入力した人の識別情報を含む。これは、現在のトランザクションの「ORC-1 オーダ制御コード」に反映されることに注意する。それは、要求が不正確に入力され、関連部門が要求を明らかにする必要がある場合、監査証跡となる。現場の取り決めによって、ID 番号または名前成分は省略してもよい。

ORC-11 Verified By 検証者 (XCN) 00225

成分: <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name

Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Name Context (CE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

副成分 for DEPRECATED-Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義: このフィールドは入力された要求の正確さを検証した人の識別情報を含む。これは、「ORC-1 オーダ制御コード」に反映されるものとして、現在のトランザクションを参照することに注意する。それが使用されるのは、要求が技師によって入力され、(看護師など) より高い権限者によって検証される必要がある場合である。現場の取り決めによって、ID 番号や名前成分は省略してもよい。

ORC-12 Ordering Provider オーダ発行者 (XCN) 00226

成分: <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Name Context (CE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

副成分 for DEPRECATED-Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義: このフィールドは、(例えば、依頼している医師など) 要求を作成することに責任がある人の識別情報を含む。

「ORC-12 オーダ依頼者」は、「OBR-16 オーダ依頼者」と同じである。オーダ依頼者が ORC に記述されない場合、関連づけられた OBR に記述されるべきである。(この規定は、ORC や OBR の他の同一フィールドと同様であり、上方互換と ASTM 互換を促進する。) これは特に、結果が ORU メッセージに転送された場合に重要である。この場合、ORC が要求されず、識別する実施者オーダ番号が OBR セグメントに記述されるべきである。

【生理】本フィールドは必須とする。

ORC-13 Enterer's Location 入力場所 (PL) 00227

成分: <Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Person Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)> ^ <Location Description (ST)> ^ <Comprehensive Location Identifier (EI)> ^ <Assigning Authority for Location (HD)>

副成分 for Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Comprehensive Location Identifier (EI): <Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Authority for Location (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義: このフィールドは要求を入力した人がオーダを入力した時にいた物理的な場所を指定する(例えばナースステーション、関連サービス部、クリニック、フロア)。これは「ORC-1 オーダ制御コード」に反映されるものとして、現在のトランザクションを参照することに注意する。入力した人の場所に関係のある副成分だけが値を与えられるべきである(通常は看護ユニット、施設、建物、フロア)。要求を入力した人は「ORC-10 入力者」によって定義される。

【生理】たとえば、ICU4 は、4 階の ICU の場所の呼称とするなど。

入力者の場所のデータ型は PL 型なので、入院の場合、

<病棟コード>^<病室コード>^<ベッド番号>^^N

外来の場合

<科コード>^^^C

と設定することにし、person location type の指定を必須とした。

person location type には、C : 診療科、D : 部門、N : 病棟を設定する。

ORC-14 Call Back Phone Number コールバック用電話番号 (XTN) 00228

成分: <DEPRECATED-Telephone Number (ST)> ^ <Telecommunication Use Code (ID)> ^ <Telecommunication Equipment Type (ID)> ^ <Email Address (ST)> ^ <Country Code (NM)> ^ <Area/City Code (NM)> ^ <Local Number (NM)> ^ <Extension (NM)> ^ <Any Text (ST)> ^ <Extension Prefix (ST)> ^ <Speed Dial Code (ST)> ^ <Unformatted Telephone number (ST)>

定義: このフィールドは、要求やそのオーダに関する他の情報を確認するための電話番号を含む。

「ORC-14 コールバック用電話番号」は、「OBR-17 オーダコールバック用電話番号」と同じである。

ORC-15 Order Effective Date/Time オーダ有効日時 (TS) 00229

成分: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義: このフィールドは、要求への変更が有効になった、あるいは有効になる予定の日時を含む。

「ORC-9 トランザクション日時」が、「ORC-15 オーダ有効日時」以降であれば、ORC およびその下位のセグメントのデータ値はオーダ有効日時に有効になった。

「ORC-9 トランザクション日時」が、「ORC-15 オーダ有効日時」より前ならば、ORC およびその下位セグメントのデータ値はオーダ有効日時に有効になるよう計画される。

「ORC-15 オーダ有効日時」がブランクであれば、その値は、「ORC-9 トランザクション日時」と、トランザクション日時がブランクであれば「MSH-7 メッセージ日時」と等しいと仮定される。

「ORC-15 オーダ有効日時 (同じ ORC セグメントのオーダ制御コードイベントのための)」が、ORC-7-数量/タイミングの対応する日時と異なる場合は、「ORC-15 オーダ有効日時」が優先する。1 例として ORC イベントが実施者への継続しているオーダに対する中断要求であり、かつオーダ有効

日時が「ORC-7 数量／タイミング」の終了日時の前であれば、オーダ有効日時が優先する。ORC の中で識別されたオーダが子を持っているならば、開始しなかった子を取り消される必要がある。進行中の子がいるならば、それは中断される必要がある;子が中断できる点を超えて進行しているならば、その状態は影響されない。

ORC-16 Order Control Code Reason オーダ制御コード理由 (CE) 00230

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義: このフィールドは、オーダ制御コード(HL7 表 0119) によって記述されたオーダイメントに対する理由の説明を含んでいる。コード化したあるいはテキスト形式のどちらでもよい。オーダ特有のセグメント (例えば、RXO、ORO、OBR) の後の NTE は、その特有のセグメントのためのコメントとなる一方、オーダ制御コード理由の目的は、そのオーダイメントの理由のみを拡張することである。

「ORC-1 オーダ制御」が NW であるときは、「ORC-16 オーダ制御コード理由」には普通は値を設定しない。ただし、設定できないわけではない。取り消されたオーダのときには、例えば、このフィールドは、取消の理由を説明するためによく使用される。よく知られているアレルギーのために医師からの処方オーダが取消されたならば、調剤システムからこのフィールドによってアレルギーの事実が報告される。それが薬理相互作用のためにこのオーダを取消したならば、このフィールドは、相互作用物質の少なくとも名称 (および必要ならコードも)、相互作用を記述する文章、および相互作用の深刻度を含む。

ORC-17 Entering Organization 入力組織 (CE) 00231

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義: このフィールドは、入力した人が、オーダを入力／維持したときに属している組織、例えば医療グループまたは診療科を識別する。要求を入力した人は「ORC-10 入力者」によって定義される。

ORC-18 Entering Device 入力装置 (CE) 00232

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義: このフィールドは、オーダを入力するのに使用された物理的装置 (端末や PC) を識別する。

ORC-19 Action By 発動者 (XCN) 00233

成分: <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g. JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g. DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g. MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Name Context (CE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

副成分 for DEPRECATED-Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate

Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義: このフィールドは、対応するオーダ制御コードによって表されるイベントを発動した人の識別情報を含む。例えば、オーダ制御コードが CA (オーダ取消要求) であるならば、このフィールドは、オーダ取消を要求した人を表す。この人は典型的には医療提供者であるが、必ずしも「ORC-12 オーダ発行者」と同じとはかぎらない。

ORC-20 Advanced beneficiary notice code 予告受益者通知コード (CE) 01310

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義: このフィールドは保険未加入の可能性のあるサービスの支払責任に対する患者または患者の代理人の承諾状態を示す。この要素は、外来患者に対する CMS 医療要求を満たすことを促す。この要素は、(a) サービスに関連づけられた診断コードが医療上必要な治療の対象かどうか、(b) この種のサービスに対して、そのサービスに対する支払責任があるかもしれないことを患者に通知されているか、(c) そして、患者がサービスに対する請求に同意しているか、を示している。そのフィールドの値は、「使用者定義表 0339- 予告受益者通知コード」から引用される。

使用者定義表 0339 – Advanced beneficiary notice code 予告受益者通知コード

Value	Description
1	Service is subject to medical necessity procedures サービスは、医療上必要な治療の対象である
2	Patient has been informed of responsibility, and agrees to pay for service 患者に支払責任のあることが通知されており、サービスの支払の同意がある
3	Patient has been informed of responsibility, and asks that the payer be billed 患者に支払責任のあることが通知されており、支払人が請求されるよう依頼する
4	Advanced Beneficiary Notice has not been signed 予告受益者通知がサインされていない

ORC-21 Ordering facility name オーダ施設名 (XON) 01311

成分: <Organization Name (ST)> ^ <Organization Name Type Code (IS)> ^ <DEPRECATED-ID Number (NM)> ^ <Check Digit (NM)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Organization Identifier (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義: このフィールドはオーダ依頼している施設名を含む。

ORC-22 Ordering facility address オーダ施設住所 (XAD) 01312

成分: <Street Address (SAD)> ^ <Other Designation (ST)> ^ <City (ST)> ^ <State or Province (ST)> ^ <Zip or Postal Code (ST)> ^ <Country (ID)> ^ <Address Type (ID)> ^ <Other Geographic Designation (ST)> ^ <County/Parish Code (IS)> ^ <Census Tract (IS)> ^ <Address Representation Code (ID)> ^ <DEPRECATED-Address Validity Range (DR)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)>

副成分 for Street Address (SAD): <Street or Mailing Address (ST)> & <Street Name (ST)> & <Dwelling Number (ST)>

副成分 for DEPRECATED-Address Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義: このフィールドはオーダ依頼している施設の住所を含む。

ORC-23 Ordering facility phone number オーダ施設電話番号 (XTN) 01313

成分: <DEPRECATED-Telephone Number (ST)> ^ <Telecommunication Use Code (ID)> ^
<Telecommunication Equipment Type (ID)> ^ <Email Address (ST)> ^ <Country Code (NM)>
^ <Area/City Code (NM)> ^ <Local Number (NM)> ^ <Extension (NM)> ^ <Any Text (ST)> ^
<Extension Prefix (ST)> ^ <Speed Dial Code (ST)> ^ <Unformatted Telephone number (ST)>
定義: このフィールドはオーダ依頼している施設の電話番号を含む。

ORC-24 Ordering provider address オーダ依頼者住所 (XAD) 01314

要素: <Street Address (SAD)> ^ <Other Designation (ST)> ^ <City (ST)> ^ <State or Province
(ST)> ^ <Zip or Postal Code (ST)> ^ <Country (ID)> ^ <Address Type (ID)> ^ <Other
Geographic Designation (ST)> ^ <County/Parish Code (IS)> ^ <Census Tract (IS)> ^ <Address
Representation Code (ID)> ^ <DEPRECATED-Address Validity Range (DR)> ^ <Effective
Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)>
副成分 for Street Address (SAD): <Street or Mailing Address (ST)> & <Street Name (ST)> &
<Dwelling Number (ST)>
副成分 for DEPRECATED-Address Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range
End Date/Time (TS)>
Note subcomponent contains sub-subcomponents
副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>
副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>
定義: このフィールドはオーダを要求した医療提供者の住所を含む。

ORC-25 Order status modifier オーダ状態修飾子 (CWE) 01473

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier
(ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System
Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>
定義: このフィールドは「ORC-5 オーダ状態」フィールドの修飾または絞り込みのためにある。こ
のフィールドは定義されたオーダ状態コードへの付加的な特定レベルまたは付加的な情報を提供す
るのに利用される。HL7 定義表により制御されるオーダ状態フィールドとは異なり、このフィールド
はCWE データ型であり、アプリケーションはオーダ状態修飾子コードの制限のないライブラリをサ
ポートすることが許される。
使用規則: このフィールドは「ORC-5 オーダ状態」フィールドに値がある場合のみ値を持ってよ
い。

例: オーダ状態がIPのオーダを処理しているLISが、検査室内でのオーダ進捗状況や、そのオー
ダが外部検査機関に送られたことを示すのに、オーダ状態修飾子を用いて最新情報を送るかもしれな
い。医療関連でないオーダを利用する別の例では、電話を患者の病室に転送するよう依頼されたが、
一時的に切れてしまったような場合である。「ORC-5 オーダ状態」はIPを示し、「ORC-25 オーダ状
態修飾子」は切れた状態を示す。第3の例は、薬剤部での調剤に関するものである。処方箋が調剤さ
れているかどうかを知るだけでは不十分な場合がある。「ORC-25 オーダ状態修飾子」はラベルが印
刷されたかどうか、処方箋が記載されたかどうか、処方箋が発行されたかどうか、などを示す。

ORC-26 Advanced Beneficiary Notice Override Reason 予告受益者通知上書き理由 (CWE) 01641

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier
(ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System
Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>
定義: このフィールドは、患者が予告受益者通知にサインしない理由を含む。理由はコード化しても
よいしフリーテキストで入力してもよい。「HL7 表 0552-予告受益者通知上書き理由」を参照のこと。
条件: このフィールドは「ORC-20 予告受益者通知コード」の値が、通知にサインされていない場合
に要求される。例えば、ORC-20 が「使用者定義表 0339-予告受益者通知コード」の3 或いは4 の値を
持つ場合、または、関連する外部コード表で同様の値が入力されている場合、追加の修飾または説明
のための情報が正当なものとして認められる。

HL7表 0552 - Advanced beneficiary notice override reason 予告受益通知上書き理由

Value	Description	Comments

ORC-27 Filler's Expected Availability Date/Time 実施者サービス可能日時 (TS) 01642

成分: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義: このフィールドは、実施者がサービス可能な日時を指定する。例えば、処方箋が受け取り可能な時、補充品が送付ないし受け取られる時、または検体検査結果が利用可能となる時。

ORC-28 Confidentiality Code 守秘コード (CWE) 00615

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このフィールドは、オーダを取り巻くセキュリティおよび/あるいはセンシティブティのレベルに関する情報を含む。(例えば非常に機微、機微ではない、機微など)。可能な値に関しては、「HL7 表 0177-守秘コード」を参照のこと。特定の守秘レベルでのデータの具体的な処理に関しては、施設固有の取り決めに委ねる。

HL7表 0177 - Confidentiality Code 守秘コード

Value	Description	Comments
AID	AIDS patient 患者	
EMP	Employee 従業員	
ETH	Alcohol/drug treatment patient アルコール/薬物中毒 治療患者	
HIV	HIV(+) patient HIV(+)患者	
PSY	Psychiatric patient 精神医学患者	
R	Restricted 限定	
U	Usual control 通常管理	
UWM	Unwed mother 未婚の母	
V	Very restricted 非常に限定	
VIP	Very important person or celebrity 重要人物や名士	

ORC-29 Order Type オーダタイプ (CWE) 01643

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このフィールドは、オーダが入院患者の設定ないし外来患者の設定で実行されるかどうかを示している。もし、このフィールドが値を持っていないければ、システムのデフォルト値がとられる。推奨値に関しては、「HL7 表 0482-オーダタイプ」を参照のこと。

例: 退院前にフォローアップの理学療法ないし地域薬局で処方箋を受け取るオーダが出される。その患者は、PV1 によると入院患者だが、そのオーダは外来患者オーダである。

HL7表 0482 - Order Type オーダタイプ

Value	Description	Comments
I	Inpatient Order 入院患者オーダ	
O	Outpatient Order 外来患者オーダ	

ORC-30 Enterer Authorization Mode 入力者承認モード (CNE) 01644

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このフィールドは、オーダを作成或いは変更する責任を持つ医師から記録者が得た承認の形態を示している。推奨値に関しては、「HL7 表 0483-承認モード」を参照のこと。

HL7表 0483 - Authorization Mode 承認モード

Value	Description	Comments
EL	Electronic 電子的	
EM	E-mail	
FX	Fax	
IP	In Person 本人自ら	
MA	Mail	
PA	Paper 紙	
PH	Phone 電話	
RE	Reflexive (Automated system) 条件に基づく (自動化システム)	
VC	Video-conference TV 会議	
VO	Voice 口頭	

7.10. PID - Patient Identification Segment 患者識別セグメント

PID セグメントはすべてのアプリケーションで、患者（含む動物）の識別情報を交換することを主要目的としている。このセグメントは恒久的な患者識別を、そして患者基本情報を扱うが、多くの情報はそれほど頻回には変化しない。

HL7 V2.4 以降は動物の患者基本情報も PID セグメント (PID-35 から PID-38 を参照) で送れることになったことを注記しておく。

患者 ID の 4 番目の成分である発行機関のデータ型は HD 型であり、大元の発行機関により一意に関連づけられた固有の番号である。発行機関の ID を与えた機関、相互連絡機関は患者識別情報（そして他の重要な識別情報）を付与する可能性のある発行機関のリストを作成しなければならない。そのリストはその発行機関の最も重要なマスターリストのひとつとなる。（患者 ID を付与した機関とは別の）第三者機関は、患者識別情報を含む HL7 メッセージを送信あるいは受信するかもしれないので、患者 ID に含まれる発行機関は MSH で示される送信システムや受信システムと同じであってはならない。発行機関は、その地域では唯一である必要がある。このフィールドは HL7 の導入に際して、複数の患者管理アプリケーションにおいてこのような番号を割り当てる必要がある。発行機関と識別区分コードはすべて CX 型とすることを強く推奨する。

HL7 V2.3 から、患者 ID の 4 番目の成分の名称が「発行機関 ID (assigning facility ID)」から、「発行機関(assigning authority)」に変更になった。識別情報（例えば、XYZZ 病院の A 部門で割り当てられた医療記録）は、それを発行した医療機関では一意的でありえるが、識別情報はシステムレベル（例えば企業の個人インデックスや、複数企業にまたがるエンタープライズ番号）、または政府による実体（例えば国により与えられた一意的個人識別子）も割り当てられる。施設は大抵発行機関になるのに、すべての発行機関は施設ではない。しかしながら、4 番目の成分は発行機関として参照される。しかし、下位互換性のため HD 型の構成を使っている。（2 章を参照のこと）。さらに、CX 型は発行機関 (HD) を 6 番目の成分として扱うこともできる。

HL7属性表－PID－Patient Identification - 患者識別

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME
1	4	SI	O	O			Set ID - PID セットID-PID
2	20	CX	B	B			Patient ID 患者ID
3	250	CX	R	R	Y		Patient Identifier List 患者IDリスト
4	20	CX	B	B	Y		Alternate Patient ID - PID 代替患者ID
5	250	XPN	R	RE*	Y		Patient Name 患者氏名
6	250	XPN	O	O	Y		Mother's Maiden Name 母親の旧姓
7	26	TS	O	RE			Date/Time of Birth 生年月日
8	1	IS	O	RE		0001	Administrative Sex 性別
9	250	XPN	B	B	Y		Patient Alias 患者別名
10	250	CE	O	O	Y	0005	Race 人種
11	250	XAD	O	O	Y		Patient Address 患者住所
12	4	IS	B	B		0289	County Code 郡コード
13	250	XTN	O	O	Y		Phone Number - Home 電話番号－自宅
14	250	XTN	O	O	Y		Phone Number - Business 電話番号－勤務先
15	250	CE	O	O		0296	Primary Language 使用
16	250	CE	O	O		0002	Marital Status 結婚状態
17	250	CE	O	O		0006	Religion 宗教
18	250	CX	O	O			Patient Account Number 患者会計口座番号
19	16	ST	B	B			SSN Number - Patient 社会保障番号
20	25	DLN	B	B			Driver's License Number - Patient 運転免許証番号
21	250	CX	O	O	Y		Mother's Identifier 母親の識別情報
22	250	CE	O	O	Y	0189	Ethnic Group 民族
23	250	ST	O	O			Birth Place 出生地
24	1	ID	O	O		0136	Multiple Birth Indicator 多胎児識別情報
25	2	NM	O	O			Birth Order 誕生順序
26	250	CE	O	O	Y	0171	Citizenship 市民権情報
27	250	CE	O	O		0172	Veterans Military Status 退役軍人情報
28	250	CE	B	B		0212	Nationality 国籍
29	26	TS	O	O			Patient Death Date and Time 患者死亡日時

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME
30	1	ID	O	O		0136	Patient Death Indicator 患者死亡識別情報
31	1	ID	O	O		0136	Identity Unknown Indicator 識別情報の有無
32	20	IS	O	O	Y	0445	Identity Reliability Code 識別情報の信頼性
33	26	TS	O	O			Last Update Date/Time 最終更新日時
34	241	HD	O	O			Last Update Facility 最終更新施設
35	250	CE	C	C		0446	Species Code 種コード
36	250	CE	C	C		0447	Breed Code 品種コード
37	80	ST	O	O			Strain 血統情報
38	250	CE	O	O	2	0429	Production Class Code 製品分類コード
39	250	CWE	O	O	Y	0171	Tribal Citizenship 所属種族

PID フィールド定義

PID-1 Set ID - PID セット ID-PID (SI) 00104

定義：このフィールドはこのトランザクションにおける番号を示す。そのセグメントが最初に現れた時はこのシーケンス番号は1でなければならない。2回目の時は2,といった具合である。

PID-2 Patient ID 患者 ID (CX) 00105

定義：このフィールドは下位互換性のためにのみ残されている。

PID-3 Patient Identifier List 患者 ID リスト (CX) 00106

成分:<ID Number (ST)> ^ <Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Effective Date (DT)> ^ <Expiration Date (DT)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Assigning Authority (HD):<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD):<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは医療機関で患者を特定（例：医療記録番号、会計口座番号、誕生記録、国民識別番号）するための（ひとつ、またはそれ以上の）識別情報を示す。カナダでは、Canadian Provincial Healthcare Number をこのフィールドで送らなければならない。

独断的であった用語「内部 ID」はこのフィールドの名前から取り除かれた。

【共通編】本規約では「<患者 ID>^^^PI」の形式で利用する。

例：|0012345678^^^^PI|

PID-4 Alternate Patient ID - PID 代替患者 ID (CX) 00107

定義：このフィールドは下位互換のためにのみ残されている。

PID-5 Patient Name 患者氏名 (XPN) 00108

成分:<Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)>

副成分 for Family Name (FN):<Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Name Context (CE):<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

副成分 for Name Validity Range (DR):<Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

副成分 for Range Start Date/Time (TS):<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Range End Date/Time (TS):<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Effective Date (TS):<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS):<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは最初に報告された患者の主な、あるいは法律上の氏名を示している。このフィールドにおける氏名種別コードは「L-法律上」を含む必要がある。推奨値は、「HL7 表 0200 - 名前種別」、「HL7 表 0465 - 名前／アドレス表記」を参照のこと。このフィールドは同じ名前について違う文字セットでの反復が許されている。HL7 の旧バージョンにおける「own family name prefix」は「last name prefix」と同義である。同様に「second and further given names or initials thereof」は「middle initial or name」と同義である。名前やイニシャルを複数持つ場合はスペースで区切る。

【共通編】患者氏名を MSH-18 文字セットで指定した文字コードで使用する。

例えば MSH-18 に ASCII~ISO IR87 をセットした場合、

PID-5 は Yamada^Tarou^~~~~L^A~山田^太郎^~~~~L^I~ヤマダ^タロウ^~~~~L^P となる。

反復の順序には意味を持たない。姓と名の区別が困難な場合、姓のフィールドを代用するものとする。半角カタカナは全てのフィールドで使用しないようにすること。

【生理】患者連携機能を持たないモダリティや、患者氏名を使用せずに検査を実施する場合は、本フィールドを使用しなくても良い。

HL7表 0200 - Name Type 名前種別

Value	Description	Comments
A	Alias Name 別名	HL7 V2.4 で廃止された
B	Name at Birth 誕生時の名前	
C	Adopted Name 養子縁組み後の名前	
D	Display Name 表示名	
I	Licensing Name 許可を得た名前	
L	Legal Name 法律上の名前	
M	Maiden Name 旧姓 (婚姻前の名前)	
N	Nickname / "Call me" Name/Street Name あだ名／よび名／道路名	
P	Name of Partner/Spouse – obsolete 配偶者の名前—廃止	
R	Registered Name (animals only) 登録名 (動物のみ)	
S	Coded Pseudo-Name to ensure anonymity 匿名のためのコード化された偽名	
T	Indigenous/Tribal/Community Name 種族／部族／共同社会名	
U	Unspecified 未定義	

動物においては、名前種別が「R」が使われていた場合は、「Name Context」はこの動物の名前が登録されている機関を識別するために用いられる。

HL7表 0465 – Name/address representation 名前／アドレス表記

Value	Description	Comments
I	Ideographic 表意文字(例、漢字)	
A	Alphabetic アルファベット (例、デフォルトおよびシングルバイト文字)	
P	Phonetic 表音文字(例、ASCII、カタカナ、ひらがな、など)	

PID-6 Mother's Maiden Name 母親の旧姓 (XPN) 00109

成分:<Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)>

副成分 for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix from Partner/Spouse (ST)> & <Surname from Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Name Context (CE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

副成分 for Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

副成分 for Range Start Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Range End Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドはその母親が生まれた時の名前（例：結婚前）を示す。これは患者の名前が同じ場合に区別するために使われる。

【共通編】本フィールドに出現する名前種別コードは「M」である。

PID-7 Date/Time of Birth 生年月日 (TS) 00110

成分:<Time (DTM)> ^ <Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは患者の誕生日を示す。

PID-8 Administrative Sex 性別 (IS) 00111

定義：このフィールドは患者の性別を示す。推奨値については「使用者定義表 0001－性別」を参照のこと。

使用者定義表 0001 - Administrative Sex 性別

Value	Description	Comments
F	Female 女性	
M	Male 男性	
O	Other その他	
U	Unknown 未知	
A	Ambiguous 両性具有	
N	Not applicable 適応外	

PID-9 Patient Alias 患者別名 (XPN) 00112

定義：このフィールドは HL7 V2.4 から下位互換のためにのみ残されている。

PID-10 Race 人種 (CE) 00113

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドは患者の人種を示す。推奨値は「使用者定義表 0005 - 人種」を参照のこと。人種データの 2/3 (alternate identifier, alternate text, and name of alternate coding system) は政府により割り当てられるコードである。

PID-11 Patient Address 患者住所 (XAD) 00114

成分:<Street Address (SAD)> ^ <Other Designation (ST)> ^ <City (ST)> ^ <State or Province (ST)> ^ <Zip or Postal Code (ST)> ^ <Country (ID)> ^ <Address Type (ID)> ^ <Other Geographic Designation (ST)> ^ <County/Parish Code (IS)> ^ <Census Tract (IS)> ^ <Address Representation Code (ID)> ^ <Address Validity Range (DR)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)>

副成分 for Street Address (SAD):<Street or Mailing Address (ST)> & <Street Name (ST)> & <Dwelling Number (ST)>

副成分 for Address Validity Range (DR):<Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

副成分 for Range Start Date/Time (TS):<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Range End Date/Time (TS):<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Effective Date (TS):<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS):<Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは患者の郵送用の住所を示している。アドレス種別コードは「HL7 表 0190 - 住所タイプ」で定義している。同じ個人に対して複数の住所を次の順序で送ることができる：主たる郵送用住所は必ず最初になければならない（下位互換性のため）；もし、郵送用アドレスを送らない場合は、必ず最初に反復デリミタを送る必要がある。

【共通編】最初のエレメントは、

<Street Address (SAD)>

であり、これはさらに

<Street or Mailing Address (ST)> & <Street Name (ST)> & <Dwelling Number (NT)>

に分解されるので、日本の場合は、

新橋 7 - 5 - 5 ^^港区^東京都^105-0004^^H

のように記述する。ただし、住所を(都道府県や市町村などに)分離して管理していない場合は、第8成分だけを用いて、

^^^105-0001^H^東京都港区新橋7-5-5

のように記述する。また、第7成分を「B」(=会社/事業所)とすることで、患者の勤務先の郵便番号、住所を表現することもできる。

^^^105-0001^B^東京都千代田区霞が関4-2-2

HL7表 0190 - Address type 住所タイプ

Value	Description	Comments
BA	Bad address 誤った住所	
N	Birth (nee) (birth address, not otherwise specified) 出生(生まれ) (他に指定がなければ、出生の住所)	
BDL	Birth delivery location (address where birth occurred) 出生地 (誕生が行われた住所)	
F	Country of Origin 出身国	
C	Current or Temporary 現住所または一時的な住所	
B	Firm/Business 会社/事業所	
H	Home 自宅	
L	Legal Address 法律上の住所	
M	Mailing 郵送先	
O	Office 事務所	
P	Permanent 永久的な住所	
RH	Registry home. Refers to the information system, typically managed by a public health agency, that stores patient information such as immunization histories or cancer data, regardless of where the patient obtains services. 戸籍上の自宅。予防接種歴や癌登録のような患者情報を扱う公共医療機関の情報システムに関係する事が多い。患者が治療を受ける場所には無関係である。	
BR	Residence at birth (home address at time of birth) 出生時の居住地 (出生の際の自宅住所)	

PID-12 County Code 郡コード (IS) 00115

定義：このフィールドはHL7 V2.3 から下位互換性のためにのみ残されている。

PID-13 Phone Number - Home 電話番号—自宅 (XTN) 00116

成分:<Telephone Number (ST)> ^ <Telecommunication Use Code (ID)> ^ <Telecommunication Equipment Type (ID)> ^ <Email Address (ST)> ^ <Country Code (NM)> ^ <Area/City Code (NM)> ^ <Local Number (NM)> ^ <Extension (NM)> ^ <Any Text (ST)> ^ <Extension Prefix (ST)> ^ <Speed Dial Code (ST)> ^ <Unformatted Telephone number (ST)>

定義：このフィールドでは患者の個人的な電話番号を示す。すべての患者の個人電話番号は次の順序で送られる。最初は主として使われる電話番号(下位互換性のため)である。もし、主として使われる電話番号がない場合は、必ず最初に反復デリミタを送る必要がある。推奨値については「HL7 表 0201—遠距離通信用途コード」と、「HL7 表 0202—遠距離通信機器タイプ」を参照のこと。

HL7表 0201—Telecommunication Use Code 遠距離通信用途コード

Value	Description	Comments
PRN	Primary Residence Number 主たる住居の番号	
ORN	Other Residence Number その他の住居の番号	
WPN	Work Number 勤務先番号	
VHN	Vacation Home Number 休暇中の住居の番号	
ASN	Answering Service Number 留守電話応答サービス番号	
EMR	Emergency Number 緊急連絡先番号	
NET	Network (email) Address ネットワーク(電子メール)アドレス	
BPN	Beeper Number ポケットベル番号	

HL7表 0202—Telecommunication Equipment Type 遠距離通信機器タイプ

Value	Description	Comments
PH	Telephone 電話	
FX	Fax ファックス	
MD	Modem モデム	
CP	Cellular Phone 携帯電話	
BP	Beeper ポケットベル	
INTERNET	Internet Address インターネットアドレス：遠距離通信用途コードが NET の場合のみ使用	
X.400	X400 email address 電子メールアドレス：遠距離通信用途コードが NET の場合のみ使用	
TDD	Telecommunications Device for the Deaf 聴覚障害者のための遠距離通信機器	
TTY	Teletypewriter テレタイプ	

【共通編】

注記：PID-13（電話番号）XTN の第 1 要素は、オプション値が 'B'(Backword) なので使用しない。
 なお、電話番号は第 12 成分に記述することとし、例えば、
 ^PRN^PH^^^^^^^^03-0000-0000
 と扱うこととする。

PID-14 Phone Number - Business 電話番号—勤務先 (XTN) 00117

成分：<Telephone Number (ST)> ^ <Telecommunication Use Code (ID)> ^ <Telecommunication Equipment Type (ID)> ^ <Email Address (ST)> ^ <Country Code (NM)> ^ <Area/City Code (NM)> ^ <Local Number (NM)> ^ <Extension (NM)> ^ <Any Text (ST)> ^ <Extension Prefix (ST)> ^ <Speed Dial Code (ST)> ^ <Unformatted Telephone number (ST)>

定義：このフィールドでは患者の職場の電話番号を示す。すべての職場の電話番号は次の順序で送られる。最初は主として使われる電話番号（下位互換性のため）である。もし主として使われる電話番号がない場合は、必ず最初に反復セパレータを送る必要がある。推奨値については「HL7 表 0201—遠距離通信用途コード」と「HL7 表 0202—遠距離通信機器タイプ」を参照のこと。

【共通編】電話番号は第 12 成分に記述することとし、例えば、
 ^PRN^PH^^^^^^^^03-3506-8070
 と扱うこととする。

PID-15 Primary Language 使用言語—患者 (CE) 00118

成分：<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドでは患者の使用する言語を示す。HL7 としての推奨は「使用者定義表 296 - 使用言語」として ISO 表 639 の使用である。

使用者定義表 0296 - Primary Language 使用言語

Value	Description	Comments
	no suggested values 推奨値なし	

PID-16 Marital Status 結婚状態 (CE) 00119

成分：<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドでは患者の結婚状態（民事）を示す。推奨値は「使用者定義表 0002—結婚状態」を参照のこと。

使用者定義表 0002 - Marital Status 結婚状態

Value	Description	Comments
A	Separated 別居	
D	Divorced 離婚	
M	Married 既婚	
S	Single 独身	
W	Widowed 未亡人	
C	Common law 法的	
G	Living together 同居・同棲	
P	Domestic partner 配偶者	
R	Registered domestic partner 登録された配偶者	

Value	Description	Comments
E	Legally Separated 法的な別居	
N	Annulled 取消	
I	Interlocutory 対話者	
B	Unmarried 未婚	
U	Unknown 不明	
O	Other その他	
T	Unreported 未報告	

PID-17 Religion 宗教 (CE) 00120

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)>
^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義: このフィールドでは患者の宗教を示す。推奨値は「使用者定義表 0006-宗教」を参照のこと。

使用者定義表 0006 - Religion 宗教

Value	Description	Comments
AGN	Agnostic	
ATH	Atheist	
BAH	Baha'i	
BUD	Buddhist	
BMA	Buddhist: Mahayana	
BTH	Buddhist: Theravada	
BTA	Buddhist: Tantrayana	
BOT	Buddhist: Other	
CFR	Chinese Folk Religionist	
CHR	Christian	
ABC	Christian: American Baptist Church	
AMT	Christian: African Methodist Episcopal	
AME	Christian: African Methodist Episcopal Zion	
ANG	Christian: Anglican	
AOG	Christian: Assembly of God	
BAP	Christian: Baptist	
CAT	Christian: Roman Catholic	
CRR	Christian: Christian Reformed	
CHS	Christian: Christian Science	
CMA	Christian: Christian Missionary Alliance	
COC	Christian: Church of Christ	
COG	Christian: Church of God	
COI	Christian: Church of God in Christ	
COM	Christian: Community	
COL	Christian: Congregational	
EOT	Christian: Eastern Orthodox	
EVC	Christian: Evangelical Church	
EPI	Christian: Episcopalian	
FWB	Christian: Free Will Baptist	
FRQ	Christian: Friends	
GRE	Christian: Greek Orthodox	
JWN	Christian: Jehovah's Witness	
LUT	Christian: Lutheran	
LMS	Christian: Lutheran Missouri Synod	
MEN	Christian: Mennonite	
MET	Christian: Methodist	
MOM	Christian: Latter-day Saints	
NAZ	Christian: Church of the Nazarene	
ORT	Christian: Orthodox	
COT	Christian: Other	
PRC	Christian: Other Protestant	
PEN	Christian: Pentecostal	
COP	Christian: Other Pentecostal	
PRE	Christian: Presbyterian	
PRO	Christian: Protestant	
QUA	Christian: Friends	
REC	Christian: Reformed Church	
REO	Christian: Reorganized Church of Jesus Christ-LDS	

Value	Description	Comments
SAA	Christian: Salvation Army	
SEV	Christian: Seventh Day Adventist	
SOU	Christian: Southern Baptist	
UCC	Christian: United Church of Christ	
UMD	Christian: United Methodist	
UNI	Christian: Unitarian	
UNU	Christian: Unitarian Universalist	
WES	Christian: Wesleyan	
WMC	Christian: Wesleyan Methodist	
CNF	Confucian	
ERL	Ethnic Religionist	
HIN	Hindu	
HVA	Hindu: Vaishnavites	
HSN	Hindu: Shaivites	
HOT	Hindu: Other	
JAI	Jain	
JEW	Jewish	
JCO	Jewish: Conservative	
JOR	Jewish: Orthodox	
JOT	Jewish: Other	
JRC	Jewish: Reconstructionist	
JRF	Jewish: Reform	
JRN	Jewish: Renewal	
MOS	Muslim	
MSU	Muslim: Sunni	
MSH	Muslim: Shiite	
MOT	Muslim: Other	
NAM	Native American	
NRL	New Religionist	
NOE	Nonreligious	
OTH	Other	
SHN	Shintoist	
SIK	Sikh	
SPI	Spiritist	
VAR	Unknown	

PID-18 Patient Account Number 患者会計口座番号 (CX) 00121

成分: <ID Number (ST)> ^ <Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Effective Date (DT)> ^ <Expiration Date (DT)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義: このフィールドでは患者のすべての課金、支払い等を記録し、計算するために割り付けられた会計口座番号を示す。患者の会計を識別するために使用される。推奨値は「HL7 表 0061 - チェックデジット形式」を参照のこと。

PID-19 SSN Number - Patient 社会保障番号(ST) 00122

定義: このフィールドは HL7 V2.3.1 から下位互換性のためにのみ残されている。

PID-20 Driver's License Number - Patient 運転免許証番号 (DLN) 00123

定義：このフィールドは HL7 V2.3.1 から下位互換性のためにのみ残されている。

PID-21 Mother's Identifier 母親の識別情報(CX) 00124

成分:<ID Number (ST)> ^ <Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Effective Date (DT)> ^ <Expiration Date (DT)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Assigning Authority (HD):<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD):<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、例えば、新生児用に関係を示すために用いられる。一般的には患者 ID あるいは会計口座番号を使用する。このフィールドは同じ母親を示す複数の識別情報を含むことができる。推奨値は「HL7 表 0061- チェックデジット形式」を参照のこと。

PID-22 Ethnic Group 民族(CE) 00125

成分 : <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドは患者の先祖を定義する。推奨値については「使用者定義表 0189 - 民族」を参照のこと。民族データの後半 (alternate identifier, alternate text, and name of alternate coding system) は政府により割り当てられるコードである。アメリカでは一般に民族性の報告はスペイン系住民に対する米国連邦政府の標準規約と同じである。

使用者定義表 0189 - Ethnic Group 民族

Value	Description	Comments
H	Hispanic or Latino	
N	Not Hispanic or Latino	
U	Unknown	

PID-23 Birth Place 出生地(ST) 00126

定義：このフィールドは患者の出生地を示す。例えば「St. Francis Community Hospital of Lower South Side」である。現住所は PID-11 に識別情報「N」で報告する。

PID-24 Multiple Birth Indicator 多胎児識別情報 (ID) 00127

定義：患者が多胎児の一人であったかどうかを示す。推奨値は「HL7 表 0136 - Yes/No 標識」を参照のこと。

Y 多胎児の一人
N 多胎児でない一人

PID-25 Birth Order 誕生順序 (NM) 00128

定義：患者が多胎出産だった時に、このフィールドには何番目に生まれたか (数字) を示す。

PID-26 Citizenship 市民権情報 (CE) 00129

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドは個人の市民権のある国に関する情報を示す。国の市民権については HL7 では ISO 表 3166 の使用を推奨する。もし、個別に定義をする場合は、「使用者定義表 0171-市民権」を使用しなければならない。

個人が複数の国で住民であった場合、このフィールドは繰り返す。CE データ型のコードシステム名は市民権や団体が書かれた表によって識別される。
オランダでは、このフィールドは「国籍」を示す。

使用者定義表 0171 - Citizenship 市民権

Value	Description	Comments
	no suggested values 推奨値なし	

PID-27 Veterans Military Status 退役軍人情報 (CE) 00130

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^
<Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義: このフィールドは退役軍人に割り当てられた軍人情報である。推奨値については「使用者定義表 0172-退役軍人情報」に示す。

使用者定義表 0172 - Veterans Military Status 退役軍人情報

Value	Description	Comments
	no suggested values 推奨値なし	

PID-28 Nationality 国籍 (CE) 00739

定義: V2.4 以降から、このフィールドは下位互換性のためにのみ残されている。

PID-29 Patient Death Date and Time 患者死亡日時 (TS) 00740

成分: <Time (DTM)> ^ <Degree of Precision (ID)>

定義: このフィールドは患者が死亡した日時を示す。

PID-30 Patient Death Indicator 患者死亡識別情報 (ID) 00741

定義: このフィールドは患者が死亡しているのか否かを示す。推奨値は「HL7 表 0136 - Yes/No 標識」を参照のこと。

Y 患者は死亡している
N 患者は死亡していない

PID-31 Identity Unknown Indicator 識別情報の有無 (ID) 01535

定義: このフィールドは患者／個人の識別情報がわかっているか否かを示す。推奨値は「HL7 表 0136 - Yes/No 標識」を参照のこと。

Y 患者／個人の識別情報は未知である。
N 患者／個人の識別情報は既知である。

PID-32 Identity Reliability Code 識別情報の信頼性 (IS) 01536

定義: このフィールドは、トランザクションで送られた患者／個人識別情報の信頼性評価情報を伝えるために使用する。この値で PID セグメントの特定フィールドの患者／個人識別情報が誤り (例えば、初期値であるとか、システムで生成した生年月日、社会保障番号) であること示すことができる。推奨値については「使用者定義表 0445-識別情報の信頼性」を参照のこと。

使用者定義表 0445 - Identity Reliability Code 識別情報の信頼性

Value	Description	Comments
US	Unknown/Default Social Security Number 不明/社会保障番号 (初期値)	
UD	Unknown/Default Date of Birth 不明/誕生日 (初期値)	
UA	Unknown/Default Address 不明/住所 (初期値)	
AL	Patient/Person Name is an Alias 患者/個人名は別名	

PID-33 Last update Date/Time 最終更新日時 (TS) 01537

成分: <Time (DTM)> ^ <Degree of Precision (ID)>

定義: このフィールドでは PID セグメントに含まれる患者／個人の識別情報や患者基本情報の最終更新日時を示す。受信側システムではこのフィールドを用いて、どのようにそのトランザクションをそのシステムで扱うかを判断するために使用する。もし、受信側システム (例えばエンタープライズマ

スター患者インデックス) が、既により新しい個人の情報を持っていた場合、そのトランザクションからの患者／個人基本情報、識別情報を使用しないことと判断する。

PID-34 Last Update Facility 最終更新施設 (HD) 01538

成分: <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義: このフィールドはPID セグメントに含まれる患者／個人の識別情報や患者基本情報の最終更新をした機関の識別情報を示す。受信側のシステムまたは使用者は、このフィールドにより該当トランザクションをそのシステムに適応するかを判断する。もし、受信側システム（例えば病院の患者管理システム）は既にその患者／個人の記録を持っている場合、信頼できる情報源からの情報のみ更新するかもしれない。病院は他の病院を信頼できる情報源と考えるかもしれない。しかし、急性期治療機関ではない医療機関からの更新は信じないかもしれない。

書式例は次のとおり。

...|Metro Hospital|...

PID-35 Species Code 種コード (CE) 01539

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^

<Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義: 生物の種。このフィールドはコーディングシステムを用いて一般名もしくは学術名を示す。SNOMED を推奨する。もしこのフィールドの値が無い場合は人間が対象である。推奨値については「使用者定義表 0446-種コード」を参照のこと。

使用者定義表 0446 - Species Code 種コード

Value	Description	Comments
	no suggested values 推奨値なし	

条件付きルール: もしPID-36 品種コードまたはPID-38 製品分類コードが値を持つ時は、このフィールドも値を持つ必要がある。例:

...|L-80700^Canine, NOS^SNM3|...

...|L-80100^Bovine^SNM3|...

...|L-80A00^Feline^SNM3|...

PID-36 Breed Code 品種コード (CE) 01540

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^

<Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義: 特定の動物の品種。このフィールドは種や血統と異なり動物に対して特有で、一般の生物には使うことができない。コーディングシステムはSNOMED を推奨する。推奨値については「使用者定義表 0447-品種コード」を参照のこと。

使用者定義表 0447 - Breed Code 品種コード

Value	Description	Comments
	no suggested values 推奨値なし	

条件付きルール: PID-37 血統情報が値を持つ時は、このフィールドは値を持たなくてはならない。

例 (一部に「アメリカンカーネルクラブ」と用語定義されている動物の主および代替えコーディングシステムを示す。):

...|L-80733^ Staffordshire bull terrier^SNM3^^American Staffordshire Terrier^99AKC|...

...|L-80900^Weimaraner^SNM3|...

...|L-80439^Peruvian Paso Horse^SNM3|...

PID-37 Strain 血統情報 (ST) 01541

定義: このフィールドは動物の血統情報を示す。このフィールドはどのような生物の血統情報にも、また動物以外にも拡張することができる。

例:

...|DeKalb|...

...|Balb/c|...

...|DXL|...

PID-38 Production Class Code 製品分類コード (CE) 01542

成分 : <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^
 <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義 : このフィールドはその生物が主に飼育されたものか、成長したものかを示すコードと／もしくは
 はテキストである。推奨値については「使用者定義表 0429-製品分類コード」を参照のこと。

使用者定義表 0429 - Production Class Code 製品分類コード

Value	Description	Comments
BR	Breeding/genetic stock	
DA	Dairy	
DR	Draft	
DU	Dual Purpose	
LY	Layer, Includes Multiplier flocks	
MT	Meat	
OT	Other	
PL	Pleasure	
RA	Racing	
SH	Show	
NA	Not Applicable	
U	Unknown	

例 :

...|DA^Dairy^L|...

...|MT^Meat^L|...

...|RA^Racing^L|...

PID-39 Tribal Citizenship 所属部族 (CWE) 01840

成分 : <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^
 <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)>
 ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義 : このフィールドには個人の所属種族に関する情報が含まれる。合衆国における所属種族として
 は、HL7 はインディアン事務局 (BIA) 種族識別リストによることを推奨する。もし個別に定義する
 場合は、「使用者定義表 0171-市民権」を使わなければならない。

個人が複数の種族に属したことがある場合、このフィールドは繰り返す。CWE データ型のコードシス
 テム名は種族が書かれた表によって識別される。

7.11. PV1 - Patient Visit Segment 来院情報セグメント

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.3「7. 関連セグメント詳細」を参照のこと。

7.12. QAK - Query Acknowledgment Segment 照会応答セグメント

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.3「7. 関連セグメント詳細」を参照のこと。

7.13. QPD - Query Parameter Definition 照会パラメータ定義

QPD セグメントは照会のパラメータを定義する。

HL7属性表－QPD－Query Parameter Definition照会パラメータ定義

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME
1	250	CE	R	R		0471	Message Query Name メッセージ照会名
2	32	ST	C	C			Query Tag 照会タグ
3-n	256	Varies		C			User Parameters (in successive fields) ユーザ・パラメータ(以降のフィールド)

QPD フィールド定義

QPD-1 Message Query Name メッセージ照会名 (CE) 01375

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)>
^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System
Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このフィールドは照会名を含む。これらの名前は、この仕様の機能に特化した章に割り当てられている。照会名に関しては、適合宣言書と一対一であり、実際にその適合宣言書のための識別子である。施設固有の照会名は、文字 Z から始まる。推奨値については、「使用者定義表 0471－照会名」を参照のこと。

使用者定義表 0471－照会名

Value	Description	Comment
IHE PDQ Query		JAHISデータ交換規約 共通編 Ver.1.3参照
IHE PDVQ Query		JAHISデータ交換規約 共通編 Ver.1.3参照
ZS1^Order Query^JHSS0002	生理検査依頼照会	
ZS3^Storage Commitment^JHSS0002	データ保存確認	

QPD-2 Query Tag 照会タグ (ST) 00696

定義: このフィールドは、照会を識別するために開始するシステムによって値が入れられ、そして応答メッセージを元の照会に一致させるために使用しても良い。もしこのフィールドに値がセットされた場合、応答システムは照会認知セグメント(QAK)の最初のフィールドとしてそれをエコーバックすることを要求される。

このフィールドは、MSA-2 メッセージ制御 ID とは異なる。その値が照会に関係があるそれぞれのメッセージ(すなわちすべての継続メッセージ)では一定のままであるのに対し、MSA-2 メッセージ制御 ID は、それが全体としての照会ではなく、それぞれの個々のメッセージに関係があるため、それぞれの継続メッセージによって異なっている。

[実装時の注意点: ソケット上の唯一の応答メッセージが今送られた照会に対する応答になる実装では、このフィールドに値を入れる必要がない。逆に、多くの照会、応答、および他のメッセージが同じソケットで双方向に伝えられる「非同期」な実装の場合には、サーバがどの照会に回答しているかをクライアントがわかるように、このフィールドに値が入ることが必須である。]

QPD-3 User Parameters ユーザ・パラメータ (Varies) 01435

定義: これらの後続のパラメータ・フィールドは、クライアントがサーバに渡す値を保持する。

クライアント・データは、一連の HL7 フィールドとして存在する。QPD-3 ユーザ・パラメータから始まって、QPD セグメントの残りフィールドは、ユーザ・パラメータ・データを伝える。それぞれの QPD ユーザ・パラメータ・フィールドは、それぞれの名前、データ型、オプション指定、および反復が指定されている、適合宣言書で定義された 1 つのパラメータに対応する。これらのパラメータが通常は共に「AND 条件」とであると理解されている一方で、ユーザは、適切にそれぞれを理解するために、要求された適合宣言書を注意深く調べなくてはならない。QSC 別形を除いて、パラメータ名は照会で述べられる必要がなく、それらは、適合宣言書に基づいた位置にあると理解される。

それぞれのパラメータ・フィールドは、複雑な QIP および QSC 型を含めて、どんな単一のデータ型としても適合宣言書に指定できる。また、パラメータ・フィールドは、以下のセクション HL7 V2.5 5.4.4.3.1 節で定義された、ソート・コントロール(SRT)フィールドあるいはセグメントグループ(ID)フィールドを含んでもよい。QPD セグメントのパラメータ・フィールドは、適合宣言書と同じ順序で現れる。

【生理】 QPD-1 にて推奨したメッセージ問合せ名に対応する使用者定義パラメータを以下に示す。

表7.13-1 QPD パラメータ仕様 - 生理検査依頼照会 (ZS1^Order Query^JHSS0002)

Field Seq (Query ID=Znn)	Col Name	Key/S earch	Sort	LEN	TYPE	Opt	Rep	Match Op	TBL	Segment Field Name	Service Identifier Code	Element Name
1	MessageQuery Name メッセージ 照会名			250	CE	R						
2	QueryTag 照会 タグ			32	ST	R						
3	Patient ID 患者 IDリスト			256	CX	C		=		PID-3		PID-3:Patient Identifier List 患者ID リスト
4	Placer Order Number 依頼者 オーダー番号			22	EI	C		=		ORC-2		ORC-2:Placer Order Number 依頼者オーダー 番号
5	Universal Service Identifier 汎用 サービスID			256	CE	C				OBR-4		OBR-4:Universal Service Identifier 汎用サービス ID
6	Filler Order Number 実施者 オーダー番号			22	EI	C		=		ORC-3		ORC-3:Filler Order Number 実施者オーダー 番号
7	Equipment instance identifier 機器 インスタンス識別子			22	EI	C				OBX-18		OBX-18:Equipment Instance Identifier 機器 インスタンス識別子
8	Where Subject Filter対象場所 フィルタ			20	ST	C				QRF-1		QRF-1:Where Subject Filter 対象 場所フィル タ
9	When Data Start Date/Time データ開始日時			26	TS	C				TQ1-7		TQ-7:Start Date/Time 開始日時
10	When Data End Date/Time データ 終了日時			26	TS	C				TQ1-8		TQ-8:End Date/Time 終了日時

Field Seq (Query ID=Znn)	Col Name	Key/S earch	Sort	LEN	TYPE	Opt	Rep	Match Op	TBL	Segment Field Name	Service Identifier Code	Element Name
11	Other QRY Subject Filter 他のQRY対象フ ィルタ			60	ST	C				ORC-5		QRF-5:Othe r QRY Subject Filter 他の QRY対象フ ィルタ
12	Which Date/Time Qualifier対象日 時修飾子			12	ID	C	'Y		0156	QRF-6		QRF-6:Whi ch Date/Time Qualifier 対 象日時修飾 子
13	Date/Time Selection Qualifier日時選 択修飾子			12	ID	C	Y		0158	QRF-8		QRF-8:Date /Time Selection Qualifier 日 時選択修飾 子

表7.13-2 QPD パラメータ仕様 - データ保存確認 (ZS3^Storage Commitment^JHSS0002)

Field Seq (Query ID=Znn)	Col Name	Key/S earch	Sort	LEN	TYPE	Opt	Rep	Match Op	TBL	Segment Field Name	Service Identifier Code	Element Name
1	MessageQuery Name メッセー ジ 照会名			250	CE	R						
2	QueryTag 照会 タグ			32	ST	R						
3	Data UID デー タ固有識別ID			256	EI	R		=				

Data UID は保存確認を行いたいデータの固有識別 ID である。この UID によって、モダリティと LIS 間で対象データは唯一特定される。

7.14. QRD - Query Definition Segment 照会定義セグメント

QRD セグメントは、照会を定義するのに使われる。

HL7属性表－QRD－オリジナルスタイル照会定義

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHS	RP/#	TBL #	ELEMENT NAME
1	26	TS	R	R			Query Date/Time 照会日時
2	1	ID	R	R		0106	Query Format Code 照会フォーマットコード
3	1	ID	R	R		0091	Query Priority 照会優先度
4	10	ST	R	R			Query ID 照会ID
5	1	ID	O	O		0107	Deferred Response Type 遅延応答タイプ
6	26	TS	O	O			Deferred Response Date/Time 遅延応答日時
7	10	CQ	R	R		0126	Quantity Limited Request 数量制限請求
8	250	XCN	R	R	Y		Who Subject Filter 対象人物フィルタ
9	250	CE	R	R	Y	0048	What Subject Filter 対象フィルタ
10	250	CE	R	R	Y		What Department Data Code 対象部門データコード
11	20	VR	O	O	Y		What Data Code Value Qual. 対象データコード値修飾子
12	1	ID	O	O		0108	Query Results Level 照会結果レベル

QRD フィールド定義

QRD-1 Query Date/Time 照会日時 (TS) 00025

成分:<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義: このフィールドは、アプリケーションプログラムによって照会を作成した日時を含む。

QRD-2 Query Format Code 照会フォーマットコード (ID) 00026

定義: このフィールドでは、取りうるコードは、「HL7 表 -0106 照会応答フォーマットコード」を参照のこと。

HL7表 0106 – Query/Response Format Code 照会応答フォーマットコード

Value	Description	Comment
D	Response is in display format 応答が表示モードにある	
R	Response is in record-oriented format 応答が診療記録用モードにある	
T	Response is in tabular format 応答が表用フォーマットにある	

QRD-3 Query Priority 照会優先度 (ID) 00027

定義: このフィールドは、応答が期待される時間枠を含む。取りうる値は「HL7 表 -0091 照会優先度」を参照のこと。テーブル値と以降のフィールドは、応答の時間枠を指定する。

HL7表 0091－Query Priority 照会優先度

Value	Description	Comment
D	Deferred 遅延	
I	Immediate 即時	

QRD-4 Query ID 照会ID (ST) 00028

定義: このフィールドは、照会に対する一意の識別子を含む。照会アプリケーションによって割り当てられ、応答アプリケーションによりそのままエコーバックする。

QRD-5 Deferred Response Type 遅延応答タイプ (ID) 00029

定義: このフィールドの取りうる値は「HL7 表 -0107 遅延応答タイプ」を参照のこと。

HL7表 0107 – Deferred Response Type 遅延応答タイプ

Value	Description	Comment
B	Before the Date/Time specified 指定日時以前	
L	Later than the Date/Time specified 指定日時以降	

QRD-6 Deferred Response Date/Time 遅延応答日時 (TS) 00030

成分: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義: このフィールドは、遅延応答の送信日時以前または以降の日時を含む。存在しない場合、応答は可能になった時点で送ることができる。(QRD-5 遅延応答タイプ参照のこと)

QRD-7 Quantity Limited Request 数量制限請求 (CQ) 00031

成分: <quantity (NM)> ^ <units (CE)>

副成分 for Unit(CE) : <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義: このフィールドは、要求システムが受け入れられる応答の最大長を含む。有効な応答は、第2成分内で指定した単位で与えられた第1成分の数値である。第2成分の取りうる値は、「HL7表 0126 – 数量制限要求」を参照のこと。デフォルトはLI(行)。

HL7表 0126 – Quantity Limited Request 数量制限要求

Value	Description	Comment
CH	Characters 文字	
LI	Lines 行	
PG	Pages ページ	
RD	Records レコード	
ZO	Locally defined ローカルで定義	

QRD-8 Who Subject Filter 対象人物フィルタ (XCN) 00032

成分: <ID number (ST)> ^ <family name (ST)> ^ <given name (ST)> ^ <middle initial or name (ST)> ^ <suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <degree (e.g., MD) (ST)> ^ <source table (IS)> ^ <assigning authority (HD)> ^ <name type code (ID)> ^ <code identifying the check digit scheme employed (ID)> ^ <identifier type code (IS)> ^ <assigning facility ID (HD)>

副成分 for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Assigning Authority: <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID type (ID)>

副成分 for Assigning Facility: <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID type (ID)>

副成分 for Name Context (CE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

副成分 for DEPRECATED-Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義: このフィールドは、対象人物、あるいは誰に関する照会かを識別する。

QRD-9 What Subject Filter 対象フィルタ (CE) 00033

成分: <identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義: このフィールドは、要求を満たすために必要な情報の種類を記述する。取りうる値はトランザクション照会のタイプを定義し、実装時に施設で拡張することができる。

【生理】「生理検査結果照会(QRY/ORF)」は RES (結果) を指定する。

HL7表 0048 – What Subject Filter 対象主題フィルタ

Value	Description	Comment
ADV	Advice/diagnosis 助言／診断	
ANU	Nursing unit lookup (returns patients in beds, excluding empty beds) 看護ユニット検索(ベッドにいる患者を返す。空きベッドは除く)	
APN	Patient name lookup 患者名検索	
APP	Physician lookup 医師検索	
ARN	Nursing unit lookup (returns patients in beds, including empty beds) 看護ユニット検索 (患者をベッドに戻す、空きベッドも含む)	
APM	Medical record number query, returns visits for a medical record number カルテ番号照会、カルテ番号への受付番号を返す	
APA	Account number query, return matching visit 口座番号照会、一致した受付番号を返す	
CAN	Cancel. Used to cancel a query キャンセル。照会キャンセルに使われる	
DEM	Demographics デモグラフィックス	
FIN	Financial 財務	
GID	Generate new identifier 新規識別子生成	
GOL	Goals ゴール	
MRI	Most recent inpatient 最近の入院患者	
MRO	Most recent outpatient 最近の来院患者	
NCK	Network clock ネットワーク時刻	
NSC	Network status change ネットワーク状態変更	
NST	Network statistic ネットワーク統計	
ORD	Order オーダ	
OTH	Other その他	
PRB	Problems 問題	
PRO	Procedure 手順	
RES	Result 結果	
RAR	Pharmacy administration information 処方管理情報	【生理】生理検査結果照会(QRY/ORF) はこの値をセットする
RER	Pharmacy encoded order information 処方コード化オーダ情報	
RDR	Pharmacy dispense information 処方調剤情報	
RGR	Pharmacy give information 処方投与情報	
ROR	Pharmacy prescription information 処方箋情報	
SAL	All schedule related information, including open slots, booked slots, blocked slots すべての予約関連情報 空いた予約枠、予約された予約枠、予約停止枠を含む。	
SBK	Booked slots on the identified schedule 識別された予約における予約された予約枠	
SBL	Blocked slots on the identified schedule 識別された予約における予約停止枠	
SOF	First open slot on the identified schedule after the start date/time 開始日時以降の識別された予約における最初の空き予約枠	
SOP	Open slots on the identified schedule between the begin and end of the start date/time range 開始日時の開始と終了の間に識別された予約における空いた予約枠	
SSA	Time slots available for a single appointment 単一の予約に利用できる時間予約枠	
SSR	Time slots available for a recurring appointment 再予約に利用できる時間予約枠	
STA	Status 状態	
VXI	Vaccine Information 予防接種情報	
XID	Get cross-referenced identifiers 相互参照された識別子を取得	

QRD-10 What Department Data Code 対象部門データコード (CE) 00034

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)>
^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義: このフィールドは、検査番号、手順番号、薬剤コード、品目番号、オーダ番号等などが指定可能である。このフィールドの内容は、直前のフィールドの内容により決定される。このフィールドには、反復区切り文字で区切るにより、複数の発生を含むことができる。

【生理】「生理検査結果照会(QRY/ORF)」は依頼者オーダー番号を指定するが、依頼者オーダー番号が無い場合は""を指定する。

QRD-11 What Data Code Value Qual. 対象データコード値修飾子 (VR) 00035

成分: <first data code value (ST)> ^ <last data code value (ST)>

定義: このフィールドは、成分セパレータによって区切られた開始と停止を含む。これらの値は照会をさらに絞り込むためのウインドウまたは範囲を示す。

QRD-12 Query Results level 照会結果レベル (ID) 00036

定義: このフィールドは、結果詳細レベルを制御するのに使用する。取りうる値は「HL7 表 -0108 照会結果レベル」を参照のこと。

【生理】生理検査結果照会では、通常はT（すべての結果）を指定する。

HL7表 0108 – Query Results Level 照会結果レベル

Value	Description	Comment
O	Order plus order status オーダとオーダ状態	
R	Results without bulk text 長文を除いた結果	
S	Status only 状態のみ	
T	Full results すべての結果	

7.15. QRF - Query Filter Segment 照会フィルタセグメント

QRFセグメントはオリジナルスタイルの照会内容をさらに改良するためにQRDセグメントとともに使われる。

HL7属性表 - QRF - オリジナルスタイル照会フィルタ

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME
1	20	ST	R	R	Y		Where Subject Filter対象場所フィルタ
2	26	TS	B	B			When Data Start Date/Time対象データ開始日時
3	26	TS	B	B			When Data End Date/Time 対象データ終了日時
4	60	ST	O	O	Y		What User Qualifier 対象ユーザ修飾子
5	60	ST	O	C	Y		Other QRY Subject Filter 他のQRY対象フィルタ
6	12	ID	O	C	Y	0156	Which Date/Time Qualifier 対象日時修飾子
7	12	ID	O	O	Y	0157	Which Date/Time Status Qualifier 対象日時状態修飾子
8	12	ID	O	O	Y	0158	Date/Time Selection Qualifier 日時選択修飾子
9	60	TQ	O	O			When Quality/Timing Qualifier 数量/タイミング修飾子
10	10	NM	O	O			Search Confidence Threshold サーチ範囲

QRF フィールド定義

QRF-1 Where Subject Filter 対象場所フィルタ (ST) 00037

定義： このフィールドはその問合せが対象とする部門、システム、サブシステムを識別する。このフィールドは、LAB~HEMO などのように繰り返すことができる。

QRF-2 When Data Start Date/Time 対象データ開始日時 (TS) 00038

成分： <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義： このフィールドは、下位互換性のためだけに用意されている。

QRF-3 When Data End Date/Time 対象データ終了日時 (TS) 00039

成分： <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義： このフィールドは、下位互換性のためだけに用意されている。

QRF-4 What User Qualifier 対象ユーザ修飾子 (ST) 00040

定義： このフィールドには、対象データの特性をさらに定義するための識別子を含む。

QRF-5 Other QRY Subject Filter 他のQRY 対象フィルタ (ST) 00041

定義： このフィールドには、2つのシステム間で使用する施設定義のフィルタを含んでいる。このフィルタは、関連するアプリケーションや施設にのみ特定の意味を持つコードとフィールド定義を使用する。

【生理】生理検査結果照会メッセージにおいて照会条件として検査ステータスを指定したい場合は”CM”(検査終了)固定とする。

QRF-6 Which Date/Time Qualifier 対象日時修飾子 (ID) 00042

定義： このフィールドは、QRF-2-対象データ開始日時と QRF-3-対象データ終了日時で参照される日付のタイプを指定する。取りうる値については「HL7 表 0156 - Which Date/Time Qualifier 対象日時修飾子」を参照。

HL7表 0156 – Which Date/Time Qualifier 対象日時修飾子

Value	Description	Comment
ANY	Any date/time within a range 範囲内の任意の日時	
COL	Collection date/time, equivalent to film or sample collection date/time 収集日時。フィルムまたはサンプル収集日時と同等	
ORD	Order date/time オーダ日時	
RCT	Specimen receipt date/time, receipt of specimen in filling ancillary (Lab) 取り消し日時。検体受領日時、臨床検査部門での検体の受領	
REP	Report date/time, report date/time at filing ancillary (i.e., Lab) 結果報告日時。臨床検査部門での報告日時	
SCHED	Schedule date/time 予定日時	

QRF-7 Which Date/Time Status Qualifier 対象日時状態修飾子 (ID) 00043

定義： このフィールドは、QRF-2-対象データ開始日時およびQRF-3 対象データ終了日時により定義された日付範囲で選択した対象日時の状態を示す。取りうる値については「HL7 表 0157 - Which date/time status qualifier 対象日時状態修飾子」を参照。

HL7表 0157 – Which date/time status qualifier 対象日時状態修飾子

Value	Description	Comment
ANY	任意の状態	
CFN	現在の最終値、最終又は修正の	
COR	修正のみ（修正最終値を除く）	
FIN	最終のみ（修正を除く）	
PRE	予備的	
REP	報告完了日時	

QRF-8 Date/Time Selection Qualifier 日時選択修飾子 (ID) 00044

定義： このフィールドはその日時範囲で特定のタイプの値が指定できる。取りうる値については「HL7 表 0158- Date/Time Selection Qualifier 日付選択修飾子」を参照。

HL7表 0158 – Date/Time Selection Qualifier 日時選択修飾子

Value	Description	Comment
1ST	First value within range 範囲内の最初の値	
ALL	All values within the range 範囲内のすべての値	
LST	Last value within the range 範囲内の最終値	
REV	All values within the range returned in reverse chronological order (This is the default if not otherwise specified.) 範囲内のすべての値であって、日時の逆順に返されたもの (別途指示がない限りこれがデフォルトである)	

QRF-9 When Quantity/Timing Qualifier 量/タイミング修飾子 (TQ) 00694

成分: <quantity (CQ)> ^ <interval (CM)> ^ <duration> ^ <start date/time (TS)> ^ <end date/time (TS)> ^ <priority (ID)> ^ <condition (ST)> ^ <text (TX)> ^ <conjunction (ID)> ^ <order sequencing>

副成分 for Quantity (CQ): <Quantity (NM)> & <Units (CE)>

副成分 for Interval (RD): <Repeat Pattern (IS)> & <Explicit Time Interval (ST)>

副成分 for Start Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for End Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Order Sequencing (OSD): <Sequence/Results Flag (ID)> & <Placer Order Number:

Entity Identifier (ST)> & <Placer Order Number: Namespace ID (IS)> & <Filler Order

Number: Entity Identifier (ST)> & <Filler Order Number: Namespace ID (IS)> & <Sequence

Condition Value (ST)> & <Maximum Number of Repeats (NM)> & <Placer Order Number:

Universal ID (ST)> & <Placer Order Number: Universal ID Type (ID)> & <Filler Order

Number: Universal ID (ST)> & <Filler Order Number: Universal ID Type (ID)>

副成分 for Occurrence Duration (CE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義： このフィールドは、照会への複数の応答を絞り込むための日時の範囲を指定する。

定義の補足として、これからの実装では「QRF-2ー対象データ開始日時」および「QRF-3ー対象データ終了日時」を使用不可とするべきである。

注記：このフィールドはデータ型 TQ であり、HL7 V2.5 で非推奨となった。Quantity 成分(第1成分)の実装についての情報は、HL7 V2.5 2.A.81 節を参照のこと。

QRF-10 Search Confidence Threshold サーチ範囲 (NM) 01442

定義： このフィールドには、最小しきい値の一致を確立するために使用される数値が含まる。この値は、検索の「一致重み」がこの使用者定義値よりも低い患者のレコードを返さないように応答システムに指示する。

例: |0.50| or |8.25|

このオプションのフィールドの1つの用途は、検索システムが患者/個人の検索で可能性のある一致を決定するために数値的なアルゴリズムを採用する患者検索トランザクションである。

7.16. RCP - Response Control Parameter Segment 応答制御パラメータセグメント

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.3「7. 関連セグメント詳細」を参照のこと。

7.17. TQ1 - Timing/Quantity Segment タイミング/数量セグメント

TQ1 セグメントは、オーダ管理やスケジューリングシステムなどで起きる、イベントとアクションの複雑なタイミングを指定するのに使用される。このセグメントは、サービスの量、頻度、優先度、及びタイミングを決定する。このセグメントの繰返しを許すことで、あるサービス要求（時間にこだわらず）での量、頻度、優先度を継続的に持たせることが可能になる。

以下に TQ1 が繰り返されるユースケースを示す。

- a. 心筋酵素（直ちに）、後は毎 4 時間
- b. ストレプトキナーゼ検査、1 回目（直ちに）の採血を行い、検査を実施（直ちに）、その後 4 時間毎に採血し、検査を実施（直ちに）。
- c. ゲンタマイシン 100mg（すぐ）、80mg 毎 12 時間 2 回分（最初 1 回分 80mg）1 回分 100mg の後きっかり 12 時間後（2 回目のサービス要求かも）
- d. アクティバース 15mg ボーラス（直ちに）、次に 30 分間 50mg、次に 60 分間 35mg（2 回目のサービス要求かも）
- e. 初めにイモディウム 4mg（2 カプセル）経口、次に 2mg（1 カプセル）各軟便（unformed stool）後、1 日あたり最大 16 mg。
- f. 初日 Zithromax 500mg（2 錠剤）経口、次に 250mg（1 カプセル）経口で 1 日 1 回を 5 日間（2 回目のサービス要求かも）
- g. 禁煙の処方薬 Zyban（ブプロピオン Bupropion）150mg 経口から開始、毎午前を 3 日間、次に 150mg 経口、1 日 2 回を 7 週から 12 週間に増量。
- h. コルヒチン 1mg（2 錠）経口（すぐ）、次に 1 錠毎 1～2 時間、痛みが緩和するか、あるいは好ましくない副作用（下痢、胃腸障害）が出るまで。（2 回のサービス要求かも）
- i. 初日 doxycycline 100mg 経口、1 日 2 回、次に 100mg 経口、1 日 1 回。
- j. スコポラミン、xxx mg、術前 1 時間。相対時間 = -1^hour、優先度 = P（術前）、あるいは代替繰返しパターン = P1H^Preop、1 Hour before Surgery^99LocalCode、相対時間は空で優先度は P（術前）。

HL7 属性表 - TQ1 - Timing/Quantity タイミング/数量

SEQ	LEN	DT	OPT	JAHIS	RP/#	TBL #	ELEMENT NAME
1	4	SI	O	O			Set ID - TQ1 セットID - TQ1
2	20	CQ	O	O			Quantity 数量
3	540	RPT	O	O	Y	0335	Repeat Pattern 繰返しパターン
4	20	TM	O	O	Y		Explicit Time 明示的な時間
5	20	CQ	O	O	Y		Relative Time and Units 相対的時間と単位
6	20	CQ	O	O			Service Duration サービス期間
7	26	TS	O	C*			Start Date/Time 開始日時
8	26	TS	O	O			End Date/Time 終了日時
9	250	CWE	O	O	Y	0485	Priority 優先度
10	250	TX	O	O			Condition Text 条件テキスト
11	250	TX	O	O			Text Instruction テキスト指示
12	10	ID	C	C		0472	Conjunction 連結
13	20	CQ	O	O			Occurrence Duration 発生期間
14	10	NM	O	O			Total Occurrence's 発生総数

【生理】生理検査結果通知メッセージ（OBR-25=F）では、TQ1-7（開始日時）は値必須となるため、TQ1-7 の JAHIS 値を“C”とする。

TQ1 フィールド定義

TQ1-1 Set ID - TQ1 セットID (SI) 01627

定義：伝送された最初のタイミング指定に対してシーケンス番号は 12 番目のタイミング指定では 2、以下同様。

TQ1-2 Quantity 数量 (CQ) 01628

成分:<Quantity (NM)> ^ <Units (CE)>

副成分 for Units (CE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義:このフィールドは、サービスが各々のサービス間隔で提供されるべき数量を指定する。例えば、2つの血液培養を4時間毎に取得すべき場合、その量は2である。或いは、3ユニットの血液の血液型が判別され、クロスマッチされる場合、量は3となる。このフィールドのデフォルト値は1である。もし、複数のサービスが要求される場合、複数のサービス要求が発行され、各々のサービスに各自一意な発行者／実施者番号を与えることを強く推奨する。

TQ1-3 Repeat Pattern 繰返しパターン (RPT) 01629

成分:<Repeat Pattern Code (CWE)> ^ <Calendar Alignment (ID)> ^ <Phase Range Begin Value (NM)> ^ <Phase Range End Value (NM)> ^ <Period Quantity (NM)> ^ <Period Units (IS)> ^ <Institution Specified Time (ID)> ^ <Event (ID)> ^ <Event Offset Quantity (NM)> ^ <Event Offset Units (IS)> ^ <General Timing Specification (GTS)>

副成分 for Repeat Pattern Code (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義:その治療が実施されるべき繰返しの頻度。オーダエントリシステムで使用される頻度と SIG コード表と類似している。

このフィールドは、より複雑な繰返しパターンを構築するために繰り返される。例えば、毎日就寝時は、”|QD~HS|”と表現される。

数量タイミング指定がある期間の後、異なる繰返しパターンに変化しなければならない時、新しい TQ1 セグメントが新しい繰返しパターンを示すために使用されなければならない。現行の TQ1 の終了日は現行のタイミング指定が終了する時を示し、次の TQ1 の開始日は新しいタイミング指定が開始する時を示すことに注意すること。TQ1-I2 の結合フィールドが次の TQ1 セグメントが連続して或いは並行して実行されるかを決定する。

使用者定義表 0335 -Repeat Pattern 繰返しパターン

Value	Description	Comments
Q<整数>S	<整数>秒ごと	
Q<整数>>M	<整数>分ごと	
Q<整数>H	<整数>時間ごと	
Q<整数>D	<整数>日ごと	
Q<整数>W	<整数>週ごと	
Q<整数>L	<整数>月 (月周期) ごと	
Q<整数>J<日番号>	週の特定の曜日に繰り返す	フランス語の <i>Jour</i> (日) より。<整数>がないとき繰返し頻度は1と見なされる。<日番号>は1=月曜日から7=日曜日までである。したがって、Q2J2は2週に1度の火曜日ごととなり; Q1J6は毎日曜日となる。
BID	日に2回、施設で定められた時刻	(例、9AM-4PM)
TID	日に3回、施設で定められた時刻	(例、9AM-4PM-9PM)
QID	日に4回、施設で定められた時刻	(例、9AM-11AM-4PM-9PM)
xID	日にX回、施設で定められた時刻で、Xは数字の5より大きい	(例、5ID=日に5回; 8ID=日に8回)
QAM	朝の施設で決められた時間に	
QSHIFT	8時間の3回のシフトを1回ずつ施設で決められた時間に	
QOD	1日おきに	(Q2Dと同じ)
QHS	毎日就寝時間の前に	
QPM	夕の施設で決められて時間に	
C	サービスは開始時刻から終了時刻まで連続的に提供される	
U<spec>	将来の使用のため、<指定>はUNIXの	
U<指定>	cron仕様で定義された繰返しの指定	
PRN	必要に応じて	
PRNxxx	xxxはある繰返しコード	(例、PRNQ6H); 頻度の間隔で必要に応じて
Once	一回のみ	これもこの成分がnullの時のデフォルト
食事に関連したタイミング	<タイミング>C(“cum”) <食事>	

Value	Description	Comments
A	Ante (前)	(例、前後の食事の間、夕食と終身の間)
P	Post (後)	
I	Inter (間)	
M	Cibus Matutinus (朝食)	
D	Cibus Diurnus (昼食)	
V	Cibus Vespertinus (夕食)	

TQ1-4 Explicit Time 明示的な時間 (TM) 01630

定義：このフィールドは TQ1-3 のコードによって参照された実際の時間を明示的にリストする。このフィールドは、実際の実施時間が施設内でまちまちであるケースで TQ1-3 を明確化するために使用される。仮にサービスの時間が 1 日よりもっと長い期間を要求する場合、このフィールドはサービス要求があった各々の日に同じ実施時間が発生する場合にのみ実行が可能となる。仮にサービス要求の実際の開始時間 (TQ1-7 によって与えられる) が最初の明示的時間よりも後である場合、開始時間後の最初の明示的時間に最初の実施が行われる。患者が明示的時間の異なる組合せを持つ場所に移動したケースでは、既存のサービス要求は、変更された明示的時間を示す新しい数量/タイミングセグメントによって更新される。

使用上の注意：このフィールドは、TQ1-3 繰返しパターンが存在しない場合には値を持たない。

TQ1-5 Relative Time and Units 相対的時間と単位 (CQ) 01631

成分:<Quantity (NM)> ^ <Units (CE)>

副成分 for Units (CE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドはサービス要求或いはボトル記録のためのスケジュールの間隔を定義するために使用される。仮にこのフィールドが値を持つ場合、TQ1-4 明示的な時間間隔フィールドの値をオーバーライドする。CQ データ型の単位成分は、時間単位に制約される。

例:

TQ1|1|1|Q1H||60^min&&ANS+ - Q1H はサービス間隔 60 分ごとと定義される

TQ1|1|1|Q6H||6^hr&&ANS+ - Q6H はサービス間隔 6 時間ごとと定義される

TQ1|1|1|QD||1^d&&ANS+ - QD はサービス間隔 1 日ごとと定義される

TQ1-6 Service Duration サービス期間 (CQ) 01632

成分:<Quantity (NM)> ^ <Units (CE)>

副成分 for Units (CE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドは、サービスが要求される期間を含む。このフィールドの数量成分は、ポジティブで、ゼロでない数字でなければならない。このフィールドの単位部分は、時間の単位に制約される。

例：ワールプール (whirlpool 渦流浴) を 3 日間に 1 日 3 回 20 分間。3 日間はサービス期間。

TQ1|1||TID||3^d&&ANS+||||20^min&&ANS+|9<CR>

TQ1-7 Start Date/Time 開始日時 (TS) 01633

成分:<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは、サービスを開始すべき最早日時を示す場合に、要求者によって指定される。しかしながら、多くの場合、開始日時は暗黙的に指定されるかサービス要求レコード (例えば、緊急-STAT) によって定義される。これらの場合、このフィールドは空である。しかしながら実施サービスでは、サービス要求を受け取った後にこのフィールドに値を記録し、実施サービスの内部使用のため、開始日時を基に終了時間を計算することがよくある。

【生理】生理検査結果通知メッセージ (OBR-25="F") の場合、TQ1-7 (開始日時) を値必須とする。

TQ1-8 End Date/Time 終了日時 (TS) 01634

成分:<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：サービス要求者によって指定される場合、このフィールドはサービスが実行されるべき最遅日時を含む。仮に指定された時間までにサービスが実行されなかった場合、そのサービスは全く実行さ

れるべきではない。要求者はいつもこの値を記入するとは限らず、実施サービスが受け取った指示と実際の開始時間を基に記入するかもしれない。終了日時の値にかかわらず、サービスは期間或いは終了日時によって指定された最早日時で停止されるべきである。

TQ1-9 Priority 優先度 (CWE) 01635

成分:<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>
定義: このフィールドは、要求の優先度を記述する。仮にこのフィールドがブランクならデフォルトは R である。推奨値に関しては、「使用者定義表 0485—拡張優先度コード」を参照のこと。

使用者定義表 0485 - Extended Priority Codes 拡張優先度コード

Value	Description	Comments
S	Stat 緊急	最も高い優先度
A	ASAP できるだけ早く	S の次の優先度
R	Routine ルーチン	デフォルト
P	Preop 術前	
C	Callback 返信	
T	Timing critical タイミングが重要	できるだけ要求時間に近づけることが重要な要求。例えば、抗菌レベル
TS<integer>		タイミングは<整数値>秒以内であることが重要
TM<integer>		タイミングは<整数値>分以内であることが重要
TH<integer>		タイミングは<整数値>時間以内であることが重要
TD<integer>		タイミングは<整数値>日以内であることが重要
TW<integer>		タイミングは<整数値>週以内であることが重要
TL<integer>		タイミングは<整数値>月以内であることが重要
PRN	As needed 必要に応じて	

TQ1-10 Condition Text 条件テキスト (TX) 01636

定義: これは薬が与えられる条件を記述するフリーテキストのフィールドである。例えば、疼痛時、或いは血圧を 110 以下に保つこと。このフィールドの存在は、この薬がどのように、および／または、いつ与えられるべきかを決定するために人間のレビューが必要であるということを意味すると捉えるべきである。

TQ1-11 Text Instruction テキスト指示 (TX) 01637

定義: このフィールドは、指示のフルテキスト版である。(オプション)

TQ1-12 Conjunction 連結 (ID) 01638

定義: このフィールドは、2 番目の TQ1 セグメントが続くことを示す。可能な値に関しては「HL7 表 0472-TQ 連結 ID」を参照のこと。

HL7 表 0472 - TQ Conjunction ID TQ連結ID

Value	Description	Comments
S	同期 (Synchronous)	同期。今回の指定の後に次の指定を行う(TQ1-7—開始日時、および TQ1-8—終了日時により制限を受けなければ)。“S” 指定は、最初のタイミング・シーケンスの後に 2 番目のタイミング・シーケンスが続くことを示す。例えば、最初の 1 時間は 15 分ごとに血圧を測定し、次の日には 2 時間ごとに血圧を測定するよう依頼する。
A	非同期 (Asynchronous)	今回の指定と並行して次の指定を行う(TQ1-7—開始日時、および TQ1-8—終了日時により制限を受けなければ)。連結“A”により、投薬時などに散見される、2 つの指示の並行指定が可能になる。例えば、月曜、水曜、金曜にプレドニゾン 1 錠、火曜、木曜、土曜、日曜には 1/2 錠。
C	これは開始時間である (Actuation Time)	このコードの後はサービスの終了時間が続く。このコードにより、サービスを起動すべき (採血など) 時間・優先度から、サービスを終了すべき (結果報告など) 時間・優先度が区別できるようになる。

連続したサービスあるいは周期的なサービスの場合、サービスを実際に停止するポイントは、TQ1-8 終了日時及び TQ1-6 継続時間の、どちらかより早い停止時間を示すフィールドにより決定される。通常、この 2 つのフィールドのうち 1 つだけが存在する。条件規則: TQ1 セグメントがメッセージ内で繰り返される場合、このフィールドには次に続く TQ1 セグメントの順序を示す適切な連結コードを指定すべきである。

TQ1-13 Occurrence Duration 発生期間 (CQ) 01639

成分:<Quantity (NM)> ^ <Units (CE)>

副成分 for Units (CE):<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> &
<Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義: このフィールドはサービスの単独の実行についての期間を含んでいる。このフィールドの数量成分は、値を持つ時はポジティブかつゼロでない数字でなければならない。単位成分は、時間の単位に制約される。例えば、ワールプール (whirlpool 渦流浴) を 3 日間、1 日 20 分間を 3 回。20 分が発生時間である。

TQ1|1||TID||3^d&&ANS+||||20^min&&ANS+9<cr>

TQ1-14 Total Occurrence's 発生総数 (NM) 01640

定義: このフィールドは、サービス要求の結果であるべきサービスの発生総数を含む。仮に終了日時 (TQ1-8) と発生総数の両方が値を持ち、その発生数が終了日時を越えて延びる場合は、終了日時を優先する。その他の場合は発生数を優先する。

例: ワールプール (whirlpool 渦流浴) を 3 日間、1 日 20 分間を 3 回。総発生数が 9 回。

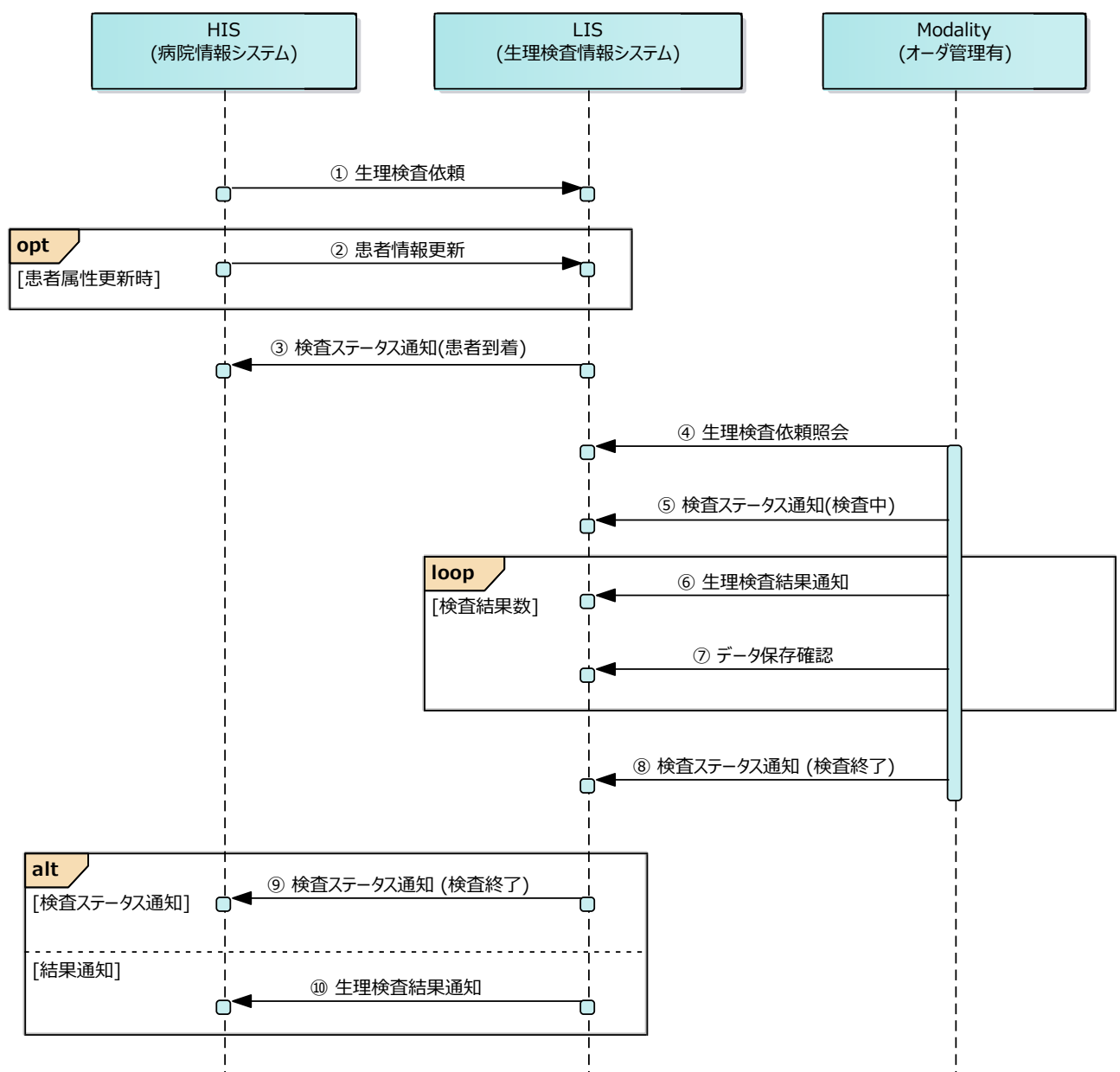
TQ1|1||TID||3^d&&ANS+||||20^min&&ANS+9<cr>

付録 - 1. 生理検査データ交換規約メッセージの例

1. 各ワークフロー

(a) 基本ワークフロー（検査室での運用を想定）

本ケースは、オンライン接続されたオーダー管理機能を有するモダリティで検査を実施する場合を想定したワークフローである。検査依頼は事前に LIS が受信し、モダリティは LIS に対象患者のオーダー情報を参照し、検査後はオーダー情報を添えて検査結果を LIS に送信する。検査終了時、モダリティは検査終了を LIS に通知し、LIS は事前に決定したメッセージを使用して HIS に対して検査終了を通知する。

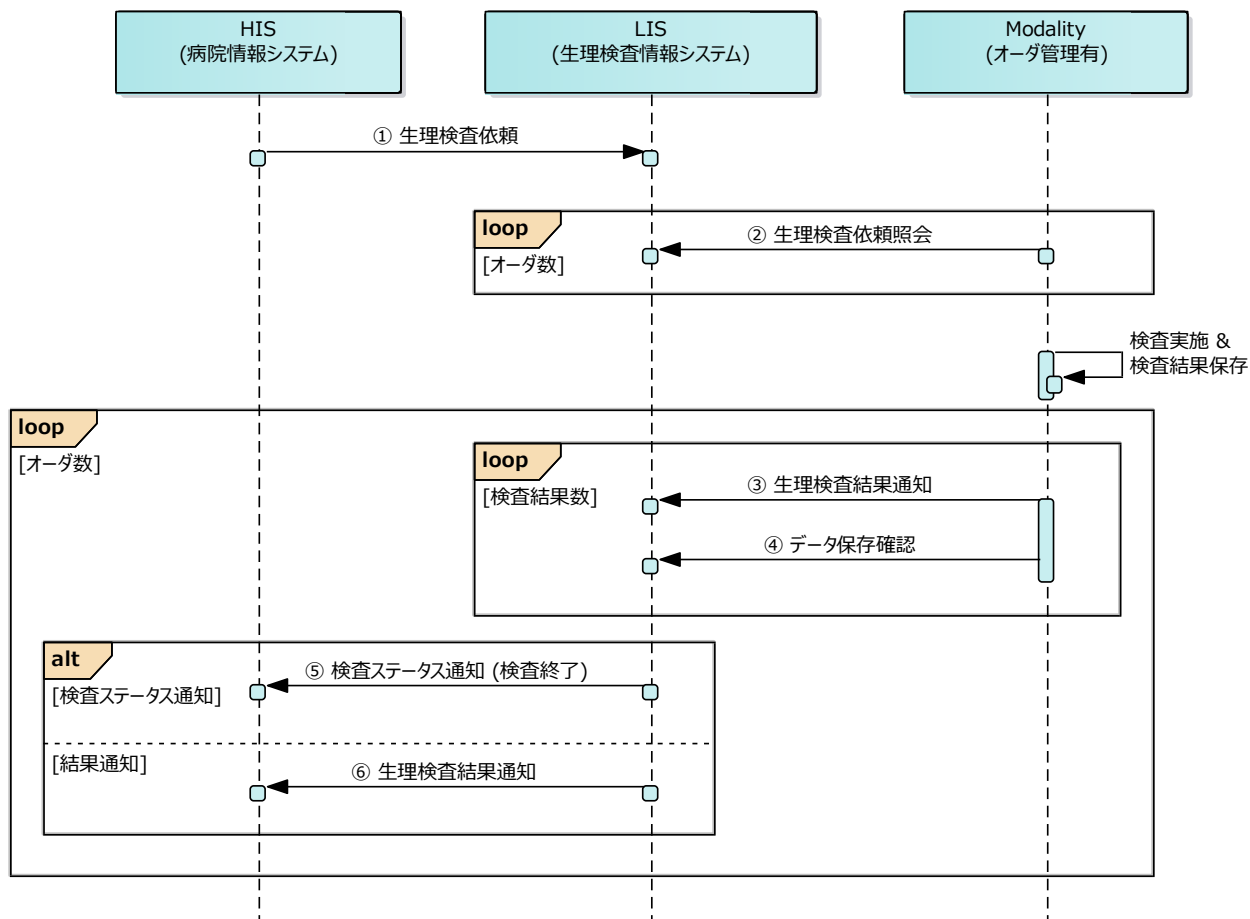


注記：本シーケンス図は、UML2.5 に則して記述している。記号の意味は、opt：オプション、loop：繰り返し、alt：選択 である。（以下、同様）

- ① 生理検査依頼：
生理検査依頼（安静時 12 誘導心電図検査オーダー等）が HIS から LIS へ送信される。
 - ② 患者情報更新：
検査実施前に患者属性情報が変更になる等した場合（例：患者が外来から入院等）、患者情報更新が HIS から LIS へ送信される。
 - ③ 検査ステータス通知（患者到着）：
患者が検査室受付に到着後、検査ステータス通知（患者到着）を LIS から HIS へ通知する。
 - ④ 生理検査依頼照会：
検査実施時にモダリティ（心電計）より LIS へ検査予定日とステータスをキーに生理検査依頼照会を行う。
 - ⑤ 検査ステータス通知（検査中）：
オーダー情報照会后、検査ステータス通知（検査中）をモダリティ（心電計）から LIS へ通知する。
 - ⑥ 生理検査結果通知：
心電図検査を実施し、生理検査結果通知にて検査結果をモダリティ（心電計）から LIS へ送信する。
 - ⑦ データ保存確認：
LIS に生理検査結果が保存されたことを確認するため、データ保存確認をモダリティ（心電計）から LIS へ送信する。（エラーの場合は、⑥生理検査結果通知に戻る。）
- ※ 運動負荷心電図検査など、検査結果を複数回送信する必要がある場合は、検査結果数分⑥と⑦を繰り返し実施する。
- ⑧ 検査ステータス通知（検査終了）：
検査ステータス通知（検査終了）をモダリティ（心電計）から LIS へ通知する。
 - ⑨ 検査ステータス通知（検査終了）：
検査ステータス通知（検査終了）を LIS から HIS へ通知する。
 - ⑩ 生理検査結果通知：
検査終了時に⑨の代わりに検査結果を生理検査結果通知にて LIS から HIS へ送信してもよい。
（検査結果が複数存在する場合はまとめて送信する。）

(b) 基本ワークフロー（病棟等での出張検査（ポータブル検査）を想定）

本ケースでは、オーダー管理機能を有するモダリティをネットワークから切り離して（オフライン）検査を実施する場合を想定したワークフローである。検査依頼は事前に LIS が受信するが、モダリティは LIS から当日実施予定のオーダー情報をまとめて参照、ダウンロードし、病棟等でオフラインでの検査を実施する。検査終了後、検査室に戻った後にオーダー情報を添えて検査結果を LIS にまとめて送信する。検査終了時、LIS は事前に決定したメッセージを使用して HIS に対して検査終了を通知する。

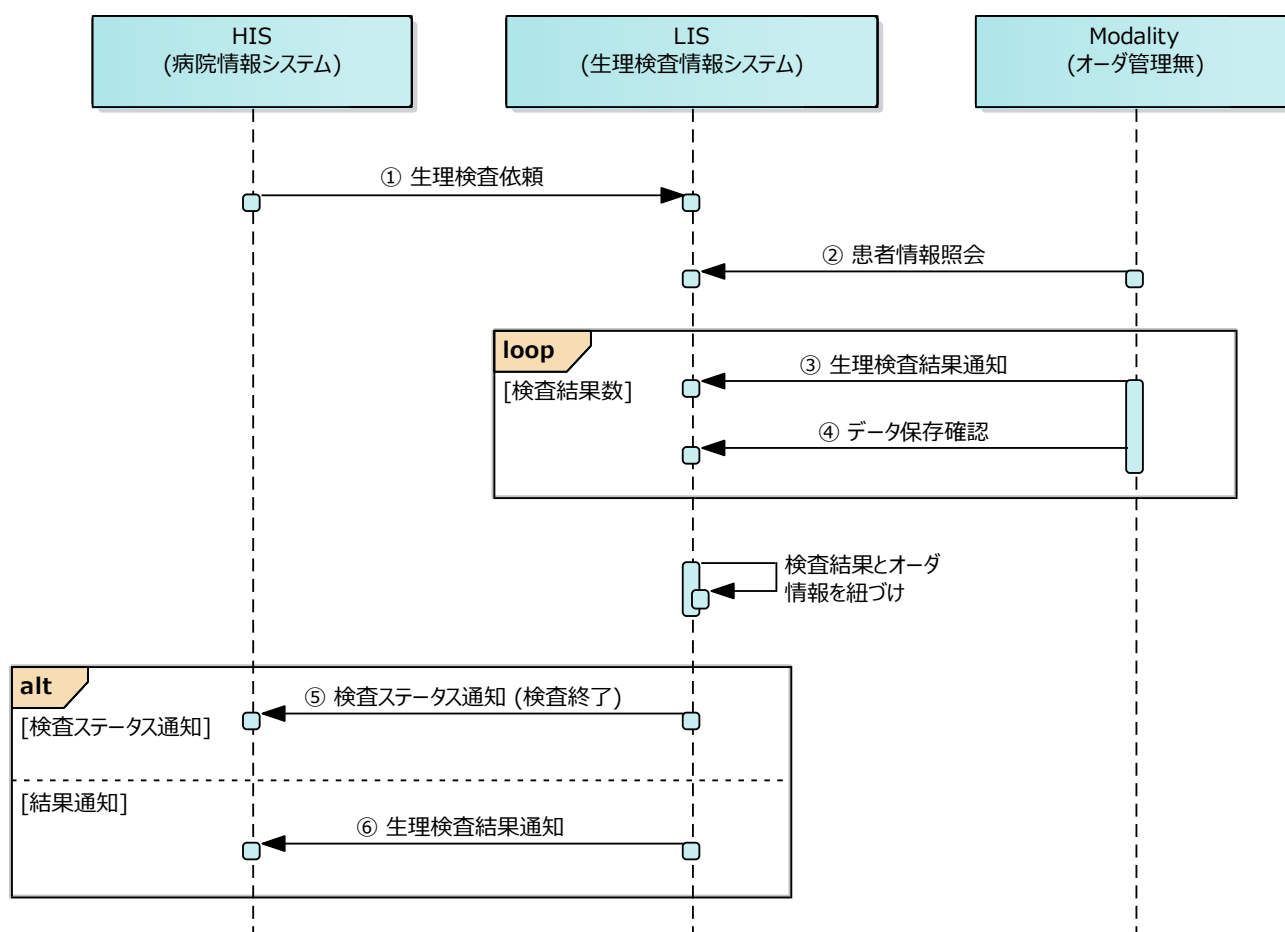


- ① 生理検査依頼：
オーダー発行の都度、生理検査依頼（安静時 12 誘導心電図検査オーダー等）が HIS から LIS へ送信される。
- ② 生理検査依頼照会：
モダリティ（心電計）より LIS へ検査予定日をキーに生理検査依頼照会を行い、検査予定のオーダー情報をモダリティ（心電計）に保存する。検査予定のオーダー情報が複数存在する場合は、②生理検査依頼照会を繰り返しても良い。
- ※ モダリティ（心電計）をネットワークから切り離して心電図検査を実施し、検査結果をモダリティ（心電計）に保存する。（検査予定のオーダーが複数存在する場合は、都度、モダリティ（心電計）を移動して検査を実施する。）
- ③ 生理検査結果通知：
モダリティ（心電計）をネットワークに接続し、生理検査結果通知にて検査結果をモダリティ（心電計）から LIS へ送信する。
- ④ データ保存確認：
LIS に生理検査結果が保存されたことを確認するため、データ保存確認をモダリティ（心電計）から LIS へ送信する。（エラーの場合は、③生理検査結果通知に戻る。）

- ※ 検査結果を複数回送信する必要がある場合、検査結果数分③～④を繰り返し実施する。
- ⑤ 検査ステータス通知（検査終了）：
実施したオーダに対して検査ステータス通知（検査終了）を LIS から HIS へ通知する。
- ⑥ 生理検査結果通知：
検査終了時に⑤の代わりに検査結果を生理検査結果通知にて LIS から HIS へ送信してもよい。
（検査結果が複数存在する場合は、まとめて送信する。）
- ※ 発行されたオーダが複数存在する場合は、オーダ数分③～⑥を繰り返し実施する。

（c）オーダ管理機能の無いモダリティ場合（患者情報のみの連携を想定）

本ケースでは、オーダ管理機能が無く患者属性のみ連携可能なモダリティで検査を実施する場合を想定したワークフローである。検査依頼は事前に LIS が受信し、モダリティは LIS にオーダ情報を照会せず、単に患者 ID から患者属性情報を照会する。検査終了後、患者属性情報を添えて検査結果を LIS に送信する。LIS は検査結果とオーダ情報の紐づけを実施し、事前に決定したメッセージを使用して HIS に対して検査終了を通知する。



- ① 生理検査依頼：
生理検査依頼（安静時 12 誘導心電図検査オーダ等）が HIS から LIS へ送信される。
- ② 患者情報照会：
モダリティ（心電計）より LIS へ患者 ID をキーに患者情報照会を行う。
- ③ 生理検査結果通知：
患者情報照会後、心電図検査を実施し、生理検査結果通知にて検査結果をモダリティ（心電計）から LIS へ送信する。

④ データ保存確認：

LIS に生理検査結果が保存されたことを確認するため、データ保存確認をモダリティ（心電計）から LIS へ送信する。（エラーの場合は、③生理検査結果通知に戻る。）

※ 運動負荷心電図検査など、検査結果を複数回送信する必要がある場合、検査結果数分③と④を繰り返し実施する。

⑤ 検査ステータス通知（検査終了）：

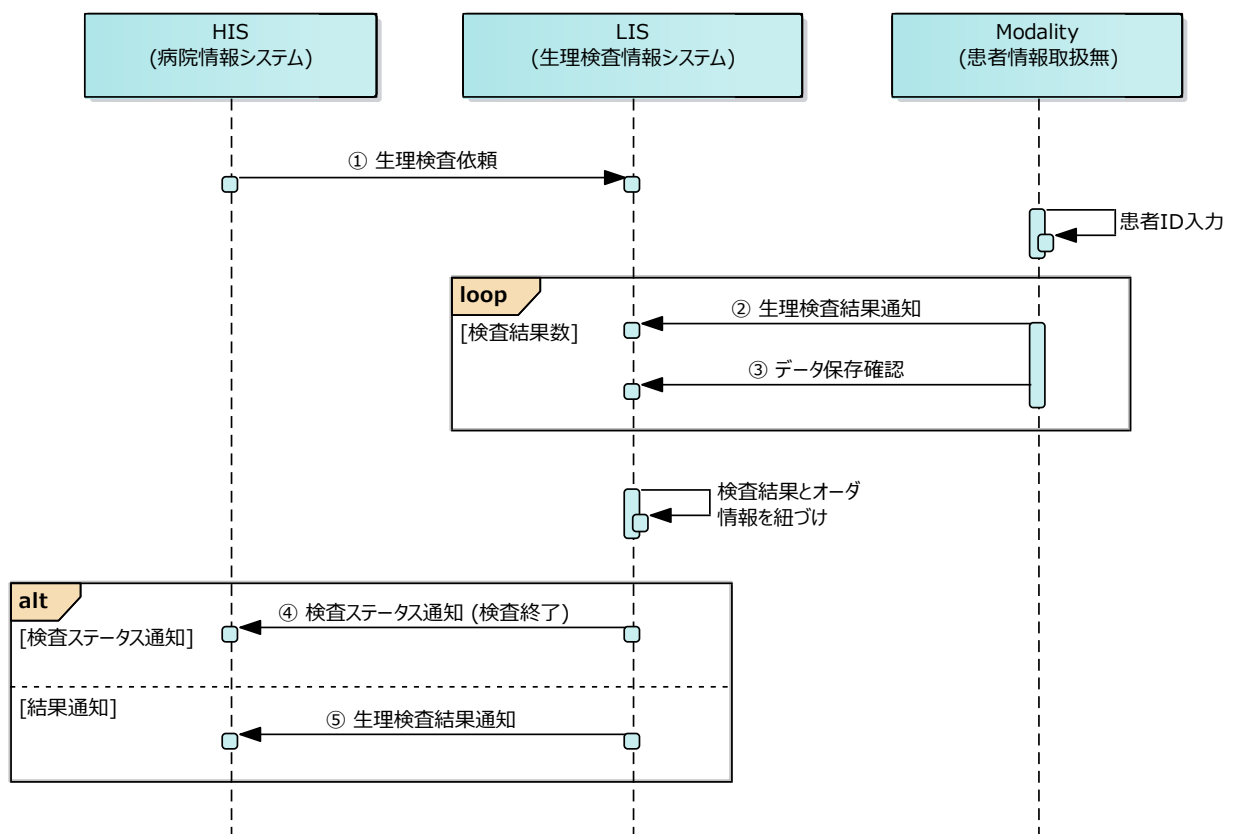
LIS にて検査結果とオーダ情報を紐づけ、検査ステータス通知（検査終了）を LIS から HIS へ通知する。

⑥ 生理検査結果通知：

検査終了時に⑤の代わりに検査結果を生理検査結果通知にて LIS から HIS へ送信してもよい。（検査結果が複数存在する場合は、まとめて送信する。）

(d) オーダ管理機能の無いモダリティの場合（患者情報連携無しを想定）

本ケースでは、LIS とオーダ情報や患者属性情報の連携機能の無いモダリティで検査を実施する場合を想定したワークフローである。検査依頼は事前に LIS が受信し、モダリティに患者属性情報を入力して検査を実施する。検査終了後、検査結果を LIS に送信する。LIS は検査結果とオーダ情報の紐づけを実施し、事前に決定したメッセージを使用して HIS に対して検査終了を通知する。



① 生理検査依頼：

生理検査依頼（安静時 12 誘導心電図検査オーダ等）が HIS から LIS へ送信される。

② 生理検査結果通知：

患者が検査室に入室後、モダリティ（心電計）に患者 ID を入力して心電図検査を実施する。検査終了後、生理検査結果通知にて検査結果をモダリティ（心電計）から LIS へ送信する。

③ データ保存確認：

LIS に生理検査結果が保存されたことを確認するため、データ保存確認をモダリティ（心電計）から

LIS へ送信する。(エラーの場合は、②生理検査結果通知に戻る。)

※ 運動負荷心電図検査など、検査結果を複数回送信する必要がある場合、検査結果数分②と③を繰り返し実施する。

④ 検査ステータス通知 (検査終了) :

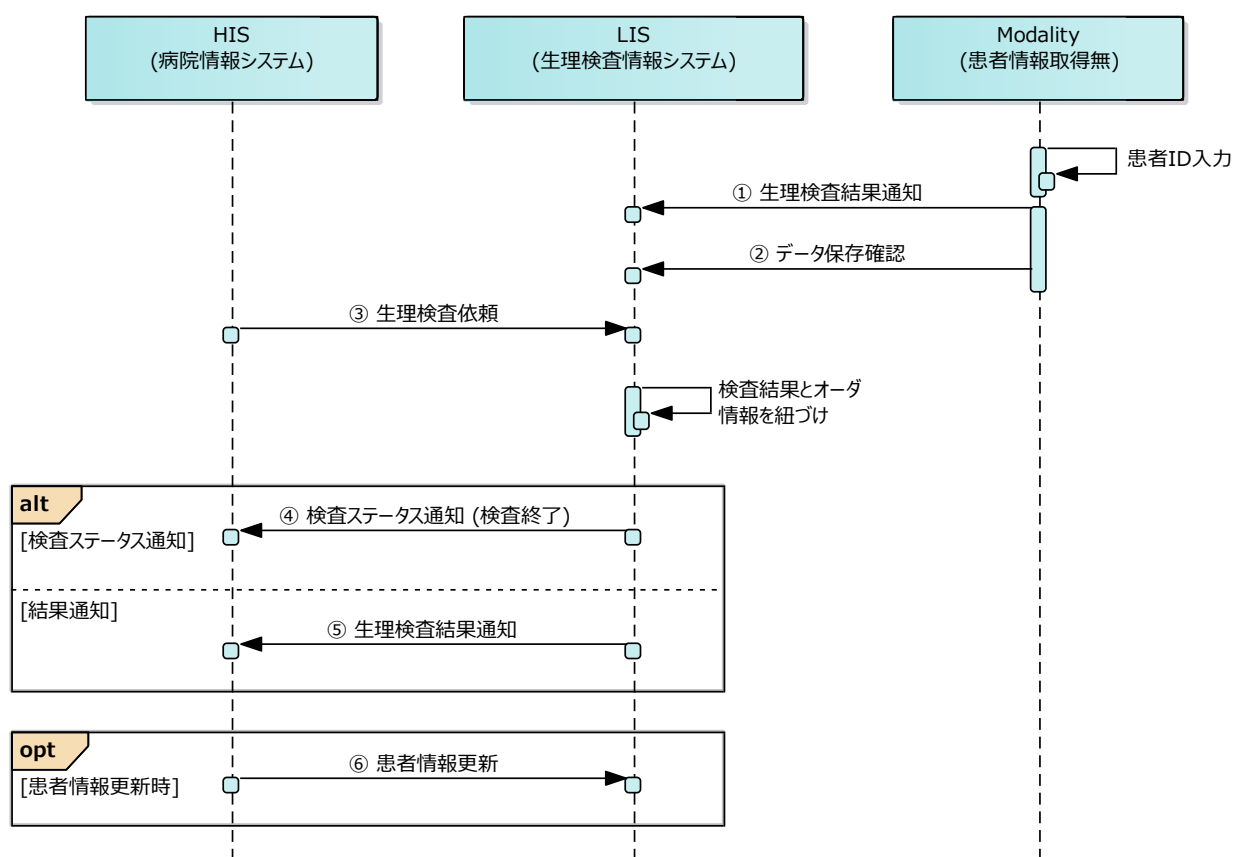
LIS にて検査結果とオーダ情報を紐づけ、検査ステータス通知 (検査終了) を LIS から HIS へ通知する。

⑤ 生理検査結果通知 :

検査終了時に④の代わりに検査結果を生理検査結果通知にて LIS から HIS へ送信してもよい。
(検査結果が複数存在する場合は、まとめて送信する。)

(e) 救急時などオーダが発行される前に検査を実施する場合

本ケースでは、救急時など緊急検査を実施する際、HIS からの検査オーダが発行される前にモダリティで検査を実施する場合を想定したワークフローである。患者が救急外来、又は検査室等に入室後、モダリティに患者 ID (仮患者 ID の場合あり) を入力して検査を実施し、検査終了後、検査結果を LIS に送信する。検査実施後に事後オーダを発行し、HIS から LIS に通知する。LIS は検査結果とオーダ情報の紐づけを実施して事前に決定したメッセージを使用して HIS に対して検査終了を通知する。患者 ID に仮患者 ID を使用した場合、正規の患者属性情報を LIS に通知する。



① 生理検査結果通知 :

患者が救急外来、又は検査室等に入室後、モダリティ (心電計) に患者 ID (仮患者 ID の場合あり) を入力して心電図検査を実施する。検査終了後、生理検査結果通知にて検査結果をモダリティ (心電計) から LIS へ送信する。

② データ保存確認 :

LIS に生理検査結果が保存されたことを確認するため、データ保存確認をモダリティ (心電計) から

LIS へ送信する。(エラーの場合は、①生理検査結果通知に戻る。)

③ 生理検査依頼：

事後オーダーとして患者 ID に患者情報とオーダー情報を添えて生理検査依頼（安静時 12 誘導心電図検査オーダー等）が HIS から LIS へ送信される。

④ 検査ステータス通知（検査終了）：

LIS にて検査結果とオーダー情報を紐づけ、検査ステータス通知（検査終了）を LIS から HIS へ通知する。

⑤ 生理検査結果通知：

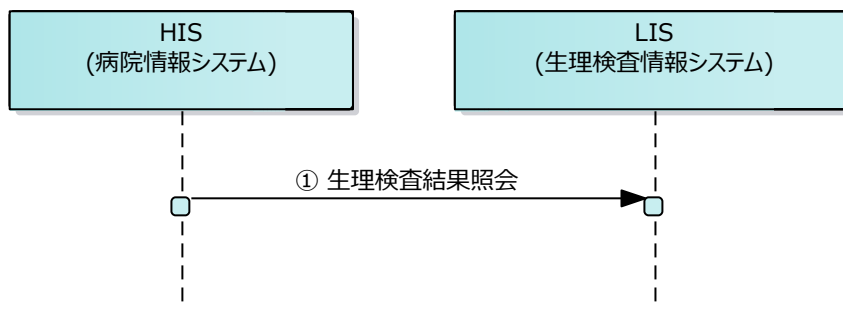
検査終了時に④の代わりに検査結果を生理検査結果通知にて LIS から HIS へ送信してもよい。
(検査結果が複数存在する場合は、まとめて送信する。)

⑥ 患者情報更新：

患者 ID に仮患者 ID を使用した場合、LIS で管理している患者情報を更新するために、患者名や生年月日、性別等の患者属性情報を患者情報更新にて HIS から LIS へ送信してもよい。

(f) 結果照会

本ケースでは、上記ケース全てにおいて、HIS が LIS に保存された検査結果を取得することを想定したワークフローである。検査データの実体を取得する場合と、URI を取得する場合があるが、本例では HIS が FTP にて実体を取得するケースになる。



① 生理検査結果照会：

HIS が LIS へ生理検査結果照会を行う。

2. メッセージ使用例

規約の解釈相違によりメッセージ送受信トラブルを避けるために、前節で記述したフロー例にもとづき、生理検査メッセージがどのように構築されるかを示す。

(a-①)：生理検査依頼（安静時 12 誘導心電図検査オーダー等）が HIS から LIS へ送信される。

送信メッセージ (HIS→LIS)

項目名	項目値	備考
患者 ID	1234567890	
患者氏名	東京太郎	
性別	男	
生年月日	1950/12/14	
患者住所	〒105-0001 東京都港区鹿ノ門 6 丁目 1 番 1 号	
電話番号 - 自宅	03-0000-0000	
患者区分	外来患者	
所属科	01	
担当医	中田隆	
依頼科	01	
オーダー制御	新規オーダー	
依頼者オーダー番号	202008210089	
入力者	中田隆	
入力場所コード	01	
検査回数	1	
優先度	通常	
検査名	標準 1 2 誘導心電図	

```
MSH|^~\&|HIS||LIS||20200821114523||OMG^O19^OMG_O19|12345678901234500002|P|2.5|||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994<CR>
PID|||1234567890^^^^PI||東京^太郎^^^^L^I~トウキョウ^タロウ
^^^^L^P~TOKYO^TARO^^^^L^A||19501214|M|||^^^^105-0001^H^東京都港区鹿ノ門 6 丁目 1 番 1 号
|^PRN^PH^^^^^^^^03-0000-0000<CR>
PV1||O|01^^^^C|||112233^中田^隆^^^^^^L^^^^^I|||01<CR>
ORC|NW|202008210089|||SC|||20200821115000|112233^中田^隆^^^^^^L^^^^^I||112233^中田^隆
^^^^^^L^^^^^I|01^^^^C|||01^内科^HL70069|||||||O^外来患者オーダー^HL70482<CR>
TQ1||1||||202008211030||R<CR>
OBR|202008210089||9A^循環器機能検査^JC10|||||||112233^中田^隆^^^^^^L^^^^^I|||||||O<CR>
ORC|PA|202008210089|||SC|||20200821115000|112233^中田^隆^^^^^^L^^^^^I||112233^中田^隆
^^^^^^L^^^^^I|01^^^^C|||01^内科^HL70069|||||||O^外来患者オーダー^HL70482<CR>
TQ1||1||||202008211030||R<CR>
OBR|202008210089||9A^循環器機能検査^JC10|||||||112233^中田^隆^^^^^^L^^^^^I|||||||O<CR>
OBX|1|NM|9M0210000000000001^体重^JC10||65.0|kg|||F<CR>
ORC|CH|202008210090|||SC|||202008210089|20200821115000|112233^中田^隆^^^^^^L^^^^^I||112233^中
田^隆^^^^^^L^^^^^I|01^^^^C|||01^内科^HL70069|||||||O^外来患者オーダー^HL70482<CR>
TQ1||1||||202008211030||R<CR>
OBR|202008210090||9A110^標準 1 2 誘導心電図^JC10|||||||112233^中田^隆
^^^^^^L^^^^^I|||||||O|||202008210089<CR>
<EOM>
```

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールドセパレータ		必須フィールド
2	符号化文字	^~¥&	必須フィールド
3	送信アプリケーション	HIS	ネットワーク全体で一意に識別可能であること
5	受信アプリケーション	LIS	ネットワーク全体で一意に識別可能であること
7	メッセージ日時	20200821114523	必須フィールド 送信システムがメッセージを作成した日時
9	メッセージ型	OMG^O19^OMG_O19	必須フィールド
10	メッセージ制御 ID	12345678901234500002	必須フィールド メッセージを一意に識別する番号または他の識別子
11	処理 ID	P	必須フィールド
12	バージョン ID	2.5	必須フィールド
18	文字セット	~ISO IR87	必須フィールド
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ PID セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	患者 ID リスト	1234567890^^^^PI	必須フィールド
5	患者氏名	東京^太郎^^^^L^I~トウキョウ^タロウ ^^^^L^P~TOKYO^TARO^^^^L^A	必須フィールド 成分: <姓>^<名>^^^^L^<名前表示コード 姓名~フリガナ~ローマ字
7	生年月日	19501214	YYYYMMDD
8	性別	M	
11	患者住所	^^^^105-0001^^H^東京都港区鹿ノ門6丁目 1 番 1 号	
13	電話番号 - 自宅	^PRN^PH^^^^^^^^^03-0000-0000	

■ PV1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	患者区分	O	必須フィールド 推奨値 「使用者定義表 004 - 患者区分」
3	患者に割り当てられた場所	01^^^^^C	入院の場合、<病棟コード>^<病室コード>^<ベッド番号>^^^N 外来の場合、<診療科コード>^^^^^C
7	担当医	112233^中田^隆^^^^^^L^^^^^I	
10	診療部門	01	推奨値 「使用者定義表 0069 - 診療部門」

■ ORC セグメント(1)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダー制御	NW	必須フィールド 「HL7 表 0119・オーダー制御コード」
2	依頼者オーダー番号	202008210089	必須フィールド 第1成分は、個々のオーダーを識別する文字列
5	オーダー状態	SC	「HL7 表 0038・オーダー状態」
9	トランザクション日時	20200821115000	必須フィールド ORC-1 に反映される現在の処理を始めるイベントの日時
10	入力者	112233^中田^隆^^^^^^L^^^^^I	要求をアプリケーションに実際に入力した人の識別情報
12	オーダー発行者	112233^中田^隆^^^^^^L^^^^^I	必須フィールド 要求を作成することに責任がある人（依頼する医師など）の識別情報
13	入力場所	01^^^^^C	要求を入力した人がオーダーを入力した時にいた物理的な場所
17	入力組織	01^内科^HL70069	依頼科
29	オーダータイプ	O^外来患者オーダー^HL70482	推奨値 「HL7 表 0482 - オーダタイプ」

■ TQ1 セグメント(1)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	数量	1	
7	開始日時	202008211030	
9	優先度	R	推奨値 「使用者定義表 0485・拡張優先度コード」

■ OBR セグメント(1)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID - 検査要求	1	
2	依頼者オーダー番号	202008210089	必須フィールド ORC-2 と同一
4	検査項目群 ID	9A^循環器機能検査^JC10	必須フィールド 要求された試験／検査／検査セットの識別子コード
16	依頼者	112233^中田^隆^^^^^^L^^^^^I	ORC-12 と同一
25	結果状態	O	「HL7 表 0123・結果状態」

■ ORC セグメント(2)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	PA	必須フィールド 「HL7 表 0119・オーダ制御コード」
2	依頼者オーダ番号	202008210089	必須フィールド 第1成分は、個々のオーダを識別する文字列
5	オーダ状態	SC	「HL7 表 0038・オーダ状態」
9	トランザクション日時	20200821115000	必須フィールド ORC-1 に反映される現在の処理を始めるイベントの日時
10	入力者	112233^中田^隆^^^^^^L^^^^^I	要求をアプリケーションに実際に入力した人の識別情報
12	オーダ発行者	112233^中田^隆^^^^^^L^^^^^I	必須フィールド 要求を作成することに責任がある人（依頼する医師など）の識別情報
13	入力場所	01^^^^^C	要求を入力した人がオーダを入力した時にいた物理的な場所
17	入力組織	01^内科^HL70069	依頼科
29	オーダタイプ	O^外来患者オーダ^HL70482	推奨値 「HL7 表 0482 - オーダタイプ」

■ TQ1 セグメント(2)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	数量	1	
7	開始日時	202008211030	
9	優先度	R	推奨値 「使用者定義表 0485・拡張優先度コード」

■ OBR セグメント(2)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID - 検査要求	2	上位 ORC に対する通番。初期値 1、増分 1。必要に応じ同一 ORC セグメントに対して 1 から付番される通し番号（オプション）。
2	依頼者オーダ番号	202008210089	必須フィールド ORC-2 と同一
4	検査項目群 ID	9A^循環器機能検査^JC10	必須フィールド 要求された試験／検査／検査セットの識別子コード
16	依頼者	112233^中田^隆^^^^^^L^^^^^I	ORC-12 と同一
25	結果状態	O	「HL7 表 0123・結果状態」

■ OBX セグメント(2-1)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	OBX セット ID	1	同一の OBR セグメントに対し 1 から付番される OBX のシーケンス番号
2	値型	NM	必須フィールド 「HL7 表 0125 - 値型」
3	検査項目	9M021000000000001^体重^JC10	必須フィールド
5	検査結果値	65.0	
6	単位	kg	
11	検査結果状態	F	必須フィールド 「HL7 表 0085 - 検査結果状態コード解釈」

■ ORC セグメント(3)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	CH	必須フィールド 「HL7 表 0119 - オーダ制御コード」
2	依頼者オーダ番号	202008210090	必須フィールド 第 1 成分は、個々のオーダを識別する文字列
5	オーダ状態	SC	「HL7 表 0038 - オーダ状態」
8	親	202008210089	親オーダの ORC-2 と同一
9	トランザクション日時	20200821115000	必須フィールド ORC-1 に反映される現在の処理を始めるイベントの日時
10	入力者	112233^中田^隆^^^^^^L^^^^^I	要求をアプリケーションに実際に入力した人の識別情報
12	オーダ発行者	112233^中田^隆^^^^^^L^^^^^I	必須フィールド 要求を作成することに責任がある人（依頼する医師など）の識別情報
13	入力場所	01^^^^^C	要求を入力した人がオーダを入力した時にいた物理的な場所
17	入力組織	01^内科^HL70069	依頼科
29	オーダタイプ	O^外来患者オーダ^HL70482	推奨値 「HL7 表 0482 - オーダタイプ」

■ TQ1 セグメント(3)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	数量	1	
9	優先度	R	推奨値 「使用者定義表 0485 - 拡張優先度コード」

■ OBR セグメント(3)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID – 検査要求	3	上位 ORC に対する通番。初期値 1、増分 1。必要に応じ同一 ORC セグメントに対して 1 から付番される通し番号（オプション）。
2	依頼者オーダ番号	202008210090	必須フィールド ORC-2 と同一
4	検査項目群 ID	9A110^標準 1 2 誘導心電図^JC10	必須フィールド 要求された試験／検査／検査セットの識別子コード
16	依頼者	112233^中田^隆^^^^^^L^^^^I	ORC-12 と同一
25	結果状態	O	「HL7 表 0123- 結果状態」
29	親番号	202008210089	ORC-8 と同一

応答メッセージ (LIS→HIS)

```
MSH|^~\&|LIS||HIS||20200821114328||ORG^O20^ORG_O20|99999999991234500002|P|2.5|||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994<CR>
MSA|AA|12345678901234500002<CR>
<EOM>
```

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールドセパレータ		必須フィールド
2	符号化文字	^~\&	必須フィールド
3	送信アプリケーション	LIS	ネットワーク全体で一意に識別可能であること
5	受信アプリケーション	HIS	ネットワーク全体で一意に識別可能であること
7	メッセージ日時	20200821114328	必須フィールド 送信システムがメッセージを作成した日時
9	メッセージ型	ORG^O20^ORG_O20	必須フィールド
10	メッセージ制御 ID	99999999991234500002	必須フィールド メッセージを一意に識別する番号または他の識別子
11	処理 ID	P	必須フィールド
12	バージョン ID	2.5	必須フィールド
18	文字セット	~ISO IR87	必須フィールド
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ MSA セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	確認応答コード	AA	必須フィールド 「HL7 表 0008 - 応答コード」
2	メッセージ制御 ID	12345678901234500002	必須フィールド 通知メッセージの MSH-10 をエコーバック

(a-②): 検査実施前に患者が外来から入院に変更になった時に患者情報更新がHISからLISへ送信される。

送信メッセージ(HIS→LIS)

項目名	項目値	備考
患者 ID	1234567890	
患者氏名	東京太郎	
性別	男	
生年月日	1950/12/14	
患者住所	〒105-0001 東京都港区鹿ノ門6丁目1番1号	
電話番号 - 自宅	03-0000-0000	
患者区分	入院患者	
所属科	01	
担当医	中田隆	
依頼科	01	
病棟	4E	
病室	136	
ベッド番号	B	

```
MSH|^~\&|HIS||LIS||20200821114323||ADT^A08^ADT_A01|12345678901234500001|P|2.5|||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994<CR>
EVN||20200821114323||01<CR>
PID||1234567890^^^^PI||東京^太郎^^^^L^I~トウキョウ^タロウ
^^^^^L^P~TOKYO^TARO^^^^^L^A||19501214|M|||^^^^105-0001^^H^東京都港区鹿ノ門6丁目1番1号
||^PRN^PH^^^^^^^^03-0000-0000<CR>
PV1||I|4E^136^B^^^N|||112233^中田^隆^^^^^^L^^^^^I|||01<CR>
<EOM>
```

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールドセパレータ		必須フィールド
2	符号化文字	^~\&	必須フィールド
3	送信アプリケーション	HIS	ネットワーク全体で一意に識別可能であること
5	受信アプリケーション	LIS	ネットワーク全体で一意に識別可能であること
7	メッセージ日時	20200821114323	必須フィールド 送信システムがメッセージを作成した日時
9	メッセージ型	ADT^A08^ADT_A01	必須フィールド
10	メッセージ制御 ID	12345678901234500001	必須フィールド メッセージを一意に識別する番号または他の識別子
11	処理 ID	P	必須フィールド
12	バージョン ID	2.5	必須フィールド
18	文字セット	~ISO IR87	必須フィールド
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ EVN セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	イベント伝送日時	20200821114323	必須フィールド トランザクションが入力されたシステムの日時
4	イベント理由コード	01	推奨値 「使用者定義表 0062・ イベント理由」
6	イベント発生日時		イベントが実際に起こった日時

■ PID セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	患者 ID リスト	1234567890^^^^PI	必須フィールド
5	患者氏名	東京^太郎^^^^L^I~トウキョウ^タロウ ^^^^L^P~TOKYO^TARO^^^^L^A	必須フィールド 成分: <姓>^<名>^^^^L^<名前表示コード 姓名~フリガナ~ローマ字
7	生年月日	19501214	YYYYMMDD
8	性別	M	
11	患者住所	東京都港区鹿ノ門6丁目1番1号	第8成分のみ使用
13	電話番号 - 自宅	^PRN^PH^^^^^^^^^03-0000-0000	

■ PV1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	患者区分	I	必須フィールド 推奨値 「使用者定義表 004・ 患者区分」
3	患者に割り当てられた場所	4E^136^B^^^N	入院の場合、<病棟コード>^<病室コード>^<ベッド番号>^^^N 外来の場合、<診療科コード>^^^^^C
7	担当医	112233^中田^隆^^^^^^L^^^^^I	
10	診療部門	01	推奨値 「使用者定義表 0069・ 診療部門」

応答メッセージ (LIS→HIS)

MSH|^~¥&|LIS||HIS||20200821114325||ACK^A08^ACK|99999999991234500001|P|2.5|||~ISO IR87||ISO
2022-1994<CR>
MSA|AA|12345678901234500001<CR>
<EOM>

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールドセパレータ		必須フィールド
2	符号化文字	^~¥&	必須フィールド
3	送信アプリケーション	LIS	ネットワーク全体で一意に識別可能であること

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
5	受信アプリケーション	HIS	ネットワーク全体で一意に識別可能であること
7	メッセージ日時	202008211114325	必須フィールド 送信システムがメッセージを作成した日時
9	メッセージ型	ACK^A08^ACK	必須フィールド
10	メッセージ制御 ID	99999999991234500001	必須フィールド メッセージを一意に識別する番号 または他の識別子
11	処理 ID	P	必須フィールド
12	バージョン ID	2.5	必須フィールド
18	文字セット	~ISO IR87	必須フィールド
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ MSA セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	確認応答コード	AA	必須フィールド 「HL7 表 0008・応答コード」
2	メッセージ制御 ID	12345678901234500001	必須フィールド 通知メッセージの MSH-10 をエコーバック

(a-③)：患者が検査室受付に到着後、検査ステータス通知（患者到着）を LIS から HIS へ通知する。

検査ステータス通知（患者到着）が、Modality→LIS→HIS という流れで処理する場合、MSH セグメントは各システムで再作成される。

送信メッセージ (LIS→HIS)

項目名	項目値	備考
患者 ID	1234567890	
患者氏名	東京太郎	
性別	男	
生年月日	1950/12/14	
患者住所	〒105-0001 東京都港区鹿ノ門6丁目1番1号	
電話番号 - 自宅	03-0000-0000	
依頼者オーダ番号	202008210089	
検査名	標準12誘導心電図	
検査ステータス	受付(到着確認)	

```
MSH|^~\&|LIS||HIS||20200821115030||ORU^R01^ORU_R01|12345678901234500003|P|2.5||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994<CR>
PID|||1234567890^^^^PI||東京^太郎^^^^L^I~トウキョウ^タロウ
^^^^L^P~TOKYO^TARO^^^^L^A||19501214|M|||^^^^105-0001^^H^東京都港区鹿ノ門6丁目1番1号
|^PRN^PH^^^^^^^^03-0000-0000<CR>
ORC|SC|202008210089||IP|||20200821115020|112233^中田^隆^^^^^^L^^^^I||112233^中田^隆
^^^^^^L^^^^I|01^^^^C|||01^内科^HL70069<CR>
OBR|1|202008210089||9A110^標準12誘導心電図^JC10|||||||112233^中田^隆
^^^^^^L^^^^I|||||||I<CR>
<EOM>
```

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールドセパレータ		必須フィールド
2	符号化文字	^~\&	必須フィールド
3	送信アプリケーション	LIS	ネットワーク全体で一意に識別可能であること
5	受信アプリケーション	HIS	ネットワーク全体で一意に識別可能であること
7	メッセージ日時	20200821115030	必須フィールド 送信システムがメッセージを作成した日時
9	メッセージ型	ORU^R01^ORU_R01	必須フィールド
10	メッセージ制御ID	12345678901234500003	必須フィールド メッセージを一意に識別する番号または他の識別子
11	処理ID	P	必須フィールド
12	バージョンID	2.5	必須フィールド
18	文字セット	~ISO IR87	必須フィールド
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ PID セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	患者 ID リスト	1234567890^^^^PI	必須フィールド
5	患者氏名	東京^太郎^^^^L^I~トウキョウ^タロウ ^^^^L^P~TOKYO^TARO^^^^L^A	必須フィールド 成分: <姓>^<名>^^^^L^<名前表示コード 姓名~フリガナ~ローマ字
7	生年月日	19501214	YYYYMMDD
8	性別	M	
11	患者住所	^^^^105-0001^^H^東京都港区鹿ノ門6丁目 1 番 1 号	
13	電話番号 - 自宅	^PRN^PH^^^^^^^^03-0000-0000	

■ ORC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	SC	必須フィールド 「HL7 表 0119 - オーダ制御コード」
2	依頼者オーダ番号	202008210089	必須フィールド 第 1 成分は、個々のオーダを識別する文字列
5	オーダ状態	IP	「HL7 表 0038 - オーダ状態」
9	トランザクション日時	20200821115020	必須フィールド ORC-1 に反映される現在の処理を始めるイベントの日時
10	入力者	112233^中田^隆^^^^^^L^^^^^I	要求をアプリケーションに実際に入力した人の識別情報
12	オーダ発行者	112233^中田^隆^^^^^^L^^^^^I	必須フィールド 要求を作成することに責任がある人（依頼する医師など）の識別情報
13	入力場所	01^^^^^C	要求を入力した人がオーダを入力した時にいた物理的な場所
17	入力組織	01^内科^HL70069	必須フィールド ORC-10 で指定した人がオーダを入力した時に属している組織

■ OBR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID - 検査要求	1	
2	依頼者オーダ番号	202008210089	必須フィールド ORC-2 と同一
4	検査項目群 ID	9A110^標準 1 2 誘導心電図^JC10	必須フィールド 要求された試験／検査／検査セットの識別子コード
16	依頼者	112233^中田^隆^^^^^^L^^^^^I	ORC-12 と同一
25	結果状態	I	「HL7 表 0123 - 結果状態」

応答メッセージ (HIS→LIS)

```
MSH|^~\&|HIS||LIS||20200821115035||ACK^R01^ACK|99999999991234500003|P|2.5|||~ISO IR87||ISO
2022-1994<CR>
MSA|AA|12345678901234500003<CR>
<EOM>
```

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールドセパレータ		必須フィールド
2	符号化文字	^~\&	必須フィールド
3	送信アプリケーション	HIS	ネットワーク全体で一意に識別可能であること
5	受信アプリケーション	LIS	ネットワーク全体で一意に識別可能であること
7	メッセージ日時	20200821115035	必須フィールド 送信システムがメッセージを作成した日時
9	メッセージ型	ACK^R01^ACK	必須フィールド
10	メッセージ制御 ID	99999999991234500003	必須フィールド メッセージを一意に識別する番号または他の識別子
11	処理 ID	P	必須フィールド
12	バージョン ID	2.5	必須フィールド
18	文字セット	~ISO IR87	必須フィールド
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ MSA セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	確認応答コード	AA	必須フィールド 「HL7 表 0008 - 応答コード」
2	メッセージ制御 ID	12345678901234500003	必須フィールド 通知メッセージの MSH-10 をエコーバック

(a-④)：検査実施時にモダリティ（心電計）より LIS へ検査予定日とステータスをキーに生理検査依頼照会を行う。

送信メッセージ (Modality→LIS)

項目名	項目値	備考
照会条件	検査予定日=2020/08/21 検査ステータス=SC(予定)	検査ステータス=IP がセットされた場合、LIS は 受付済レコードを返信するものとする。

```
MSH|^~\&|Modality||LIS||20200821115200||QBP^ZS1^QBP_Q11|12345678901234500005|P|2.5||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994<CR>
QPD|ZS1^Order Query^JHSS0002|Q001|||||20200821|20200821|SC|SCHED|ALL<CR>
RCP|I|99^RD|R^リアルタイム^HL70394<CR>
<EOM>
```

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールドセパレータ		必須フィールド
2	符号化文字	^~\&	必須フィールド
3	送信アプリケーション	Modality	ネットワーク全体で一意に識別可能であること
5	受信アプリケーション	LIS	ネットワーク全体で一意に識別可能であること
7	メッセージ日時	20200821115200	必須フィールド 送信システムがメッセージを作成した日時
9	メッセージ型	QBP^ZS1^QBP_Q11	必須フィールド
10	メッセージ制御 ID	12345678901234500005	必須フィールド メッセージを一意に識別する番号 または他の識別子
11	処理 ID	P	必須フィールド
12	バージョン ID	2.5	必須フィールド
18	文字セット	~ISO IR87	必須フィールド
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ QPD セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	メッセージ 照会名	ZS1^Order Query^JHSS0002	必須フィールド
2	照会タグ	Q001	応答と照会を突合する識別子
9	データ開始日時	20200821	検査予定日時（範囲開始）
10	データ終了日時	20200821	検査予定日時（範囲終了）
11	他の QRY 対象フィルタ	SC	「HL7 表 0038 - オーダ状態」
12	対象日時修飾子	SCHED	「HL7 表 0156 - 対象日時修飾子」
13	日時選択修飾子	ALL	「HL7 表 0158 - 日時選択修飾子」

■ RCP セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	照会優先度	I	応答のためのタイムフレーム
2	数量制限要求	99^RD	受け入れられる応答の最大長
3	応答様式	R^リアルタイム^HL70394	応答メッセージのタイミングとグルーピング

応答メッセージ (LIS→Modality)

項目名	項目値	備考
患者 ID	1234567890	
患者氏名	東京太郎	
性別	男	
生年月日	1950/12/14	
患者住所	〒105-0001 東京都港区鹿ノ門6丁目1番1号	
電話番号 - 自宅	03-0000-0000	
患者区分	入院患者	
所属科	01	
担当医	中田隆	
依頼科	01	
病棟	4E	
病室	136	
ベッド番号	B	
オーダー制御	新規オーダー	
依頼者オーダー番号	202008210089	
入力者	中田隆	
入力場所コード	診療科 (01)	
検査回数	1	
検査日時	2020/08/21	
優先度	通常	
検査名	標準 1 2 誘導心電図	

```

MSH|^~\&|LIS|Modality||20200821115230||RSP^ZS2^RSP_K11|99999999991234500005|P|2.5||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994<CR>
MSA|AA|12345678901234500005<CR>
QAK|Q001|OK|ZS1^Order Query^JHSS0002|1<CR>
QPD|ZS1^Order Query^JHSS0002|Q001|||||20200821|20200821|SC|SCHED|ALL<CR>
PID||||1234567890^^^^PI||東京^太郎^^^^L^I~トウキョウ^タロウ
^^^^L^P~TOKYO^TARO^^^^L^A||19501214|M||||^^^105-0001^^H^東京都港区鹿ノ門6丁目1番1号
|^PRN^PH^^^^^^^^03-0000-0000<CR>
PV1|1|I|4E^136^B^^N |||112233^中田^隆^^^^^^L^^^^I|||01<CR>
ORC|NW|202008210089|||SC|||20200821115000|112233^中田^隆^^^^^^L^^^^I||112233^中田^隆
^^^^^^L^^^^I|01^^^^C|||01^内科^HL70069|||||||O^外来患者オーダー^HL70482<CR>
TQ1||1||||20200821||R<CR>
OBR|1|202008210089||9A^循環器機能検査^JC10|||||||112233^中田^隆^^^^^^L^^^^I|||||||O<CR>
ORC|PA|202008210089|||SC|||20200821115000|112233^中田^隆^^^^^^L^^^^I||112233^中田^隆
^^^^^^L^^^^I|01^^^^C|||01^内科^HL70069|||||||O^外来患者オーダー^HL70482<CR>
TQ1||1||||20200821||R<CR>
OBR|2|202008210089||9A^循環器機能検査^JC10|||||||112233^中田^隆^^^^^^L^^^^I|||||||O<CR>
OBX|1|NM|9M021000000000001^体重^JC10||65.0|kg||||F<CR>
ORC|CH|202008210090|||SC|||202008210089|20200821115000|112233^中田^隆^^^^^^L^^^^I||112233^中

```

田^隆^^^^^^L^^^^^I|01^^^^^C||||01^内科^HL70069|||||||||O^外来患者オーダ^HL70482<CR>
TQ1||1|||||20200821||R<CR>
OBR|3|202008210090||9A110^標準 1 2誘導心電図^JC10|||||||||112233^中田^隆
^^^^^^L^^^^^I|||||||O|||202008210089<CR>
<EOM>

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールドセパレータ		必須フィールド
2	符号化文字	^~¥&	必須フィールド
3	送信アプリケーション	LIS	ネットワーク全体で一意に識別可能であること
5	受信アプリケーション	Modality	ネットワーク全体で一意に識別可能であること
7	メッセージ日時	20200821115230	必須フィールド 送信システムがメッセージを作成した日時
9	メッセージ型	RSP^ZS2^RSP_K11	必須フィールド
10	メッセージ制御 ID	99999999991234500005	必須フィールド メッセージを一意に識別する番号または他の識別子
11	処理 ID	P	必須フィールド
12	バージョン ID	2.5	必須フィールド
18	文字セット	~ISO IR87	必須フィールド
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ MSA セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	確認応答コード	AA	必須フィールド 「HL7 表 0008 - 応答コード」
2	メッセージ制御 ID	12345678901234500005	必須フィールド 通知メッセージの MSH-10 をエコーバック

■ QAK セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	照会タグ	Q001	照会メッセージの QPD-2 と同一である必要がある
2	照会応答状態	OK	「HL7 表 0208 - 照会応答状態」
3	メッセージ照会名	ZS1^Order Query^JHSS0002	照会メッセージの QPD-1 と同一である必要がある
4	合致データトータル数	1	

■ QPD セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	メッセージ 照会名	ZS1^Order Query^JHSS0002	必須フィールド
2	照会タグ	Q001	応答と照会を突合する識別子
9	データ開始日時	20200821	検査予定日時（範囲開始）
10	データ終了日時	20200821	検査予定日時（範囲終了）
11	他の QRY 対象フィルタ	SC	「HL7 表 0038・オーダ状態」
12	対象日時修飾子	SCHED	「HL7 表 0156・対象日時修飾子」
13	日時選択修飾子	ALL	「HL7 表 0158・日時選択修飾子」

■ PID セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	患者 ID リスト	1234567890^^^^PI	必須フィールド
5	患者氏名	東京^太郎^^^^L^I~トウキョウ^タロウ ^^^^L^P~TOKYO^TARO^^^^L^A	必須フィールド 成分：<姓>^<名>^^^^L^<名前表示コード> 姓名~フリガナ~ローマ字
7	生年月日	19501214	YYYYMMDD
8	性別	M	
11	患者住所	^^^^105-0001^^H^東京都港区鹿ノ門6丁目 1 番 1 号	
13	電話番号 - 自宅	^PRN^PH^^^^^^^^^03-0000-0000	

■ PV1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID - PV1	1	
2	患者区分	I	必須フィールド 推奨値「使用者定義表 004・患者区分」
3	患者に割り当てられた場所	4E^136^B^^N	入院の場合、<病棟コード>^<病室コード>^<ベッド番号>^^^N 外来の場合、<所属科コード>^^^^^C
7	担当医	112233^中田^隆^^^^^^L^^^^^I	
10	診療部門	01	推奨値「使用者定義表 0069・診療部門」

■ ORC セグメント(1)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダー制御	NW	必須フィールド 「HL7 表 0119・オーダー制御コード」
2	依頼者オーダー番号	202008210089	必須フィールド 第1成分は、個々のオーダーを識別する文字列
5	オーダー状態	SC	「HL7 表 0038・オーダー状態」
9	トランザクション日時	20200821115000	必須フィールド ORC-1 に反映される現在の処理を始めるイベントの日時
10	入力者	112233^中田^隆^^^^^^L^^^^^I	要求をアプリケーションに実際に入力した人の識別情報
12	依頼者	112233^中田^隆^^^^^^L^^^^^I	必須フィールド 要求を作成することに責任がある人（依頼する医師など）の識別情報
13	入力場所	01^^^^^C	要求を入力した人がオーダーを入力時にいた物理的な場所
17	入力組織	01^内科^HL70069	必須フィールド ORC-10 で指定した人がオーダーを入力した時に属している組織
29	オーダータイプ	O^外来患者オーダー^HL70482	推奨値 「HL7 表 0482 - オーダタイプ」

■ TQ1 セグメント(1)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	数量	1	
7	開始日時	20200821	検査予定日時
9	優先度	R	推奨値 「使用者定義表 0485・拡張優先度コード」

■ OBR セグメント(1)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セットID・検査要求	1	
2	依頼者オーダー番号	202008210089	必須フィールド ORC-2 と同一
4	検査項目群 ID	9A^循環器機能検査^JC10	必須フィールド 検査分類の識別子コード
16	依頼者	112233^中田^隆^^^^^^L^^^^^I	ORC-12 と同一
25	結果状態	O	「HL7 表 0038・オーダー状態」

■ ORC セグメント(2)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	PA	必須フィールド 「HL7 表 0119・オーダ制御コード」
2	依頼者オーダ番号	202008210089	必須フィールド 第1成分は、個々のオーダを識別する文字列
5	オーダ状態	SC	「HL7 表 0038・オーダ状態」
9	トランザクション日時	20200821115000	必須フィールド ORC-1 に反映される現在の処理を始めるイベントの日時
10	入力者	112233^中田^隆^^^^^^L^^^^^I	要求をアプリケーションに実際に入力した人の識別情報
12	依頼者	112233^中田^隆^^^^^^L^^^^^I	必須フィールド 要求を作成することに責任がある人（依頼する医師など）の識別情報
13	入力場所	01^^^^^C	要求を入力した人がオーダを入力時にいた物理的な場所
17	入力組織	01^内科^HL70069	必須フィールド ORC-10 で指定した人がオーダを入力した時に属している組織
29	オーダタイプ	O^外来患者オーダ^HL70482	推奨値 「HL7 表 0482 - オーダタイプ」

■ TQ1 セグメント(2)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	数量	1	
7	開始日時	20200821	検査予定日時
9	優先度	R	推奨値 「使用者定義表 0485・拡張優先度コード」

■ OBR セグメント(2)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID - 検査要求	2	
2	依頼者オーダ番号	202008210089	必須フィールド ORC-2 と同一
4	検査項目群 ID	9A^循環器機能検査^JC10	必須フィールド 検査分類の識別子コード
16	依頼者	112233^中田^隆^^^^^^L^^^^^I	ORC-12 と同一
25	結果状態	O	「HL7 表 0123・結果状態」

■ OBX セグメント(2-1)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	OBX セット ID	1	
2	値型	NM	必須フィールド 「HL7 表 0125・値型」
3	検査項目	9M021000000000001^体重^JC10	必須フィールド
5	検査結果値	65.0	
6	単位	kg	
11	検査結果状態	F	必須フィールド 「HL7 表 0085・検査結果状態コード解釈」

■ ORC セグメント(3)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	CH	必須フィールド 「HL7 表 0119・オーダ制御コード」
2	依頼者オーダ番号	202008210090	必須フィールド 第1成分は、個々のオーダを識別する文字列
5	オーダ状態	SC	「HL7 表 0038・オーダ状態」
8	親	202008210089	親オーダの ORC-2 と同一
9	トランザクション日時	20200821115000	必須フィールド ORC-1 に反映される現在の処理を始めるイベントの日時
10	入力者	112233^中田^隆^^^^^^L^^^^^I	要求をアプリケーションに実際に入力した人の識別情報
12	依頼者	112233^中田^隆^^^^^^L^^^^^I	必須フィールド 要求を作成することに責任がある人（依頼する医師など）の識別情報
13	入力場所	01^^^^^C	要求を入力した人がオーダを入力した時にいた物理的な場所
17	入力組織	01^内科^HL70069	必須フィールド ORC-10 で指定した人がオーダを入力した時に属している組織
29	オーダタイプ	O^外来患者オーダ^HL70482	推奨値 「HL7 表 0482 - オーダタイプ」

■ TQ1 セグメント(3)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	数量	1	
7	開始日時	20200821	検査予定日時
9	優先度	R	推奨値 「使用者定義表 0485・拡張優先度コード」

■ OBR セグメント(3)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セットID－ 検査要求	3	
2	依頼者オーダ番号	202008210090	必須フィールド ORC-2 と同一
4	検査項目群 ID	9A110^標準 1 2 誘導心電図^JC10	必須フィールド 検査種別の識別子コード
16	依頼者	112233^中田^隆^^^^^^L^^^^^I	ORC-12 と同一
25	結果状態	O	「HL7 表 0038・ オーダ状態」
29	親番号	202008210089	ORC-8 と同一

(a⑤)：オーダー情報照会後、検査ステータス通知（検査中）をモダリティ（心電計）から LIS へ通知する。

検査ステータス通知（検査中）が、Modality→LIS→HIS という流れで処理する場合、MSH セグメントは各システムで再作成される。

送信メッセージ (Modality→LIS)

項目名	項目値	備考
患者 ID	1234567890	
患者氏名	東京太郎	
性別	男	
生年月日	1950/12/14	
患者住所	〒105-0001 東京都港区鹿ノ門6丁目1番1号	
電話番号 - 自宅	03-0000-0000	
依頼者オーダー番号	202008210089	
検査名	標準12誘導心電図	
検査ステータス	検査中	

```
MSH|^~\&|Modality||LIS||20200821115135||ORU^R01^ORU_R01|12345678901234500004|P|2.5||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994<CR>
PID|||1234567890^^^^PI||東京^太郎^^^^L^I~トウキョウ^タロウ
^^^^L^P~TOKYO^TARO^^^^L^A||19501214|M|||^^^^105-0001^^H^東京都港区鹿ノ門6丁目1番1号
|^PRN^PH^^^^^^^^03-0000-0000<CR>
ORC|SC|202008210089||IP|||20200821115120|112233^中田^隆^^^^^^L^^^^I||112233^中田^隆
^^^^^^L^^^^I|01^^^^C|||01^内科^HL70069<CR>
OBR|1|202008210089||9A110^標準12誘導心電図^JC10|||||||112233^中田^隆
^^^^^^L^^^^I|||||||S<CR>
<EOM>
```

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールドセパレータ		必須フィールド
2	符号化文字	^~\&	必須フィールド
3	送信アプリケーション	Modality	ネットワーク全体で一意に識別可能であること
5	受信アプリケーション	LIS	ネットワーク全体で一意に識別可能であること
7	メッセージ日時	20200821115135	必須フィールド 送信システムがメッセージを作成した日時
9	メッセージ型	ORU^R01^ORU_R01	必須フィールド
10	メッセージ制御ID	12345678901234500004	必須フィールド メッセージを一意に識別する番号または他の識別子
11	処理ID	P	必須フィールド
12	バージョンID	2.5	必須フィールド
18	文字セット	~ISO IR87	必須フィールド
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ PID セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	患者 ID リスト	1234567890^^^^PI	必須フィールド
5	患者氏名	東京^太郎^^^^L^I~トウキョウ^タロウ ^^^^L^P~TOKYO^TARO^^^^L^A	必須フィールド 成分:<姓>^<名>^^^^L^<名前表示コード> 姓名~フリガナ~ローマ字
7	生年月日	19501214	YYYYMMDD
8	性別	M	
11	患者住所	^^^^105-0001^^H^東京都港区鹿ノ門6丁目 1 番 1 号	
13	電話番号 - 自宅	^PRN^PH^^^^^^^^^03-0000-0000	

■ ORC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	SC	必須フィールド 「HL7 表 0119 - オーダ制御コード」
2	依頼者オーダ番号	202008210089	必須フィールド 第 1 成分は、個々のオーダを識別する文字列
5	オーダ状態	IP	「HL7 表 0038 - オーダ状態」
9	トランザクション日時	20200821115120	必須フィールド ORC-1 に反映される現在の処理を始めるイベントの日時
10	入力者	112233^中田^隆^^^^^^L^^^^^I	要求をアプリケーションに実際に 入力した人の識別情報
12	依頼者	112233^中田^隆^^^^^^L^^^^^I	必須フィールド 要求を作成することに責任がある 人（依頼する医師など）の識別情報
13	入力場所	01^^^^^C	要求を入力した人がオーダを入力 した時にいた物理的な場所
17	入力組織	01^内科^HL70069	必須フィールド ORC-10 で指定した人がオーダを入 力した時に属している組織

■ OBR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID - 検査要求	1	
2	依頼者オーダ番号	202008210089	必須フィールド ORC-2 と同一
4	検査項目群 ID	9A110^標準 1 2 誘導心電図^JC10	必須フィールド 検査種別の識別子コード
16	依頼者	112233^中田^隆^^^^^^L^^^^^I	ORC-12 と同一
25	結果状態	S	「HL7 表 0123 - 結果状態」

応答メッセージ (LIS→Modality)

```
MSH|^~\&|LIS||Modality||20200821115140||ACK^R01^ACK|99999999991234500004|P|2.5|||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994<CR>
MSA|AA|12345678901234500004<CR>
<EOM>
```

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールドセパレータ		必須フィールド
2	符号化文字	^~\&	必須フィールド
3	送信アプリケーション	LIS	ネットワーク全体で一意に識別可能であること
5	受信アプリケーション	Modality	ネットワーク全体で一意に識別可能であること
7	メッセージ日時	20200821115140	必須フィールド 送信システムがメッセージを作成した日時
9	メッセージ型	ACK^R01^ACK	必須フィールド
10	メッセージ制御 ID	99999999991234500004	必須フィールド メッセージを一意に識別する番号または他の識別子
11	処理 ID	P	必須フィールド
12	バージョン ID	2.5	必須フィールド
18	文字セット	~ISO IR87	必須フィールド
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ MSA セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	確認応答コード	AA	必須フィールド 「HL7 表 0008 - 応答コード」
2	メッセージ制御 ID	12345678901234500004	必須フィールド 通知メッセージの MSH-10 をエコーバック

(a-⑥)：心電図検査を行い、生理検査結果通知にて検査結果をモダリティ（心電計）から LIS へ送信する。

生理検査結果通知が、Modality→LIS→HIS という流れで処理する場合、MSH セグメントは各システムで再作成される。

送信メッセージ (Modality→LIS)

項目名	項目値	備考
患者 ID	1234567890	
患者氏名	東京太郎	
性別	男	
生年月日	1950/12/14	
患者住所	〒105-0001 東京都港区鹿ノ門6丁目1番1号	
電話番号 - 自宅	03-0000-0000	
依頼者オーダ番号	202008210089	
検査名	標準12誘導心電図	
検査日時	2020/08/21 12:34:56	
測定日時	2020/08/21 12:34:56	
付帯情報データ	(メッセージ参照)	HL7 CDA R2
MFER データ	(メッセージ参照)	
DataUID	0123420150102132532123	

```

MSH|^~\&|Modality||LIS||20200821115300||ORU^R01^ORU_R01|12345678901234500006|P|2.5||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994<CR>
PID||1234567890^^^^PI||東京^太郎^^^^L^I~トウキョウ^タロウ
^^^^L^P~TOKYO^TARO^^^^L^A||19501214|M|||^^^^105-0001^^H^東京都港区鹿ノ門6丁目1番1号
|^PRN^PH^^^^^^^^03-0000-0000<CR>
OBR|1|202008210089||9A110^標準12誘導心電図^JC10||20200821123456||||||112233^中田^隆
^^^^^^L^^^^I||||||F<CR>
TQ1|1|1||||20200821123456<CR>
OBX|1|ED|MIME^MIMEPackage^JHSS0001|^multipart^x-hl7-cda-level-one^A^
MIME-Version: 1.0¥X0D0A¥
Content-Type: multipart/mixed; boundary="HL7-CDA-boundary"¥X0D0A¥
Content-Transfer-Encoding: Base64¥X0D0A¥
--HL7-CDA-boundary¥X0D0A¥
Content-Type: application/x-hl7-cda-level-one+xml¥X0D0A¥
PD94bWwgdmVyc2lvbj0iMS4wIiBlbmNvZGluZz0idXRmLTgiPz4NCjw/eGlsLXN0eWxlczhlZXQgdHlwZT0idGV4
dC94c2wiIGhyZWY9Ik5paG9uS29oZGVuLnhzbCINCiAgICAJCT8+DQo8RUNHT2JzZXJ2YXRpb24geG1sbnM9InVy
bjpobDctb3JnOnYzIiB4bWxuczp4c2k9Imh0dHA6Ly93d3cudzMub..¥X0D0A¥
--HL7-CDA-boundary¥X0D0A¥
Content-Type: application/mwf¥X0D0A¥
QCBNRlIgU3RhbmRhcmQgMTIgbGVhZHMgRUNHICAgICAgiBceTklIT04gS09IREVOXkVDR1ZpZXdeMDEtMDQtMDQ2
AQEBAGMBBAALBgH9AgAAAAwGAPfiBAAAESlMUEY9MTAwIERFRjlPTiBCRUy9NTBeSHVtIGZpbHRlciBIEUY9MC4w
NAoBAA0IAAAAAAAAAAOCgAAAAAAAAApxBDwQ10d4QWIX5hHid9hH...¥X0D0A¥
--HL7-CDA-boundary¥X0D0A¥||||F||20200821123456<CR>
OBX|2|ST|DUID^DataUID^JHSS0001||0123420150102132532123||||F||20200821123456<CR>
<EOM>

```

HL7 CDA R2をBase64 エンコードしたテキスト

MFER データをBase64 エンコードしたテキスト

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールドセパレータ		必須フィールド
2	符号化文字	^~¥&	必須フィールド
3	送信アプリケーション	Modality	ネットワーク全体で一意に識別可能であること
5	受信アプリケーション	LIS	ネットワーク全体で一意に識別可能であること
7	メッセージ日時	20200821115300	必須フィールド 送信システムがメッセージを作成した日時
9	メッセージ型	ORU^R01^ORU_R01	必須フィールド
10	メッセージ制御 ID	12345678901234500006	必須フィールド メッセージを一意に識別する番号または他の識別子
11	処理 ID	P	必須フィールド
12	バージョン ID	2.5	必須フィールド
18	文字セット	~ISO IR87	必須フィールド
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ PID セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	患者 ID リスト	1234567890^^^^PI	必須フィールド
5	患者氏名	東京^太郎^^^^L^I~トウキョウ^タロウ ^^^^L^P~TOKYO^TARO^^^^L^A	必須フィールド 成分: <姓>^<名>^^^^L^<名前表示コード> 姓名~フリガナ~ローマ字
7	生年月日	19501214	YYYYMMDD
8	性別	M	
11	患者住所	^^^^105-0001^^H^東京都港区鹿ノ門6丁目 1 番 1 号	
13	電話番号 - 自宅	^PRN^PH^^^^^^^^^03-0000-0000	

■ OBR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID - 検査要求	1	
2	依頼者オーダー番号	202008210089	必須フィールド
4	検査項目群 ID	9A110^標準 1 2 誘導心電図^JC10	必須フィールド 要求された試験/検査/検査セットの識別子コード
7	検査日時	20200901123456	存在すれば必須
16	依頼者	112233^中田^隆^^^^^^L^^^^^I	
25	結果状態	F	「HL7 表 0123 - 結果状態」

■ TQ1 セグメント(1)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	数量	1	
7	開始日時	20200821123456	検査日時

■ OBX セグメント(1)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	OBX セット ID	1	
2	値型	ED	必須フィールド 「HL7 表 0125 - 値型」
3	検査項目	MIME^MIMEPackage^JHSS0001	必須フィールド
5	検査結果値	^multipart^x-hl7-cda-level-one^A^ MIME-Version: 1.0¥X0D0A¥ Content-Type: multipart/mixed; boundary="HL7-CDA-boundary"¥X0D0A¥ Content-Transfer-Encoding: Base64¥X0D0A¥ --HL7-CDA-boundary¥X0D0A¥ Content-Type: application/x-hl7-cda-level-one+xml¥X0D0A¥ PD94bWwgdmVyc2lvbj0iMS4wLjBlbmNvZ GluZz0idXRmLTgiPz4NCjw/eG1sLXN0eW xlc2hlZXQgdHlwZT0idGV4dC94c2wiIGhy ZWY9Ik5paG9uS29oZGVuLnhzbCINCiAgI CAJCT8+DQo8RUNHT2JzZXJ2YXRpb24g eG1sbnM9InVybpbObDctb3JnOnYzLiB4bW xuczp4c2k9Imh0dHA6Ly93d3cudzMub...¥ X0D0A¥ --HL7-CDA-boundary¥X0D0A¥ Content-Type: application/mwf¥X0D0A¥ QCBNRlIgU3RhbmRhcmQgMTIgbGVhZHMgR UNHICAgICAgIBceTkltT04gS09IREVOXkVDR lZpZXdeMDEtMDQtMDQ2AQEBAgMBBAALB gH9AgAAAAwGAPfBAAAESIMUEY9MTAwIE RFRj1PTiBCRUy9NTBeSHVtIGZpbHRlcjBIUE Y9MC4wNAoBAA0IAAAAAAAAAAAOCgAAAA AAAAApxBDwQ10d4QWIX5hHid9hH...¥X0D0A ¥ --HL7-CDA-boundary¥X0D0A¥	必須フィールド HL7 CDA R2 と MFER データをそ れぞれ Base64 エンコードしたテキ ストを MIME 形式でパッケージ化
11	検査結果状態	F	必須フィールド 「HL7 表 0085 - 検査結果状態コ ード解釈」
14	検査日時	20200821123456	存在すれば必須

■ OBX セグメント(2)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	OBX セット ID	3	
2	値型	ST	必須フィールド 「HL7 表 - 0125 値型」
3	検査項目	DUID^DataUID^JHSS0001	必須フィールド
5	検査結果値	0123420150102132532123	必須フィールド
11	検査結果状態	F	必須フィールド 「HL7 表 0085 - 検査結果状態コード解釈」
14	検査日時	202008111123456	存在すれば必須

応答メッセージ (LIS→Modality)

```
MSH|^~\&|LIS||Modality||20200821115310||ACK^R01^ACK|99999999991234500006|P|2.5|||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994<CR>
MSA|AA|12345678901234500006<CR>
<EOM>
```

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールドセパレータ		必須フィールド
2	符号化文字	^~\&	必須フィールド
3	送信アプリケーション	LIS	ネットワーク全体で一意に識別可能であること
5	受信アプリケーション	Modality	ネットワーク全体で一意に識別可能であること
7	メッセージ日時	20200821115310	必須フィールド 送信システムがメッセージを作成した日時
9	メッセージ型	ACK^R01^ACK	必須フィールド
10	メッセージ制御 ID	99999999991234500006	必須フィールド メッセージを一意に識別する番号または他の識別子
11	処理 ID	P	必須フィールド
12	バージョン ID	2.5	必須フィールド
18	文字セット	~ISO IR87	必須フィールド
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ MSA セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	確認応答コード	AA	必須フィールド 「HL7 表 0008 - 応答コード」
2	メッセージ制御 ID	12345678901234500006	必須フィールド 通知メッセージの MSH-10 をエコーバック

(a-⑦) : LIS に生理検査結果が保存されたことを確認するため、データ保存確認をモダリティ（心電計）から LIS へ送信する。

送信メッセージ (Modality→LIS)

項目名	項目値	備考
確認条件	DataUID = 0123420150102132532123	

```
MSH|^~\&|Modality||LIS||20200821115500||QBP^ZS3^QBP_Q11|12345678901234500008|P|2.5||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994<CR>
QPD|ZS3^Storage Commitment^JHSS0002|Q002|0123420150102132532123<CR>
RCP|I|99^RD|R^リアルタイム^HL70394<CR>
<EOM>
```

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールドセパレータ		必須フィールド
2	符号化文字	^~\&	必須フィールド
3	送信アプリケーション	Modality	ネットワーク全体で一意に識別可能であること
5	受信アプリケーション	LIS	ネットワーク全体で一意に識別可能であること
7	メッセージ日時	20200821115500	必須フィールド 送信システムがメッセージを作成した日時
9	メッセージ型	QBP^ZS3^QBP_Q11	必須フィールド
10	メッセージ制御 ID	12345678901234500008	必須フィールド メッセージを一意に識別する番号 または他の識別子
11	処理 ID	P	必須フィールド
12	バージョン ID	2.5	必須フィールド
18	文字セット	~ISO IR87	必須フィールド
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ QPD セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	メッセージ 照会名	ZS3^Storage Commitment^JHSS0002	必須フィールド
2	照会タグ	Q002	応答と照会を突合する識別子
3	データ固有識別 ID	0123420150102132532123	検索条件

■ RCP セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	照会優先度	I	応答のためのタイムフレーム
2	数量制限要求	99^RD	受け入れられる応答の最大長
3	応答様式	R^リアルタイム^HL70394	応答メッセージのタイミングとグループینگ

応答メッセージ(LIS→Modality)

項目名	項目値	備考
データ保存確認	成功	データ保存コミット

```
MSH|^~\&|LIS||Modality||20200821115510||RSP^ZS4^RSP_K11|9999999991234500008|P|2.5||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994<CR>
MSA|AA|12345678901234500008<CR>
QAK|Q002|OK|ZS3^Storage Commitment^JHSS0002|1<CR>
QPD|ZS3^Storage Commitment^JHSS0002|Q002|0123420150102132532123<CR>
<EOM>
```

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールドセパレータ		必須フィールド
2	符号化文字	^~\&	必須フィールド
3	送信アプリケーション	LIS	ネットワーク全体で一意に識別可能であること
5	受信アプリケーション	Modality	ネットワーク全体で一意に識別可能であること
7	メッセージ日時	20200821115510	必須フィールド 送信システムがメッセージを作成した日時
9	メッセージ型	RSP^ZS4^RSP_K11	必須フィールド
10	メッセージ制御 ID	9999999991234500008	必須フィールド メッセージを一意に識別する番号 または他の識別子
11	処理 ID	P	必須フィールド
12	バージョン ID	2.5	必須フィールド
18	文字セット	~ISO IR87	必須フィールド
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ MSA セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	確認応答コード	AA	必須フィールド 「HL7 表 0008 - 応答コード」
2	メッセージ制御 ID	12345678901234500008	必須フィールド 通知メッセージの MSH-10 をエコーバック

■ QAK セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	照会タグ	Q002	確認メッセージの QPD-2 と同一である必要がある
2	照会応答状態	OK	「HL7 表 0208 - 照会応答状態」
3	メッセージ照会名	ZS3^Storage Commitment^JHSS0002	
4	合致データトータル数	1	

■ QPD セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	メッセージ 照会名	ZS3^Storage Commitment^JHSS0002	必須フィールド
2	照会タグ	Q002	応答と照会を突合する識別子
3	データ固有識別ID	0123420150102132532123	検索条件

(a-⑧)：検査ステータス通知（検査終了）をモダリティ（心電計）から LIS へ通知する。

検査ステータス通知が、Modality→LIS→HIS という流れで処理する場合、MSH セグメントは各システムで再作成される。

送信メッセージ (Modality→LIS)

項目名	項目値	備考
患者 ID	1234567890	
患者氏名	東京太郎	
性別	男	
生年月日	1950/12/14	
患者住所	〒105-0001 東京都港区鹿ノ門6丁目1番1号	
電話番号 - 自宅	03-0000-0000	
依頼者オーダー番号	201508210089	
検査名	標準12誘導心電図	
検査ステータス	検査終了	

```
MSH|^~\&|Modality||LIS||20200821115400||ORU^R01^ORU_R01|12345678901234500007|P|2.5||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994<CR>
PID|||1234567890^^^^PI||東京太郎^^^^L^I~トウキョウタロウ
^^^^L^P~TOKYO^TARO^^^^L^A||19501214|M|||^^^105-0001^^H^東京都港区鹿ノ門6丁目1番1号
||^PRN^PH^^^^^^^^03-0000-0000<CR>
ORC|SC|202008210089|||CM|||20200821114325|112233^中田隆^^^^^^L^^^^I||112233^中田隆
^^^^^^L^^^^I|01^^^^C|||01^内科^HL70069<CR>
OBR|1|202008210089||9A110^標準12誘導心電図^JC10|||||||112233^中田隆
^^^^^^L^^^^I|||||||F<CR>
<EOM>
```

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールドセパレータ		必須フィールド
2	符号化文字	^~¥&	必須フィールド
3	送信アプリケーション	Modality	ネットワーク全体で一意に識別可能であること
5	受信アプリケーション	LIS	ネットワーク全体で一意に識別可能であること
7	メッセージ日時	20200821115400	必須フィールド 送信システムがメッセージを作成した日時
9	メッセージ型	ORU^R01^ORU_R01	必須フィールド
10	メッセージ制御 ID	12345678901234500007	必須フィールド メッセージを一意に識別する番号または他の識別子
11	処理 ID	P	必須フィールド
12	バージョン ID	2.5	必須フィールド
18	文字セット	~ISO IR87	必須フィールド
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ PID セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	患者 ID リスト	1234567890^^^^PI	必須フィールド
5	患者氏名	東京^太郎^^^^L^I~トウキョウ^タロウ ^^^^L^P~TOKYO^TARO^^^^L^A	必須フィールド 成分: <姓>^<名>^^^^L^<名前表示コード> 姓名~フリガナ~ローマ字
7	生年月日	19501214	YYYYMMDD
8	性別	M	
11	患者住所	^^^^105-0001^^H^東京都港区鹿ノ門6丁目 1 番 1 号	
13	電話番号 - 自宅	^PRN^PH^^^^^^^^^03-0000-0000	

■ ORC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダー制御	SC	必須フィールド 「HL7 表 0119・オーダー制御コード」
2	依頼者オーダー番号	202008210089	必須フィールド 第1成分は、個々のオーダーを識別する文字列
5	オーダー状態	CM	「HL7 表 0038・オーダー状態」
9	トランザクション日時	20200821115120	必須フィールド ORC-1 に反映される現在の処理を始めるイベントの日時
10	入力者	112233^中田^隆^^^^^^L^^^^I	要求をアプリケーションに実際に入力した人の識別情報
12	依頼者	112233^中田^隆^^^^^^L^^^^I	必須フィールド 要求を作成することに責任がある人（依頼する医師など）の識別情報
13	入力場所	01^^^^^C	要求を入力した人がオーダー入力した時にいた物理的な場所
17	入力組織	01^内科^HL70069	必須フィールド ORC-10 で指定した人がオーダーを入力した時に属している組織

■ OBR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID・検査要求	1	
2	依頼者オーダー番号	202008210089	必須フィールド ORC-2 と同一
4	検査項目群 ID	9A110^標準 1 2 誘導心電図^JC10	必須フィールド 要求された試験／検査／検査セットの識別子コード
16	依頼者	112233^中田^隆^^^^^^L^^^^I	ORC-12 と同一
25	結果状態	F	「HL7 表 0123・結果状態」

応答メッセージ (LIS→Modality)

```
MSH|^~\&|LIS|Modality||20200821115410||ACK^R01^ACK|99999999991234500007|P|2.5|||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994<CR>
MSA|AA|12345678901234500007<CR>
<EOM>
```

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールドセパレータ		必須フィールド
2	符号化文字	^~\&	必須フィールド
3	送信アプリケーション	LIS	ネットワーク全体で一意に識別可能であること
5	受信アプリケーション	Modality	ネットワーク全体で一意に識別可能であること
7	メッセージ日時	20200821115410	必須フィールド 送信システムがメッセージを作成した日時
9	メッセージ型	ACK^R01^ACK	必須フィールド
10	メッセージ制御 ID	99999999991234500007	必須フィールド メッセージを一意に識別する番号または他の識別子
11	処理 ID	P	必須フィールド
12	バージョン ID	2.5	必須フィールド
18	文字セット	~ISO IR87	必須フィールド
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ MSA セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	確認応答コード	AA	必須フィールド 「HL7 表 0008 - 応答コード」
2	メッセージ制御 ID	12345678901234500007	必須フィールド 通知メッセージの MSH-10 をエコーバック

(a-⑨)：検査ステータス通知（検査終了）を LIS から HIS へ通知する。(a-⑧と同じ)

(a-⑧) を参照のこと。

(a-⑩)：生理検査結果通知にて検査結果を LIS から HIS へ送信する。(a-⑥と同じ)

(a-⑥) を参照のこと。

(b-①)：生理検査依頼(安静時 12 誘導心電図検査オーダー等)が HIS から LIS へ送信される。(a-①と同じ)

(a-①)を参照のこと。

(b-②)：モダリティ(心電計)より LIS へ検査予定日をキーに生理検査依頼照会を行い、検査予定のオーダー情報(複数)をモダリティ(心電計)に保存する。(a-④と同じ)

(a-④)を参照のこと。

(b-③)：モダリティ(心電計)をネットワークに接続し、生理検査結果通知にて検査結果をモダリティ(心電計)から LIS へ送信する。(a-⑥と同じ)

(a-⑥)を参照のこと。

(b-④)：LIS に生理検査結果が保存されたことを確認するため、データ保存確認をモダリティ(心電計)から LIS へ送信する。(a-⑦と同じ)

(a-⑦)を参照のこと。

(b-⑤)：実施したオーダーに対して検査ステータス通知(検査終了)を LIS から HIS へ通知する。(a-⑨と同じ)

(a-⑨)を参照のこと。

(b-⑥)：生理検査結果通知にて検査結果を LIS から HIS へ送信する。(a-⑩と同じ)

(a-⑩)を参照のこと。

(c-①)：生理検査依頼(安静時 12 誘導心電図検査オーダー等)が HIS から LIS へ送信される。(a-①と同じ)

(a-①)を参照のこと。

(c-②)：検査実施前にモダリティ(心電計)より LIS へ患者 ID をキーに患者情報照会を行う。

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.3「付録 - 1 メッセージ例」を参照のこと。

(c-③)：患者情報照会后、心電図検査を実施し、生理検査結果通知にて検査結果をモダリティ(心電計)から LIS へ送信する。(a-⑥と同じ)

(a-⑥)を参照のこと。

(c-④) : LIS に生理検査結果が保存されたことを確認するため、データ保存確認をモダリティ (心電計) から LIS へ送信する。(a-⑦と同じ)

(a-⑦) を参照のこと。

(c-⑤) : 実施したオーダに対して検査ステータス通知 (検査終了) を LIS から HIS へ通知する。(a-⑨と同じ)

(a-⑨) を参照のこと。

(c-⑥) : 生理検査結果通知にて検査結果を LIS から HIS へ送信する。(a-⑩と同じ)

(a-⑩) を参照のこと。

(d-①) : 生理検査依頼 (安静時 12 誘導心電図検査オーダ等) が HIS から LIS へ送信される。(a-①と同じ)

(a-①) を参照のこと。

モダリティ（心電計）には患者属性情報として患者IDのみ入力する。

項目名	項目値	備考
患者 ID	1234567890	
検査名	標準 1 2 誘導心電図	
検査日時	2020/08/21 12:34:56	
測定日時	2020/08/21 12:34:56	
付帯情報データ	(メッセージ参照)	HL7 CDA R2
MFER データ	(メッセージ参照)	
DataUID	0123420150102132532123	

HL7 CDA R2をBase64 エンコード
したテキスト

MFERデータをBase64エンコードしたテキスト

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールドセパレータ		必須フィールド
2	符号化文字	^~¥&	必須フィールド
3	送信アプリケーション	Modality	ネットワーク全体で一意に識別可能であること
5	受信アプリケーション	LIS	ネットワーク全体で一意に識別可能であること
7	メッセージ日時	20200821115300	必須フィールド 送信システムがメッセージを作成した日時
9	メッセージ型	ORU^R01^ORU_R01	必須フィールド
10	メッセージ制御 ID	12345678901234500006	必須フィールド メッセージを一意に識別する番号または他の識別子

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
11	処理 ID	P	必須フィールド
12	バージョン ID	2.5	必須フィールド
18	文字セット	~ISO IR87	必須フィールド
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ PID セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	患者 ID リスト	1234567890^^^^PI	必須フィールド

■ OBR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID - 検査要求	1	
4	検査項目群 ID	9A110^標準 1 2 誘導心電図^JC10	必須フィールド 要求された試験／検査／検査セットの識別子コード
7	検査日時	20200901123456	存在すれば必須
25	結果状態	F	「HL7 表 0123 - 結果状態」

■ TQ1 セグメント(1)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	数量	1	
7	開始日時	20200821123456	検査日時

■ OBX セグメント(1)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	OBX セット ID	1	
2	値型	ED	必須フィールド 「HL7 表 0125 - 値型」
3	検査項目	MIME^MIMEPackage^JHSS0001	必須フィールド
5	検査結果値	^multipart^x-hl7-cda-level-one^A^ MIME-Version: 1.0¥X0D0A¥ Content-Type: multipart/mixed; boundary="HL7-CDA-boundary"¥X0D0A¥ Content-Transfer-Encoding: Base64¥X0D0A¥ --HL7-CDA-boundary¥X0D0A¥ Content-Type: application/x-hl7-cda-level-one+xml¥X0D0A¥ PD94bWwgdmVyc2lvbj0iMS4wIiBlbmNvZ GluZz0idXRmLTgiPz4NCjw/eG1sLXN0eW xlc2hlZXQgdHlwZT0idGV4dC94c2wiGhy ZWY9Ik5paG9uS29oZGVuLnhzbCINCiAgI CAJCT8+DQo8RUNHT2JzZXJ2YXRpb24g eG1sbnM9InVybjpobDctb3JnOnYzLiB4bW xuczp4c2k9Imh0dHA6Ly93d3cudzMub...¥ X0D0A¥	必須フィールド HL7 CDA R2 と MFER データをそ れぞれ Base64 エンコードしたテキ ストを MIME 形式でパッケージ化

		--HL7-CDA-boundary¥X0D0A¥ Content-Type: application/mwf¥X0D0A¥ QCBNRlIgU3RhbmRhcmQgMTIgbGVhZHMgR UNHICAgICAgIBceTkIIT04gS09IREVOXkVDR 1ZpZXdeMDEtMDQtMDQ2AQEBAgMBBAALB gH9AgAAAAwGAPfiBAAAESIMUEY9MTAwIE RFRj1PTiBCRUy9NTBeSHVtIGZpbHRlciBIUE Y9MC4wNAoBAA0IAAAAAAAAAAAOCgAAAA AAAApXBDwQ10d4QWIX5hHid9hH...¥X0D0A¥ ¥ --HL7-CDA-boundary¥X0D0A¥	
11	検査結果状態	F	必須フィールド 「HL7 表 0085 - 検査結果状態コード解釈」
14	検査日時	20200821123456	存在すれば必須

■ OBX セグメント(2)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	OBX セット ID	3	
2	値型	ST	必須フィールド 「HL7 表 0125 - 値型」
3	検査項目	DUID^DataUID^JHSS0001	必須フィールド
5	検査結果値	0123420150102132532123	必須フィールド
11	検査結果状態	F	必須フィールド 「HL7 表 0085 - 検査結果状態コード解釈」
14	検査日時	202000811123456	存在すれば必須

応答メッセージ (LIS→Modality)

```
MSH|^~\&|LIS||Modality||20200821115310||ACK^R01^ACK|99999999991234500006|P|2.5|||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994<CR>
MSA|AA|12345678901234500006<CR>
<EOM>
```

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールドセパレータ		必須フィールド
2	符号化文字	^~\&	必須フィールド
3	送信アプリケーション	LIS	ネットワーク全体で一意的に識別可能であること
5	受信アプリケーション	Modality	ネットワーク全体で一意的に識別可能であること
7	メッセージ日時	20200821115310	必須フィールド 送信システムがメッセージを作成した日時
9	メッセージ型	ACK^R01^ACK	必須フィールド
10	メッセージ制御 ID	99999999991234500006	必須フィールド メッセージを一意的に識別する番号または他の識別子
11	処理 ID	P	必須フィールド
12	バージョン ID	2.5	必須フィールド
18	文字セット	~ISO IR87	必須フィールド
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ MSA セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	確認応答コード	AA	必須フィールド 「HL7 表 0008 - 応答コード」
2	メッセージ制御 ID	12345678901234500006	必須フィールド 通知メッセージの MSH-10 をエコーバック

(d-③) : LIS に生理検査結果が保存されたことを確認するため、データ保存確認をモダリティ (心電計) から LIS へ送信する。(a-⑦と同じ)

(a-⑦) を参照のこと。

(d-④) : LIS にて検査結果とオーダ情報を紐づけ、検査ステータス通知 (検査終了) を LIS から HIS へ通知する。(a-⑨と同じ)

(a-⑨) を参照のこと。

(d-⑤)：生理検査結果通知にて検査結果を LIS から HIS へ送信する。(a-⑩と同じ)

(a-⑩) を参照のこと。

(e-①)：検査終了後、生理検査結果通知にて検査結果をモダリティ（心電計）から LIS へ送信する。(d-②と同じ)

(d-②) を参照のこと。

(e-②)：LIS に生理検査結果が保存されたことを確認するため、データ保存確認をモダリティ（心電計）から LIS へ送信する。(a-⑦と同じ)

(a-⑦) を参照のこと。

(e-③)：事後オーダとして患者 ID に患者情報とオーダ情報を添えて生理検査依頼（安静時 12 誘導心電図検査オーダ等）が HIS から LIS へ送信される。(a-①と同じ)

(a-①) を参照のこと。

(e-④)：LIS にて検査結果とオーダ情報を紐づけ、検査ステータス通知（検査終了）を LIS から HIS へ通知する。(a-⑨と同じ)

(a-⑨) を参照のこと。

(e-⑤)：生理検査結果通知にて検査結果を LIS から HIS へ送信する。(a-⑩と同じ)

(a-⑩) を参照のこと。

(e-⑥)：仮患者 ID を使用した場合、患者情報更新にて患者属性情報を HIS から LIS へ送信される。

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.3「付録 - 1 メッセージ例」を参照のこと。

(f①) : HIS が LIS へ生理検査結果照会を行う。

送信メッセージ (HIS→LIS)

項目名	項目値	備考
照会条件	患者 ID = 1234567890 依頼者オーダー番号=0123456789	

MSH|^~\&|HIS||LIS||20200821120000||QRY^R02^QRY_R02|12345678901234600000|P|2.5|||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994<CR>

QRD|20200821120000|R|I|OSQ015820||999^RD|1234567890^東京^太郎|RES|0123456789<CR>

QRF|EKG||||CM<CR>

<EOM>

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールドセパレータ		必須フィールド
2	符号化文字	^~\&	必須フィールド
3	送信アプリケーション	HIS	ネットワーク全体で一意に識別可能であること
5	受信アプリケーション	LIS	ネットワーク全体で一意に識別可能であること
7	メッセージ日時	20150821120000	必須フィールド 送信システムがメッセージを作成した日時
9	メッセージ型	QRY^R02^QRY_R02	必須フィールド
10	メッセージ制御 ID	12345678901234600000	必須フィールド メッセージを一意に識別する番号 または他の識別子
11	処理 ID	P	必須フィールド
12	バージョン ID	2.5	必須フィールド
18	文字セット	~ISO IR87	必須フィールド
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ QRD セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	照会日時	20200821120000	必須フィールド 照会を作成した日時
2	照会フォーマットコード	R	必須フィールド 「HL7 表 0106 - 照会応答フォーマットコード」
3	照会優先度	I	必須フィールド 「HL7 表 0091 - 照会優先度」
4	照会 ID	OSQ015820	必須フィールド 照会に対し一意の識別子
7	数量制限請求	999^RD	必須フィールド
8	対象人物フィルタ	1234567890^東京^太郎	必須フィールド 対象人物、あるいは誰に関する照会かを識別 (患者 ID)^(姓)^(名)
9	対象フィルタ	RES	必須フィールド 「HL7 表 0048 - 対象主題フィルタ」 RES (結果) を指定
10	対象部門データコード	0123456789	必須フィールド 依頼者オーダ番号を指定

■ QRF セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	対象場所フィルタ	EKG	必須フィールド 問合せが関連する部門、システム、サブシステムを識別
5	他の QRY 対象フィルタ	CM	照会条件に検査ステータスを指定したい場合は CM(検査終了)固定

応答メッセージ (LIS→HIS)

項目名	項目値	備考
患者 ID	1234567890	
患者氏名	東京太郎	
性別	男	
生年月日	1950/12/14	
患者住所	〒105-0001 東京都港区鹿ノ門6丁目1番1号	
電話番号 - 自宅	03-0000-0000	
依頼者オーダー番号	202008210089	
検査名	標準12誘導心電図	
検査日時	2020/08/21 12:34:56	
測定日時	2020/08/21 12:34:56	
MFER データ	(メッセージ参照)	
付帯情報データ	(メッセージ参照)	HL7 CDA R2

```

MSH|^~&|LIS|HIS||20200821120001||ORF^R04^ORF_R04|99999999991234600001|P|2.5|||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994<CR>
MSA|AA|12345678901234600000<CR>
QRD|20200821120000|R|I|OSQ015820|||999^RD|1234567890^東京^太郎|RES|0123456789<CR>
PID|||1234567890^^^^PI||東京^太郎^^^^^L^I~トウキョウ^タロウ
^^^^^L^P~TOKYO^TARO^^^^^L^A||19501214|M|||^^^^105-0001^^H^東京都港区鹿ノ門6丁目1番1号
|^PRN^PH^^^^^^^^03-0000-0000<CR>
OBR|1|202008210089||9A110^標準12誘導心電図^JC10|||20200821123456||||||||112233^中田^隆
^^^^^^L^^^^^I|||||||F<CR>
TQ1||1||||20200821123456<CR>
OBX|1|ED|MIME^MIMEPackage^JHSS0001|^multipart^x-hl7-cda-level-one^A^
MIME-Version: 1.0¥X0D0A¥
Content-Type: multipart/mixed; boundary="HL7-CDA-boundary"¥X0D0A¥
Content-Transfer-Encoding: Base64¥X0D0A¥
--HL7-CDA-boundary¥X0D0A¥
Content-Type: application/x-hl7-cda-level-one+xml¥X0D0A¥
PD94bWwgdmVyc2lvbjo0iMS4wIiBlbmNvZGluc2Z0idXRmLTgiPz4NCjw/eGlsLXN0eWwlc2hlZXQgdHlwZT0idGV4
dC94c2wiIGhyZWY9Ik5paG9uS29oZGVuLnhzbCINCiAgICAgJCT8+DQo8RUNHT2JzZXJ2YXRpb24geGlsbnM9InVy
bjpobDctb3JnOnYzIiB4bWwuczc2c2k9Imh0dHA6Ly93d3cudzMub...¥X0D0A¥
--HL7-CDA-boundary¥X0D0A¥
Content-Type: application/mwf¥X0D0A¥
QCBNRlIlgU3RhbmRhcMqGmTIGbGVhZHMgRUNHICAgICAgIBceTklIT04gS09IREVOXkVDR1ZpZXdeMDEtMDQtMDQ2
AQEBAGMBBAALBgH9AgAAAAwGAPfiBAAAESLMUEY9MTAwIERERj1PTiBCRUy9NTBeSHVtIGZpbHRlciBlUEY9MC4w
NAoBAA0IAAAAAAAAAAOCgAAAAAAAAApxBDwQ10d4QWIX5hHid9hH...¥X0D0A¥
--HL7-CDA-boundary¥X0D0A¥|||||F|||20200821123456<CR>
OBX|2|ST|DUID^DataUID^JHSS0001||0123420150102132532123||||||F|||20200821123456<CR>
<EOM>

```

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールドセパレータ		必須フィールド
2	符号化文字	^~¥&	必須フィールド
3	送信アプリケーション	LIS	ネットワーク全体で一意に識別可能であること
5	受信アプリケーション	HIS	ネットワーク全体で一意に識別可能であること

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
7	メッセージ日時	20200821120010	必須フィールド 送信システムがメッセージを作成した日時
9	メッセージ型	ORF^R04^ORF_R04	必須フィールド
10	メッセージ制御 ID	99999999991234600001	必須フィールド メッセージを一意に識別する番号 または他の識別子
11	処理 ID	P	必須フィールド
12	バージョン ID	2.5	必須フィールド
18	文字セット	~ISO IR87	必須フィールド
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ MSA セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	確認応答コード	AA	必須フィールド 「HL7 表 0008 - 応答コード」
2	メッセージ制御 ID	12345678901234600000	確認メッセージの MSH-10 をエコーバック。

■ QRD セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	照会日時	20200821120000	必須フィールド 照会を作成した日時
2	照会フォーマットコード	R	必須フィールド 「HL7 表 0106 - 照会応答フォーマットコード」
3	照会優先度	I	必須フィールド 「HL7 表 0091 - 照会優先度」
4	照会 ID	OSQ015820	必須フィールド 照会に対し一意の識別子
7	数量制限請求	999^RD	必須フィールド
8	対象人物フィルタ	1234567890^東京^太郎	必須フィールド 対象人物、あるいは誰に関する照会かを識別 (患者 ID)^(姓)^(名)
9	対象フィルタ	RES	必須フィールド 「HL7 表 0048 - 対象主題フィルタ」 RES (結果) を指定
10	対象部門データコード	0123456789	必須フィールド 依頼者オーダ番号を指定

■ PID セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	患者 ID リスト	1234567890^^^^PI	必須フィールド
5	患者氏名	東京^太郎^^^^L^I~トウキョウ^タロウ ^^^^L^P~TOKYO^TARO^^^^L^A	必須フィールド 成分: <姓>^<名>^^^^L^<名前表示コード 姓名~フリガナ~ローマ字
7	生年月日	19501214	YYYYMMDD
8	性別	M	
11	患者住所	^^^^105-0001^^H^東京都港区鹿ノ門6丁目 1 番 1 号	
13	電話番号 - 自宅	^PRN^PH^^^^^^^^^03-0000-0000	

■ OBR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID - 検査要求	1	
2	依頼者オーダ番号	202008210089	必須フィールド ORC-2 と同一
4	検査項目群 ID	9A110^標準 1 2 誘導心電図^JC10	必須フィールド 要求された試験/検査/検査セットの識別子コード
7	検査日時	20200821123456	
16	依頼者	112233^中田^隆^^^^^^L^^^^^I	ORC-12 と同一
25	結果状態	F	「HL7 表 0123 - 結果状態」

■ TQ1 セグメント(1)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	数量	1	
7	開始日時	20200821123456	検査日時

■ OBX セグメント(1)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	OBX セット ID	1	
2	値型	ED	必須フィールド 「HL7 表 0125 - 値型」
3	検査項目 ID	MIME^MIMEPackage^JHSS0001	必須フィールド
5	検査結果値	^multipart^x-hl7-cda-level-one^A^ MIME-Version: 1.0¥X0D0A¥ Content-Type: multipart/mixed; boundary="HL7-CDA-boundary"¥X0D0A¥ Content-Transfer-Encoding: Base64¥X0D0A¥ -HL7-CDA-boundary¥X0D0A¥ Content-Type: application/x-hl7-cda-level-one+xml¥X0D0A¥ PD94bWwgdmVyc2lvbj0iMS4wLiBlbmNvZ	必須フィールド HL7 CDA R2 と MFER データをそれぞれ Base64 エンコードしたテキストを MIME 形式でパッケージ化

		GluZz0idXRmLTgiPz4NCjw/eG1sLXN0eW xlc2hlZXQgdHlwZT0idGV4dC94c2wiIGhy ZWY9Ik5paG9uS29oZGVuLnzhbCINCiAgI CAJCT8+DQo8RUNHT2JzZXJ2YXRpb24g eG1sbnM9InVybjpobDctb3JnOnYzLiB4bW xuczp4c2k9Imh0dHA6Ly93d3cudzMub...¥ X0D0A¥ --HL7-CDA-boundary¥X0D0A¥ Content-Type: application/mwf¥X0D0A¥ QCBNRlIgU3RhbmRhcmQgMTIgbGVhZHMgR UNHICAgICAgIBceTkIIT04gS09IREVOXkVDR 1ZpZXdeMDEtMDQtMDQ2AQEBAgMBBAALB gH9AgAAAAwGAPfBAAAESIMUEY9MTAwIE RFRj1PTiBCRUy9NTBeSHVtIGZpbHRlciBIUE Y9MC4wNAoBAA0IAAAAAAAAAAOCgAAAA AAAApXBDwQ10d4QWIX5hHid9hH...¥X0D0A ¥ --HL7-CDA-boundary¥X0D0A¥	
11	検査結果状態	F	必須フィールド 「HL7 表 0085 - 検査結果状態コード解釈」
14	検査日時	20200821123456	存在すれば必須

■ OBX セグメント(2)

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	OBX セット ID	3	
2	値型	ST	必須フィールド 「HL7 表 0125 - 値型」
3	検査項目	DUID^DataUID^JHSS0001	必須フィールド
5	検査結果値	0123420150102132532123	必須フィールド
11	検査結果状態	F	必須フィールド 「HL7 表 0085 - 検査結果状態コード解釈」
14	検査日時	20200821123456	存在すれば必須

該当検査が無く、“ゼロ件”である旨応答する場合

リクエストされた条件に対する結果がゼロ件であった場合、OBR-25（結果状態）の値に”Z”（No record of this patient(Used only on queries)）をセットする。この場合、応答メッセージ例は以下となる。

```

MSH|^~¥&|LIS||HIS||20200821120010||ORF^R04^ORF_R04|9999999991234600001|P|2.5||||~ISO
IR87||
ISO 2022-1994<CR>
MSA|AA|12345678901234600000<CR>
QRD|20200821120000|R|I|OSQ015820|||999^RD|1234567890^東京^太郎|RES|0123456789<CR>
PID|||1234567890^^^^PI||東京^太郎^^^^L^I~トウキョウ^タロウ
^^^^L^P~TOKYO^TARO^^^^L^A||19501214|M|||^^^^105-0001^^H^東京都港区鹿ノ門6丁目1番1号
|^PRN^PH^^^^^^^^03-0000-0000<CR>
OBR|1|||||Z<CR>
<EOM>

```

該当検査が複数あった場合

リクエストされた条件に対する結果が複数件あった場合（条件が患者 ID のみであった場合など）、OBR 以下を繰り返す。OBR-1（セット ID）はインクリメントされる。特にことわりが無ければ、OBR セグメントは以下となる。

```
MSH|^~\&|LIS||HIS||20200821120010||ORF^R04^ORF_R04|99999999991234600001|P|2.5|||||~ISO
IR87||
ISO 2022-1994<CR>
MSA|AA|12345678901234600000<CR>
QRD|20200821120000|R||OSQ015820|||999^RD|1234567890^東京^太郎|RES|""<CR>
PID|||1234567890^^^^PI||東京^太郎^^^^L^I~トウキョウ^タロウ
^^^^L^P~TOKYO^TARO^^^^L^A||19501214|M|||^^^^105-0001^^H^東京都港区鹿ノ門6丁目1番1号
|^PRN^PH^^^^^^^^03-0000-0000<CR>
OBR|1|202008210010||9A110^標準1 2誘導心電図^JC10|||20200821100034|||||||112234^新橋^一郎
^^^^^^L^^^^I|||||||F<CR>
TQ1||1||||20200821100034<CR>
OBX|1|ED|MIME^MIMEPackage^JHSS0001|^multipart^x-hl7-cda-level-one^A^
MIME-Version: 1.0¥X0D0A¥
Content-Type: multipart/mixed; boundary="HL7-CDA-boundary"¥X0D0A¥
Content-Transfer-Encoding: Base64¥X0D0A¥
--HL7-CDA-boundary¥X0D0A¥
Content-Type: application/x-hl7-cda-level-one+xml¥X0D0A¥
PD94bWwgdmVyc2lvdj0iMS4wIiBlbmNvZGluZz0idXRmLTgiPz4NCjw/eGlsLXN0eWwlc2hlZXQgdHlwZT0idGV4
dC94c2wiIGhyZWY9Ik5paG9uS29oZGVuLnhzbCINCiAgICAJCT8+DQo8RUNHT2JzZXJ2YXRpb24geGlsbnM9InVy
bjpobDctb3JnOnYzIiB4bWxuczp4c2k9Imh0dHA6Ly93d3cudzMub...¥X0D0A¥
--HL7-CDA-boundary¥X0D0A¥
Content-Type: application/mwf¥X0D0A¥
QCBNRLIgU3RhbmRhcmQgMTIgbGVhZHMgRUNHICAgICAgIBceTklIT04gS09IREVOXkVDRlZpZXdeMDEtMDQtMDQ2
AQEBAGMBBAALBgH9AgAAAAwAGPfiBAAESlMUEY9MTAwIERFRjlPTiBCRUy9NTBeSHVtIGZpbHRlcjBiUEY9MCM4w
NAoBAA0IAAAAAAAAAAOCgAAAAAAAAApxBDwQ10d4QWIX5hHid9hH...¥X0D0A¥
--HL7-CDA-boundary¥X0D0A¥|||||F|||20200821100034<CR>
OBX|2|ST|DUID^DataUID^JHSS0001||1|202009010000232|||||F|||20200821100034<CR>
OBR|2|202008210020||9A110^標準1 2誘導心電図^JC10|||20200821114325|||||||112233^中田^隆
^^^^^^L^^^^I|||||||F <CR>
TQ1||1||||20200821114325<CR>
OBX|1|ED|MIME^MIMEPackage^JHSS0001|^multipart^x-hl7-cda-level-one^A^
MIME-Version: 1.0¥X0D0A¥
Content-Type: multipart/mixed; boundary="HL7-CDA-boundary"¥X0D0A¥
Content-Transfer-Encoding: Base64¥X0D0A¥
--HL7-CDA-boundary¥X0D0A¥
Content-Type: application/x-hl7-cda-level-one+xml¥X0D0A¥
PD94bWwgdmVyc2lvdj0iMS4wIiBlbmNvZGluZz0iVVRGLTgiPz4KPD94bWwtdC3R5bGVzaGVldCB0eXB1PSJ0ZXh0
L3hzbCIGaHJlZj0iRnVrdWRhX2UxMi54c2wiPz4KPEVDR09ic2VydMf0aW9uIHhtbG5zPSJ1cm46aGw3LW9yZzp2
MyIgeGlsbnM6eHNpPSJodHRwOi8vd3d3LnczLm9yZy8yMDAyL...¥X0D0A¥
--HL7-CDA-boundary¥X0D0A¥
Content-Type: application/mwf¥X0D0A¥
QCBNRLIgU3RhbmRhcmQgMTJsZWFKcyBFQ0cAAAAAAAAAAsEAfoH0AwEAPcTEAoBAA0BAAQEAATiAUEAAAAACAYE
AAAAAQgBAT8ABakCAAE/AQQJAgACPwIECQIAA8DBakCAAQ/BAQJAgAFPwUECQIABj8GBakCAAc/BwQJAgAIEQVE
cmldmAEBAAMFQVNDsUkWCfJFU1QtRUNHFx1GVUtVREEgREVOU0hJXkZDUC...¥X0D0A¥
--HL7-CDA-boundary¥X0D0A¥|||||F|||20200821114325<CR>
OBX|2|ST|DUID^DataUID^JHSS0001||202008210000542|||||F|||20200821114325<CR>
<EOM>
```

3. 心電図等の波形情報と検査結果情報の記述

3. 1. MFER 波形のリンク情報をメッセージに記述する例

心電計などの小型の医療機器では、簡易な通信機能のみ実装されているに過ぎない。また、本規約では MFER ファイル等結果データの送信プロトコルは規定しないが、結果データをリンク情報から別途取得する手法は、小規模システムではより複雑となるケースもある。したがって、結果データは MIME パッケージとして HL7 メッセージに埋め込む方法を推奨するが、下位互換のためにリンク情報を使用する方法例を記載する。本例では、心電図結果の自動解析所見と主な測定値は XML で記述し、心電図波形結果は MFER 記述して各々リンク情報を送信する。

```
OBX|1|RP|MFER^MFER ファイル  
^JHSS0001||/MFEROut/00005_000001000_20200821105057451.mwf|||||R|||20200821123456<CR>  
OBX|2|RP|XML^付帯情報ファイル  
^JHSS0001||/MFEROut/00005_000001000_20200821105057451.xml|||||R|||20200821123456<CR>
```

3. 2. 自動測定結果の記述例

計測値を HL7 メッセージに埋め込む例を以下に示す。

```
OBX|7|NM|8867-4^Heart rate^LN^2.16.840.1.113883.6.1||67|bpm||||F<CR>  
OBX|8|NM|8625-6^PR interval^LN^2.16.840.1.113883.6.1||180|ms||||F<CR>  
OBX|9|NM|8633-0^QRS duration^LN^2.16.840.1.113883.6.1||94|ms||||F<CR>  
OBX|10|NM|8634-8^QT interval^LN^2.16.840.1.113883.6.1||398|ms||||F<CR>  
OBX|11|NM|8626-4^P wave axis^LN^2.16.840.1.113883.6.1||38|deg||||F<CR>  
OBX|12|NM|8632-2^QRS axis^LN^2.16.840.1.113883.6.1||30|deg||||F<CR>  
OBX|13|NM|8638-9^T wave axis^LN^2.16.840.1.113883.6.1||20|deg||||F<CR>  
OBX|14|NM|10040-4^S wave amplitude in lead V1^LN^2.16.840.1.113883.6.1||1.500|mV||||F<CR>  
OBX|15|NM|9995-2^R wave amplitude in lead V5^LN^2.16.840.1.113883.6.1||1.605|mV||||F<CR>
```

付録 - 2. 本規約で定義される OID

1.2.392.200270.4.4.5 を本規約の root となる OID とし、レベル 8 を枝番としてそれぞれのオブジェクトの OID を連番で採番していくこととする。

付録2-1 - 本規約内で採番されているOID

OID	説明
1.2.392.200270.4.4.5	生理検査データ交換規約 root
1.2.392.200270.4.4.5.1	生理検査結果データ (JHSS0001)
1.2.392.200270.4.4.5.2	生理検査メッセージイベントタイプ (JHSS0002)

付録 - 3. 作成者名簿

作成者（社名五十音順）

日高 浩敦	三栄メディシス（株）
中田 英男	日本電気（株）
木村 雅彦	日本アイ・ビー・エム（株）
藤咲 喜丈	日本光電工業（株）
村松 和彦	日本光電工業（株）
小林 聡	フクダ電子（株）
山田 剛	フクダ電子（株）

改定履歴		
日付	バージョン	内容
2007/08	Ver. 1.0	初版
2013/04	Ver.2.0	・患者情報照会メッセージを QBP/RSP に変更した。 ・生理検査依頼照会を QBP/RSP に変更した。 ・データ保存確認 QBP/RSP を追加した。 ・ORU/ACK メッセージにおいて、ADT^A04 を廃止した。 ・サンプル電文を見直した。 ・誤字や誤表現を修正した。
2016/11	Ver.3.0C	・JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1 に記載された内容と同一の場合は、その記載内容を参照するようにした。 ・他データ交換規約について外部有識者からの指摘事項を踏まえ、各所見直した。 ・親子オーダについての記述方法を明記した。 ・OBX-5 において、CDA の記述方法を HL7 原文に従い修正した。 ・サンプル電文を見直した。 ・誤字や誤表現を修正した。
2022/04	Ver.3.1C	・JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.3 での変更内容にあわせ、章構成、記載内容を見直した。 ・本規約に記載するメッセージ類を実際の生理検査で必要な機能を踏まえて整理し、記載順、サンプル電文などを見直した。 ・本規約に関連するシステムについて付録 1 に代表的なシナリオと本規約に記載するメッセージ類の利用について記載し、利用者の注目するシステムに関連するメッセージ、利用方法を明確にした。 ・共通編に対して、本規約固有な仕様の説明である「【生理】」の表記を見直した。 ・誤字や誤表現を修正した。

(JAHIS 標準 22-004)

2022 年 4 月発行

JAHIS 生理データ交換規約 Ver.3.1C

発行元 一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会
〒105-0004 東京都港区新橋 2 丁目 5 番 5 号
(新橋 2 丁目 MT ビル 5 階)

電話 03-3506-8010 FAX 03-3506-8070

(無断複写・転載を禁ず)